

平成28年度  
第5次粕屋町総合計画  
進行管理のための  
町民意識調査結果報告書

平成29年3月

粕屋町



# 目 次

<b>I 調査の概要</b> .....	1
1. 調査の目的 .....	2
2. 調査概要 .....	2
3. 報告書の見方 .....	3
4. 「第5次粕屋町総合計画」施策体系 .....	4
<b>II 調査結果のまとめ</b> .....	5
1. 【基本目標1】つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまち .....	6
2. 【基本目標2】都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち .....	6
3. 【基本目標3】誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまち .....	7
4. 【基本目標4】健全で持続可能な行政経営をめざすまち .....	7
5. 粕屋町での暮らしについて .....	8
<b>III 調査結果</b> .....	9
1. 回答者のことについて .....	10
2. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまち の取り組みについて .....	18
3. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち の取り組みについて .....	41
4. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまち の取り組みについて .....	68
5. 健全で持続可能な行政経営をめざすまち の取り組みについて .....	91
6. 粕屋町での暮らしについて .....	101
<b>IV 指標一覧</b> .....	113
指標一覧 .....	114



# I 調査の概要

# 1. 調査の目的

---

---

この調査は、「第5次粕屋町総合計画基本計画」の指標の進捗を把握するとともに、町民の皆さまの暮らしの状況や意識、ニーズなどを把握し、今後のまちづくりに向けた参考資料とするために実施したものです。

# 2. 調査概要

---

---

- ・調査地域 : 粕屋町全域
- ・調査対象者 : 粕屋町在住の18歳以上の方3,000名を無作為抽出
- ・調査期間 : 平成29年2月上旬～中旬
- ・調査方法 : 郵送による配布・回収

配布数 (A)	回収数	有効回収数 (B)	有効回収率 (B/A)
3,000	1,215	1,212	40.4%

### 3. 報告書の見方

---

- 調査結果は「第5次粕屋町総合計画」の施策体系に準じて掲載しているため、調査票番号が前後している場合があります。
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、選択肢ごとの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。このため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対するそれぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「不明・無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N」（サンプル数）は、有効標本数（集計対象者総数）、あるいは分類別の該当対象者数を示しています。
- 本文中の設問の選択肢について、文字数が多いものは簡略化している場合があります。
- 〈平成28年度調査〉は本調査の調査結果であり、〈平成27年度調査〉は「第5次粕屋町総合計画前期基本計画及び総合戦略策定の住民アンケート調査結果報告書（平成27年11月）」、〈平成26年度調査〉は「第5次粕屋町総合計画策定に係るアンケート調査結果報告書（平成27年1月）」の調査結果を引用しています。

## 4. 「第5次粕屋町総合計画」施策体系

【基本目標1】つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまち	
政策	基本施策
1 地域をつなぐりを大切にしたいまちづくり	(1) 誰もが参加・交流できる地域活動の支援 (2) 人と地域が輝くまちづくり活動の推進
2 地域でともに助け合う安全なまちづくり	(1) 災害に強い地域社会の実現 (2) 事故や犯罪が起こりにくい地域社会の実現
3 未来を担う子どもたちを育むまちづくり	(1) 子どもたちの生きる力を育む教育の推進 (2) 地域ぐるみで育む子どもたちの健全な育成
4 身近な学びと交流があるまちづくり	(1) ライフステージに応じた学びと交流の推進 (2) 郷土を愛し、地域の歴史と文化を継承する社会の実現
【基本目標2】都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち	
政策	基本施策
1 自然と調和した便利で快適なまちづくり	(1) 自然と調和した都市空間の創造 (2) 緑と水辺に囲まれた潤いある暮らしの創造
2 安心して快適な生活基盤を備えたまちづくり	(1) 安全で快適な道路ネットワークの充実 (2) 安全で快適な生活を支える交通環境の創造 (3) 安全で安心な水源の確保と水環境の基盤強化
3 自然にやさしく住みよい環境のまちづくり	(1) 次世代に継承する自然環境の保全 (2) 環境負荷の少ない循環型社会の創造
4 地域個性を活かした活力ある産業のまちづくり	(1) いのちを守り育む食と農の創造 (2) 地域に活力をもたらす商工業の振興
【基本目標3】誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまち	
政策	基本施策
1 誰もが健康で暮らせるまちづくり	(1) 健やかでいきいき暮らす健康づくりの推進
2 子育て世代が明るく暮らせるまちづくり	(1) 安心して子育てできる環境づくりの推進 (2) 子どもの健やかな成長を支える支援の充実
3 高齢者が元気に暮らせるまちづくり	(1) 元気高齢者の活躍を促す環境づくりの推進 (2) 住み慣れた地域での生活を支える支援の充実
4 障がい者がともに暮らせるまちづくり	(1) 生きがいを感じ社会参加を促す環境づくりの推進 (2) 地域で安心して暮らせる環境づくりの推進
5 誰もが心豊かに暮らせるまちづくり	(1) 人権と平和を尊重し合う地域社会の確立 (2) とともに支え合う地域福祉の推進と社会保障制度の運営
【基本目標4】健全で持続可能な行政経営をめざすまち	
政策	基本施策
1 町民のための行政経営のまちづくり	(1) まちの魅力を高める情報発信の推進 (2) 簡素で合理的な行政運営の強化
2 健全な財政運営のまちづくり	(1) 持続可能な財政基盤の強化
3 広域的な視点に立ったまちづくり	(1) 連携して取り組む広域行政の推進



## II 調査結果のまとめ

## 1. 【基本目標 1】 つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまち

基本施策の平成27年度調査より、平成28年度調査の方が上回っている指標は、「まちづくりに参加したいと思う町民の割合」「災害用備品を準備している町民の割合」「事故や犯罪が少なく安全な町だと思う町民の割合」「教育環境が整っていると思う町民の割合」、下回っている指標は、「地域行事に参加している町民の割合」「青少年の育成について学校・家庭・地域の連携が十分だと思う町民の割合」「身近に学びの機会があると思う町民の割合」「郷土の歴史に興味を持っている町民の割合」となっています。

特に変化があった指標について、「事故や犯罪が少なく安全な町だと思う町民の割合」は8.7ポイント増加し、半数近くが安全な町だと感じていますが、30～44歳ではその割合がやや低くなっています【問12-1】。また、交通安全のために歩道・自動車道の整備、車や自転車の運転マナーの向上を求める割合が高くなっています【問12-2】。

さらに、「教育環境が整っていると思う町民の割合」は8.6ポイント増加し、約4割は教育環境が整っていると感じていますが、最近まで教育を受けていた世代である18～29歳は他の年齢より割合が低くなっています【問13-1】。また、小中学校の教育に関して道徳教育などを通じた豊かな心の育成が求められるとともに、30～44歳の子育て世代からは学力・学習意識の向上を望む割合も高くなっています【問13-2】。

## 2. 【基本目標 2】 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち

基本施策の平成27年度調査より、平成28年度調査の方が上回っている指標は、「自然と調和したまちづくりが行われていると思う町民の割合」「公共交通を利用しやすいと思う町民の割合」「いつでも安心して水を利用できると思う町民の割合」「自然を大切にすることを心がけている町民の割合」「リサイクルを心がけている町民の割合」「できるだけ地元で採れた食材を利用している町民の割合」「地域の商工業が活性化していると思う町民の割合」、下回っている指標は、「憩いや交流のために公園が活用されていると思う町民の割合」「道路が円滑に通行できると思う町民の割合」となっています。

特に変化があった指標について、「できるだけ地元で採れた食材を利用している町民の割合」は9.4ポイント増加し、半数近くが地元で採れた食材を利用していますが、年齢が下がるほど割合が低くなり、18～29歳の約4割は利用していないと回答しています【問22-1】。また、地元農産物をスーパーや農産物直売所で購入している人が多い一方で、粕屋西小学校区は他の小学校区と比較して購入・入手できるところが身近にない人が多くなっています【問22-2】。

さらに、「道路が円滑に通行できると思う町民の割合」は3.8ポイント減少するとともに、通行できると思わない町民の割合が半数を超えるなど、道路網の整備への課題がうかがえます【問19-1】。歩行時の不安として、歩道の歩きにくさや少なさ、街灯の少なさがあがっており、歩行者の安全を守るための環境整備が求められています【問19-2】。

### 3. 【基本目標3】誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまち

基本施策の平成27年度調査より、平成28年度調査の方が上回っている指標は、「運動や食事など自分の健康に気をつけている町民の割合」「子育て環境が整っていると思う町民の割合」「妊娠・出産期における支援が充実していると思う町民の割合」「元気な高齢者が活躍する場があると思う町民の割合」「高齢者に対する支援が充実していると思う町民の割合」「障がい者に対する支援が充実していると思う町民の割合」「一人ひとりの人権が尊重されていると思う町民の割合」、下回っている指標は、「障がい者が地域や社会の中でともに暮らせていると思う町民の割合」「困ったときの福祉相談窓口を知っている町民の割合」となっています。

特に変化があった指標について、「運動や食事など自分の健康に気をつけている町民の割合」は15.0ポイント増加し、約8割が健康に気をつけていると回答しており、65歳以上では9割となっています【問24-1】。また、健康づくりのための心がけは、18～29歳では休養や睡眠をとること、30～44歳、65歳以上では欠食しないこと、45～64歳では健康診断を受けることがそれぞれ最も高くなっており、年齢により異なる傾向となっています【問24-2】。

さらに、「一人ひとりの人権が尊重されていると思う町民の割合」は8.1ポイント増加しています。しかし、どちらともいえないが5割を超えている状況から、暮らしの中の感覚として判断しにくい問題であることがうかがえるため【問29-1】、学校での人権教育の充実などにより、町民が人権について理解を深めることが重要となっています【問29-2】。

なお、「困ったときの福祉相談窓口を知っている町民の割合」は6.9ポイント減少しており、福祉相談窓口の認知度が低下しています【問28-1】。一方で福祉のことで困っている人がいた場合に行政への相談をすすめる人が多いため、窓口の認知度を向上することで、困難を抱えた人を適切な支援につなげていくことが期待できます【問28-2】。

### 4. 【基本目標4】健全で持続可能な行政経営をめざすまち

基本施策の平成27年度調査より、平成28年度調査の方が上回っている指標は、「町民のニーズに応えた行政運営が行われていると思う町民の割合」「税金が有効に使われていると思う町民の割合」「他自治体と連携や協力が行われていると思う町民の割合」、下回っている指標は、「広報やホームページ等、町からの情報発信が充実していると思う町民の割合」となっています。

特に変化があった指標について、「町民のニーズに応えた行政運営が行われていると思う町民の割合」は5.2ポイント増加しているものの、2割半ばとニーズに応じていると感じている町民は多くはない状況です【問31-1】。

また、「広報やホームページ等、町からの情報発信が充実していると思う町民の割合」は7.1ポイント減少し、5割を割り込んでいます【問30-1】。町の情報源として大半の人が広報かすやを利用しているため、町民の興味・関心に合わせた情報発信を充実していく必要があります【問31-2】。

## 5. 粕屋町での暮らしについて

まちづくりのスマイル指標はすべての指標で平成27年度調査より、平成28年度調査の方が上回っています。

特に変化があった指標について、幸せ指標の「粕屋町に暮らしていて幸せだと思う町民の割合」は9.4ポイント増加しており、若い人ほど幸せを感じている傾向があります【問34-1】。また、幸せであるために家計や健康の状況を重視する人が多くなっています【問34-2】。

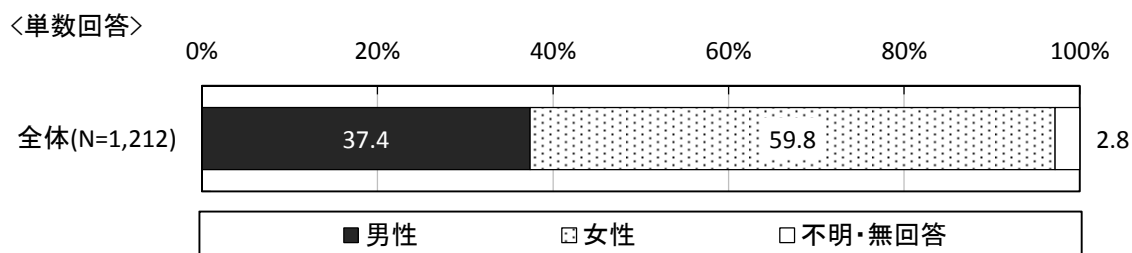
さらに、健やか指標の「粕屋町は健康に暮らせるまちだと思う町民の割合」は13.2ポイント増加しており、基本目標3の「運動や食事など自分の健康に気をつけている町民の割合」も大きく増加していたことから、健康への関心や取り組む人が増加していることがうかがえます【問38】。

### **Ⅲ 調査結果**

# 1. 回答者のことについて

〔調査票／問1〕

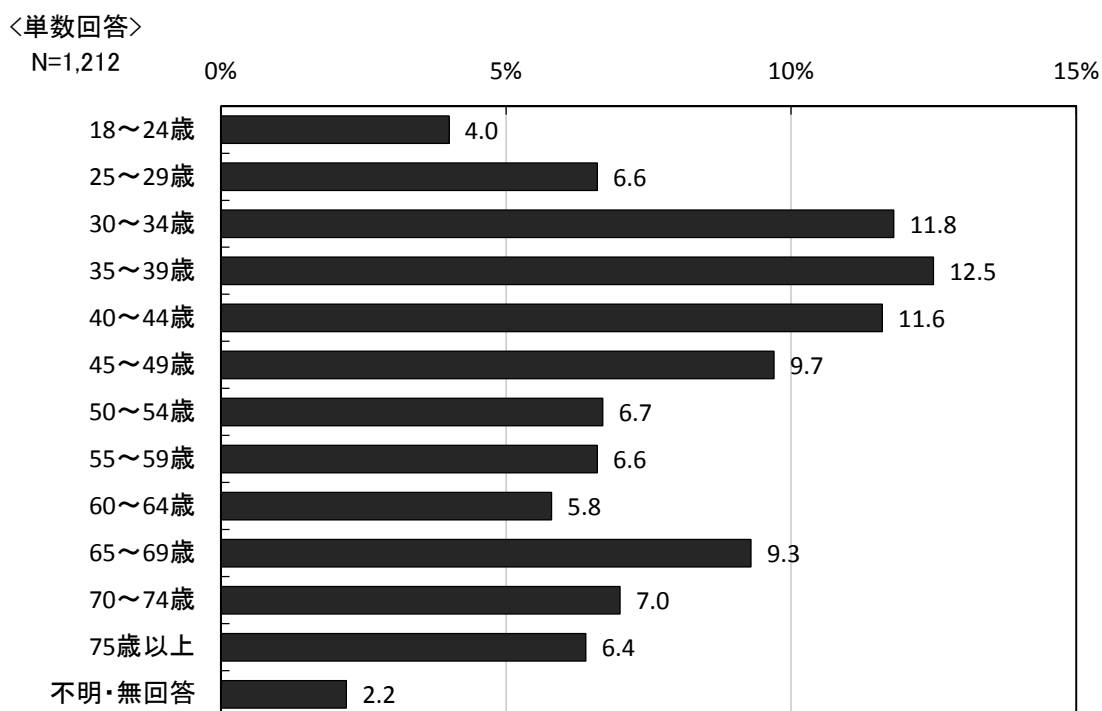
(1) あなたの性別をお答えください。(どちらかに○)



性別についてみると、「男性」が37.4%、「女性」が59.8%となっています。

〔調査票／問2〕

(2) あなたの年齢をお答えください。(1つだけに○)



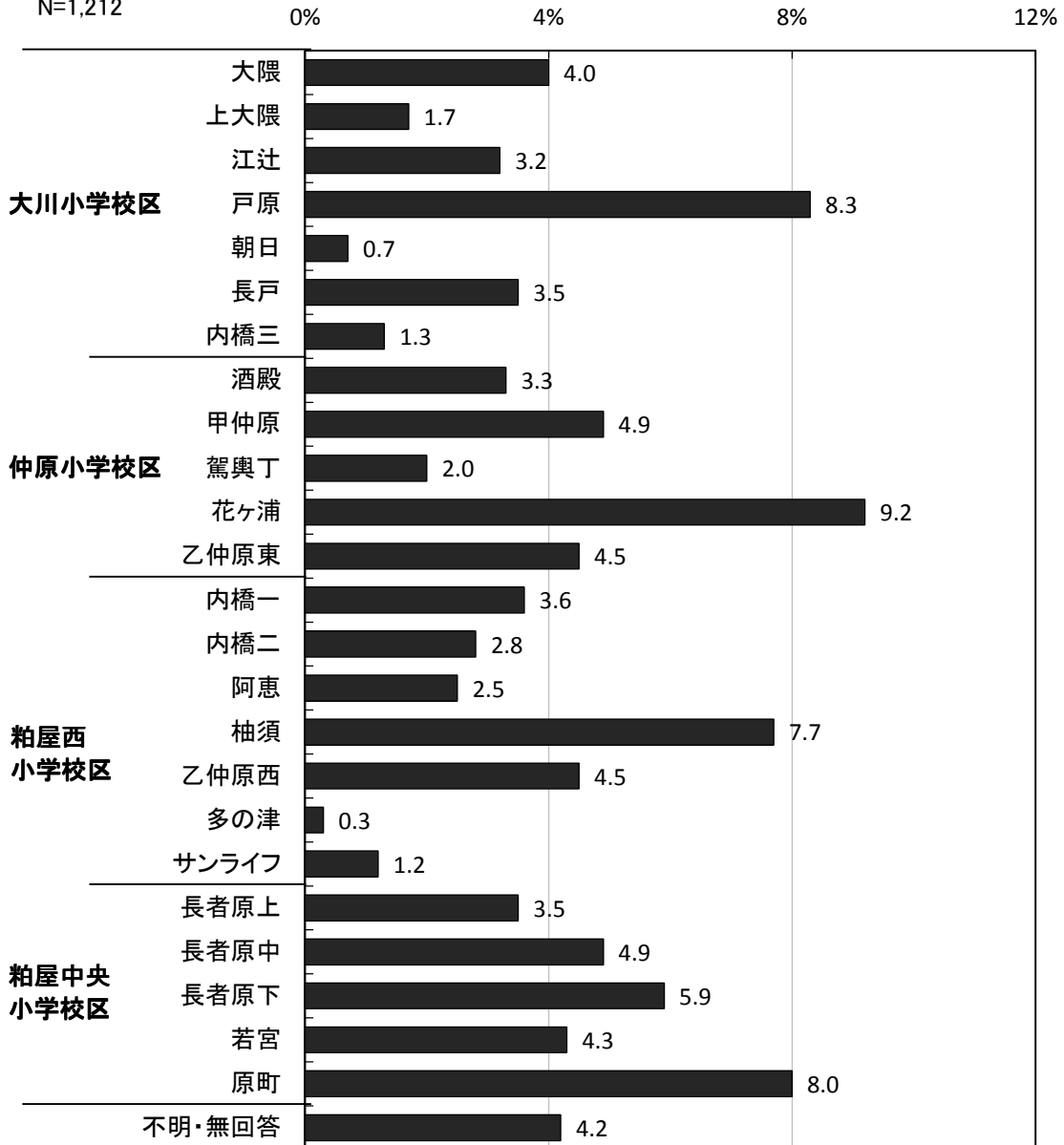
年齢についてみると、「35～39歳」が12.5%、「30～34歳」が11.8%、「40～44歳」が11.6%となっています。

〔調査票／問3〕

## (3) あなたはどの地区にお住まいですか。(1つだけに○)

〈単数回答〉

N=1,212

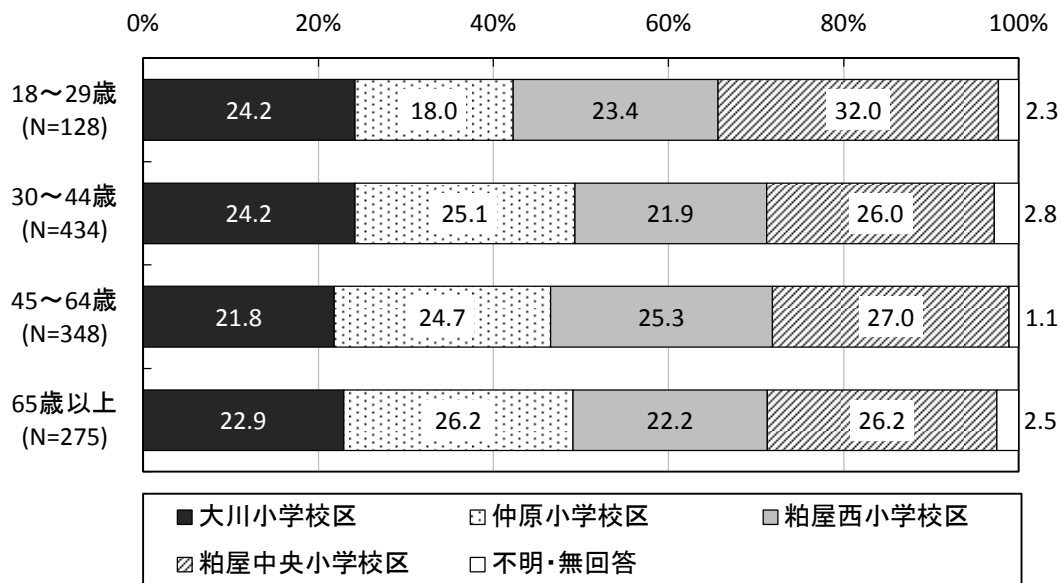


地区についてみると、『大川小学校区』では「戸原」が8.3%、『仲原小学校区』では「花ヶ浦」が9.2%、『粕屋西小学校区』では「柚須」が7.7%、『粕屋中央小学校区』では「原町」が8.0%と最も高くなっています。

## 1. 回答者のことについて

### 【年齢別グラフ】

〈単数回答〉



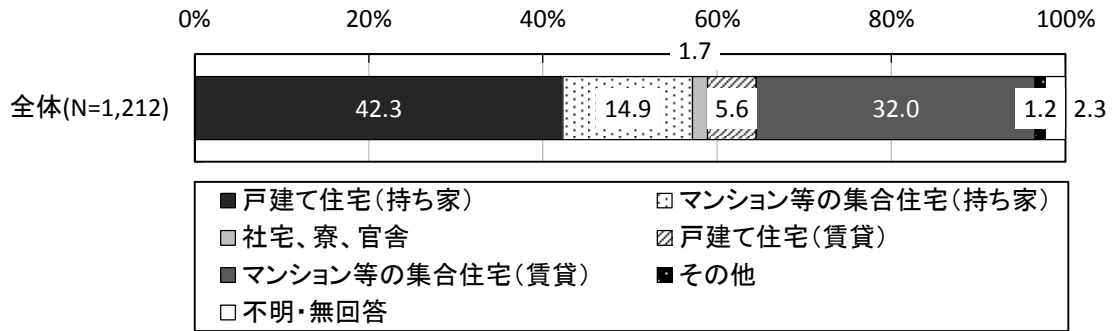
年齢別でみると、すべての年齢で「粕屋中央小学校区」の割合が高い傾向となっています。また、65歳以上では「仲原小学校区」も「粕屋中央小学校区」と同率で高くなっています。一方、18～29歳では他の年齢と比較して「仲原小学校区」が18.0%と低くなっています。



〔調査票／問4〕

(4) 現在お住まいの種類は、次のどれにあたりますか。(1つだけに○)

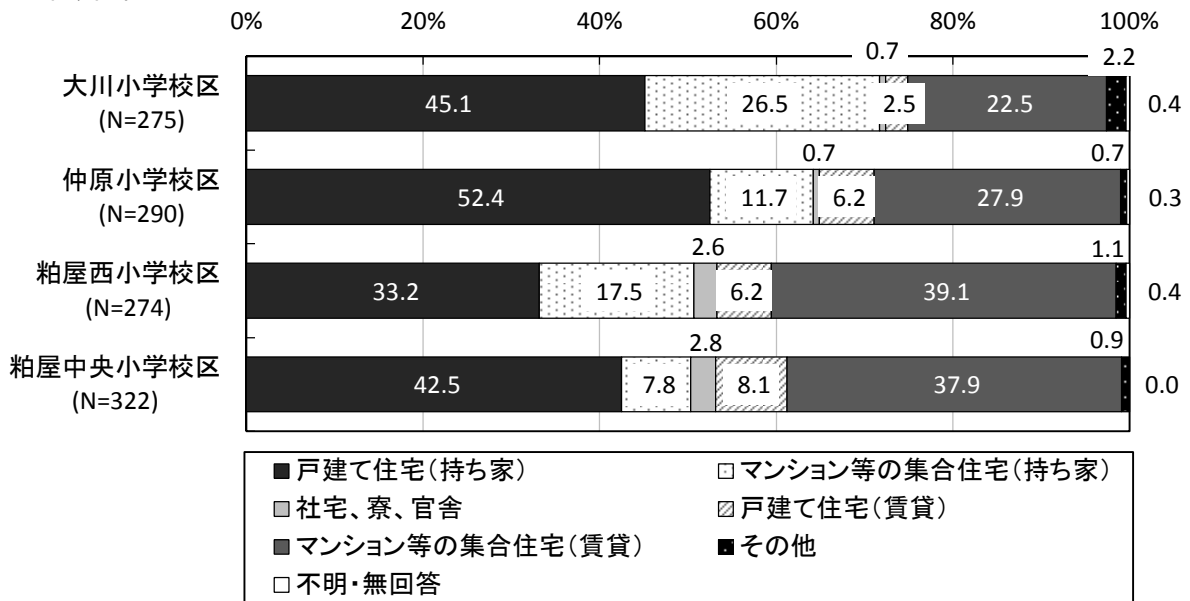
<単数回答>



住居形態についてみると、「戸建て住宅(持ち家)」が42.3%と最も高く、次いで「マンション等の集合住宅(賃貸)」が32.0%となっています。

【小学校区別グラフ】

<単数回答>



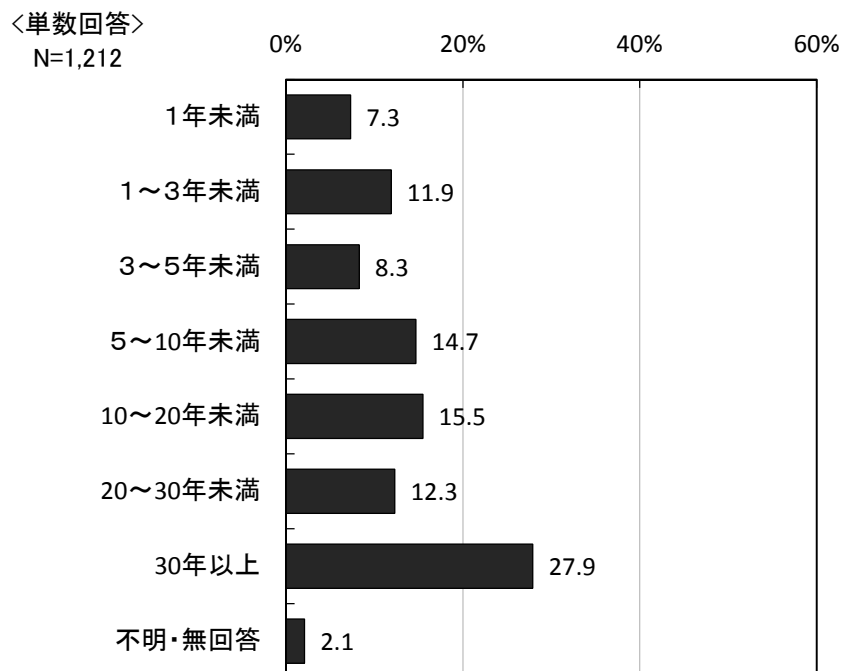
小学校区別でみると、大川小学校区、仲原小学校区では「戸建て住宅(持ち家)」と「マンション等の集合住宅(持ち家)」をあわせた割合が他の小学校区と比較して6割以上と高くなっています。また、粕屋西小学校区、粕屋中央小学校区では「戸建て住宅(賃貸)」と「マンション等の集合住宅(賃貸)」を合わせた割合が他の小学校区と比較して4割以上と高くなっています。

## 1. 回答者のことについて

---

〔調査票／問5〕

(5) あなたは、粕屋町に何年住んでいますか。(1つだけに○)



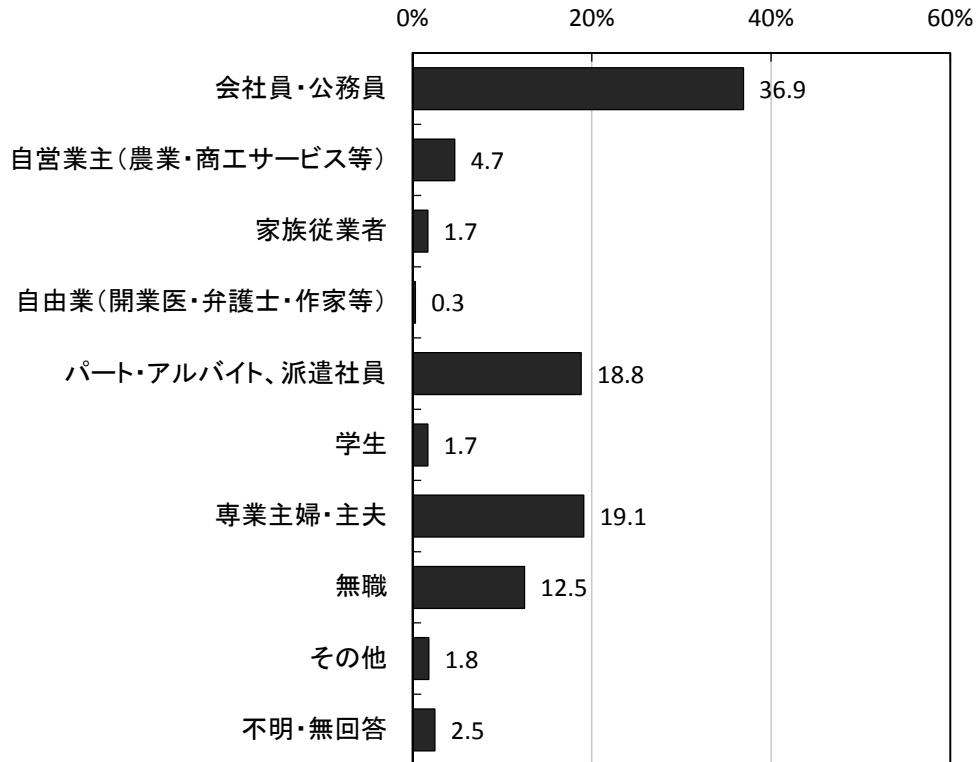
住居年数についてみると、「30年以上」が27.9%と最も高く、次いで「10~20年未満」が15.5%、「5~10年未満」が14.7%となっています。

[調査票/問6-1]

(6) - 1 あなたの職業は、次のどれにあたりますか。(1つだけに○)

<単数回答>

N=1,212



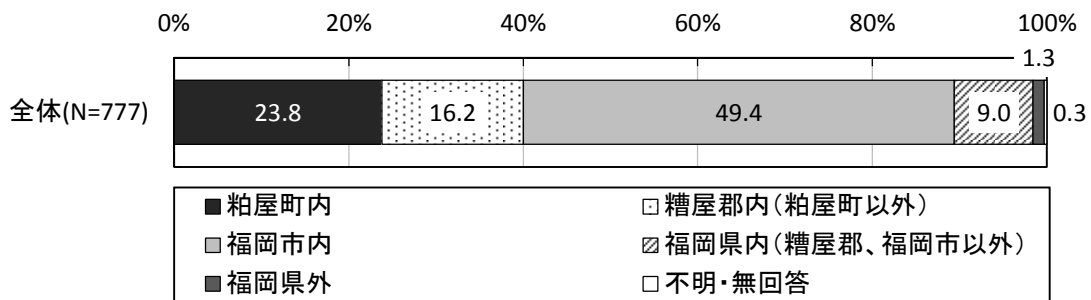
職業についてみると、「会社員・公務員」が36.9%と最も高く、次いで「専業主婦・主夫」が19.1%、「パート・アルバイト、派遣社員」が18.8%となっています。

[調査票/問6-2]

※6-2は就業者もしくは学生の方におうかがいします。

(6) - 2 あなたの通勤・通学先はどこですか。(1つだけに○)

<単数回答>



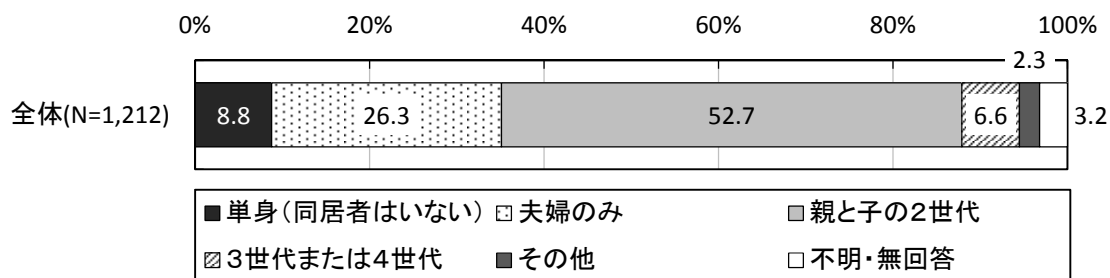
通勤・通学先についてみると、「福岡市内」が49.4%と最も高く、次いで「粕屋町内」が23.8%、「糟屋郡内(粕屋町以外)」が16.2%となっています。

1. 回答者のことについて

〔調査票／問7〕

(7) お住まいの家族構成は、次のうちどれにあたりますか。(1つだけに○)

〈単数回答〉

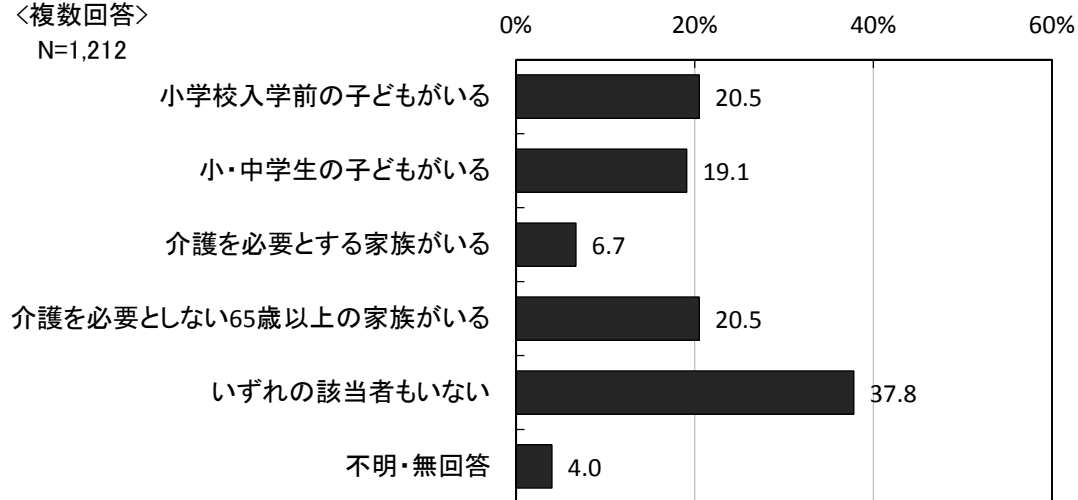


家族構成についてみると、「親と子の2世代」が52.7%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が26.3%、「単身(同居者はいない)」が8.8%となっています。

〔調査票／問8〕

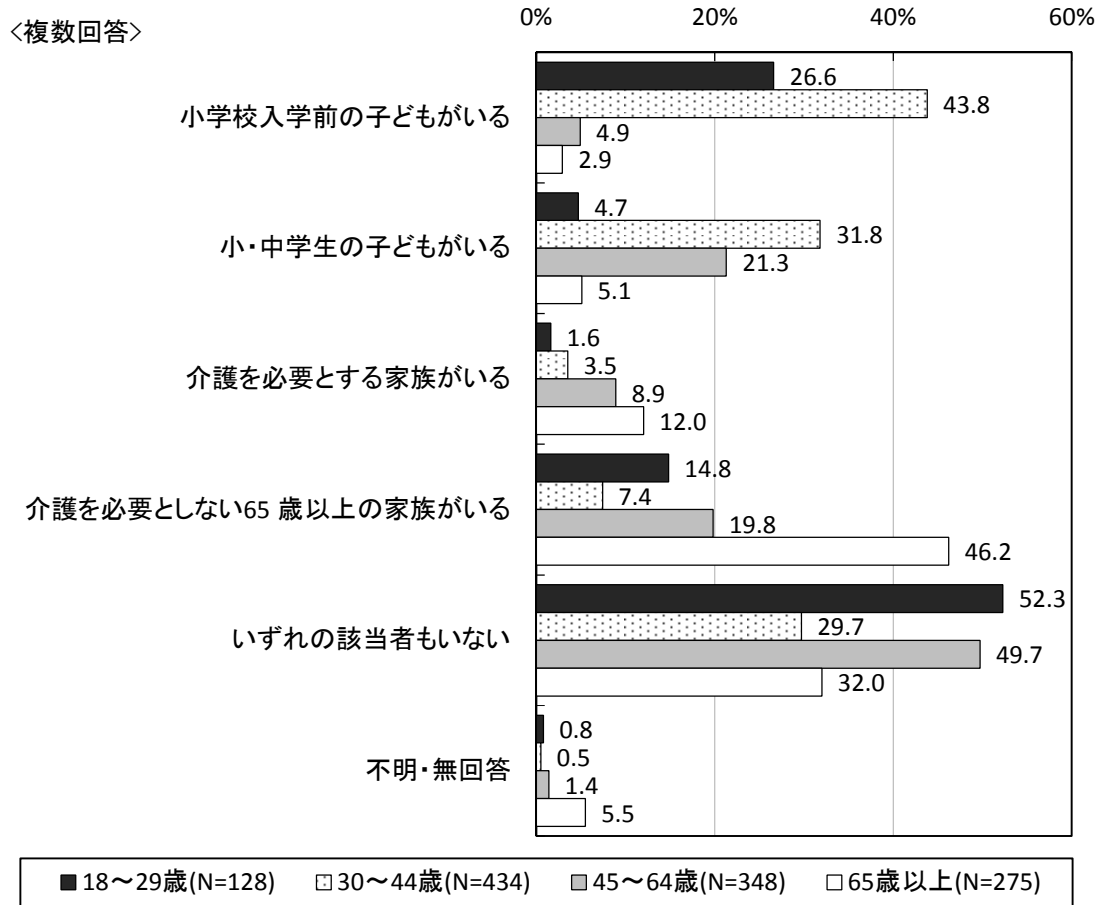
(8) あなたのご家族について該当する方はいますか。(あてはまるすべてに○)

〈複数回答〉  
N=1,212



家族について該当する方の有無についてみると、「いずれの該当者もない」が37.8%と最も高く、次いで「小学校入学前の子どもがいる」「介護を必要としない65歳以上の家族がいる」がそれぞれ20.5%となっています。

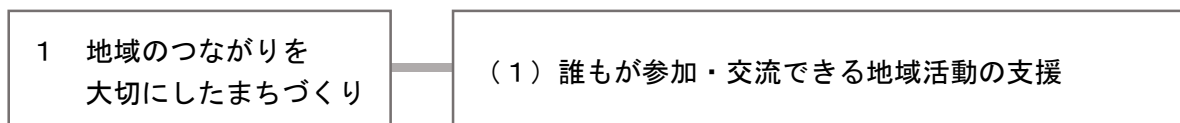
【年齢別グラフ】



年齢別でみると、18~29歳、45~64歳では「いずれの該当者もない」、30~44歳では「小学校入学前の子どもがいる」、65歳以上では「介護を必要としない65歳以上の家族がいる」が最も高くなっています。

## 2. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

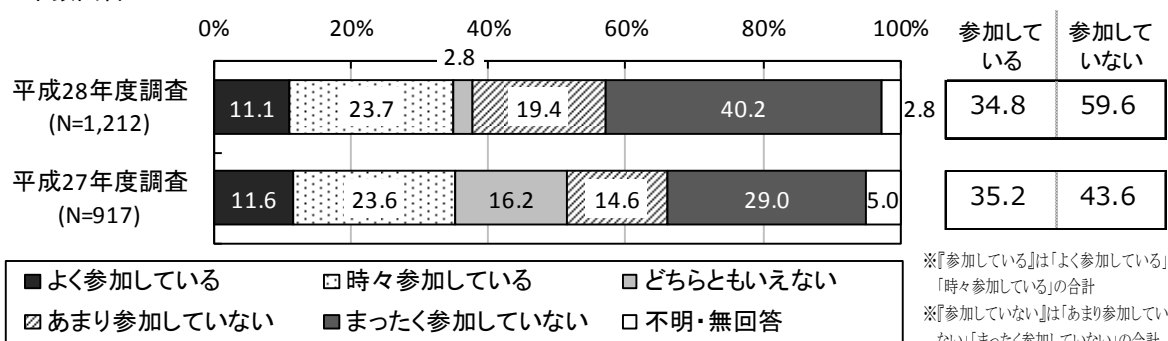
### ■政策と基本施策



〔調査票／問9-1〕

(1)-1 あなたは、地域行事(夏祭りや餅つきなど)に日頃から参加していますか。  
(1つだけに○)

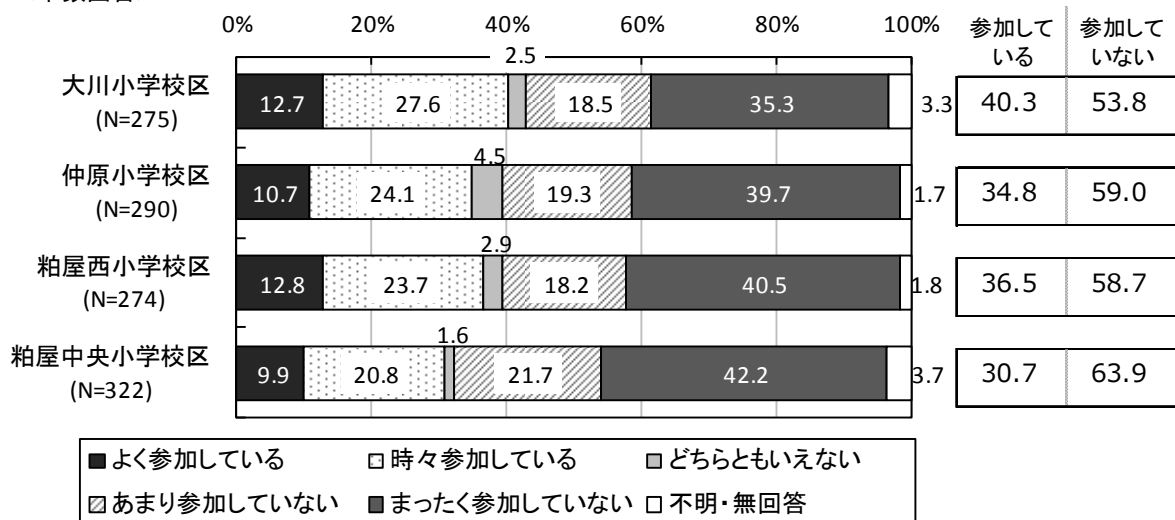
〈単数回答〉



地域行事の参加状況についてみると、『参加していない』が約6割と高くなっています。経年比較でみると、『参加している』では、ほぼ変わらないものの『参加していない』では、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が高くなっています。

### 【小学校区別グラフ】

〈単数回答〉

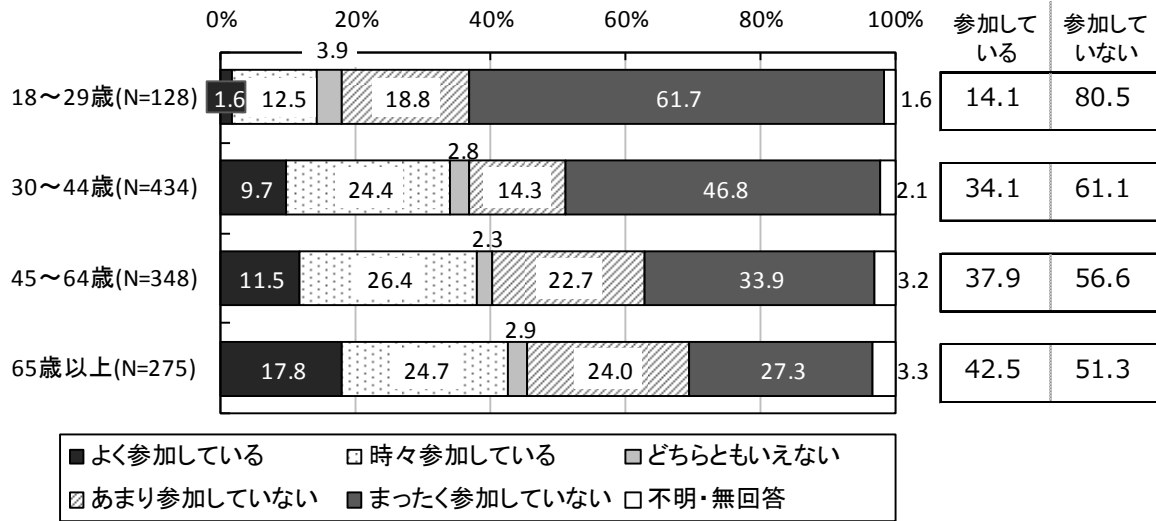


小学校区別でみると、大川小学校区では『参加している』が4割、粕屋中央小学校区では『参加していない』が6割以上と高くなっています。

2. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

【年齢別グラフ】

〈単数回答〉



年齢別でみると、年齢が下がるほど『参加していない』の割合が高く、18～29歳では8割を超えています。

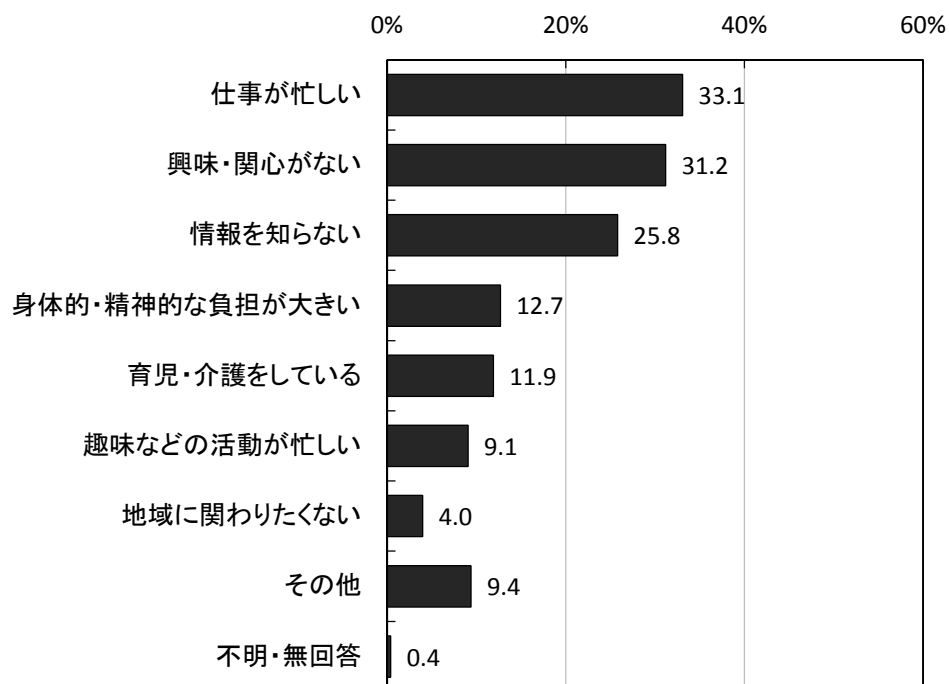
## 2. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

〔調査票／問9-2〕

※(1)-2は、(1)-1で「あまり参加していない」「まったく参加していない」に○をつけた方におうかがいします。

(1)-2 あなたが地域行事に参加していない理由はどのようなことですか。  
(あてはまるすべてに○)

〈複数回答〉  
N=722



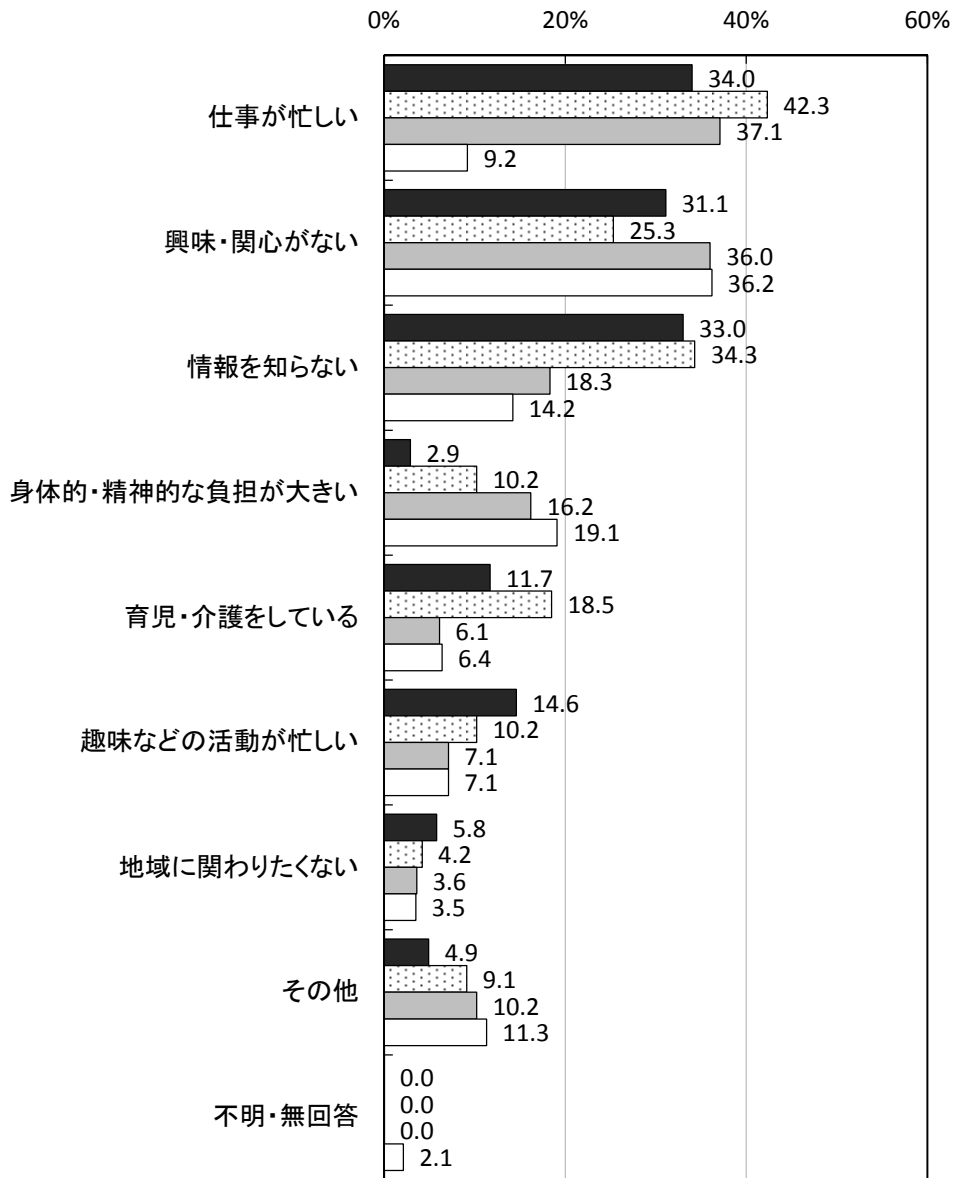
地域行事に参加していない理由についてみると、「仕事が忙しい」が33.1%と最も高く、次いで「興味・関心がない」が31.2%、「情報を知らない」が25.8%となっています。



2. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

【年齢別グラフ】

〈複数回答〉

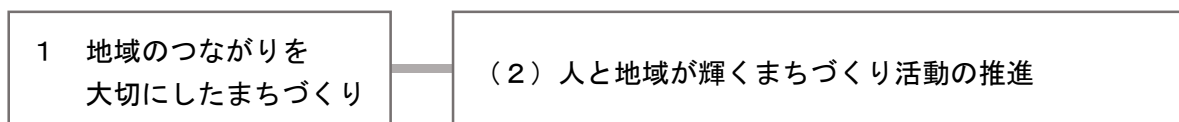


■ 18～29歳(N=103)    ▨ 30～44歳(N=265)    ▩ 45～64歳(N=197)    □ 65歳以上(N=141)

年齢別でみると、年齢が上がるほど「身体的・精神的な負担が大きい」が高くなっており、65歳以上では「興味・関心がない」に次いで高くなっています。また、18～29歳、30～44歳では「情報を知らない」が45歳以上と比較して高くなっています。

## 2. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

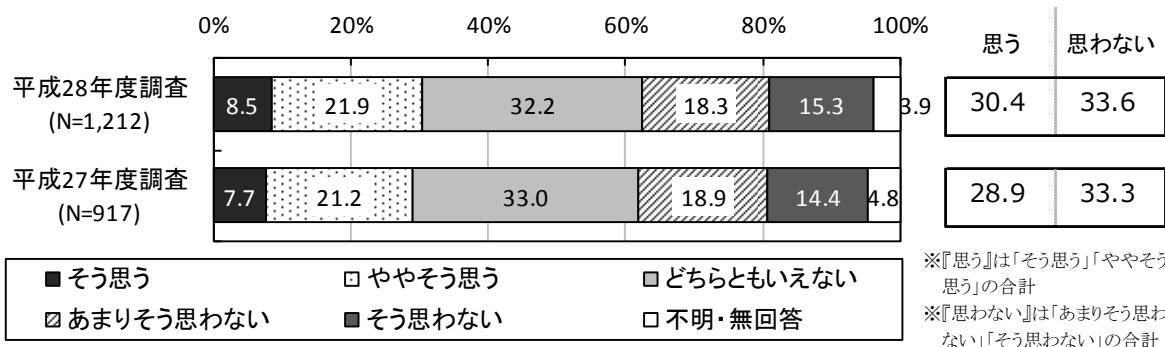
### ■政策と基本施策



〔調査票／問10-1〕

### (2) - 1 あなたは、ボランティアなどのまちづくりに参加したいと思いますか。 (1つだけに○)

〈単数回答〉

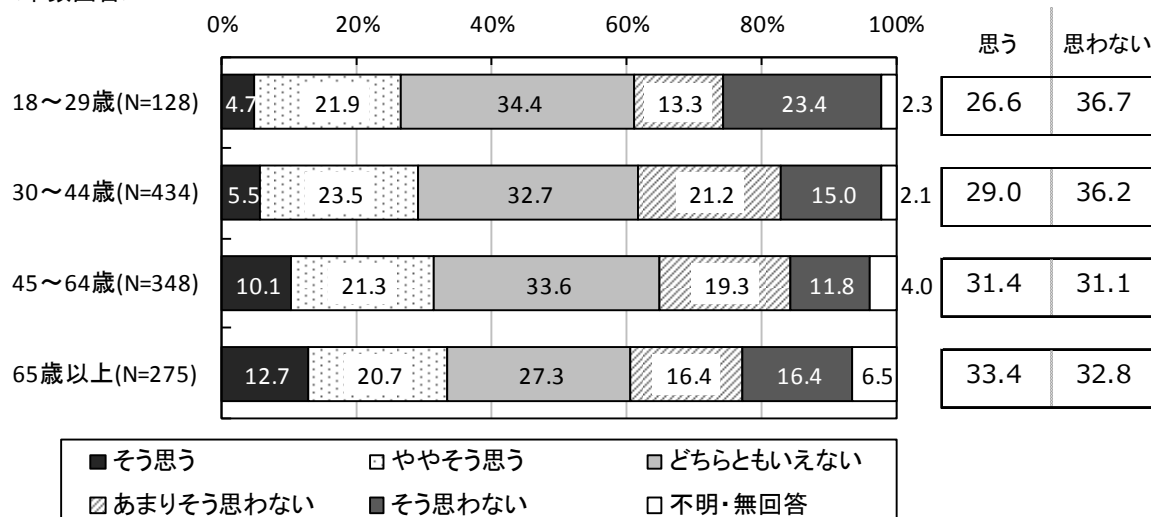


まちづくりへの参加意向についてみると、『思う』『思わない』がそれぞれ3割台となっています。

経年比較でみると、まちづくりに参加したいと『思わない』は、ほぼ変わらないものの『思う』が平成27年度調査より、平成28年度調査の方がやや高くなっています。

### 【年齢別グラフ】

〈単数回答〉



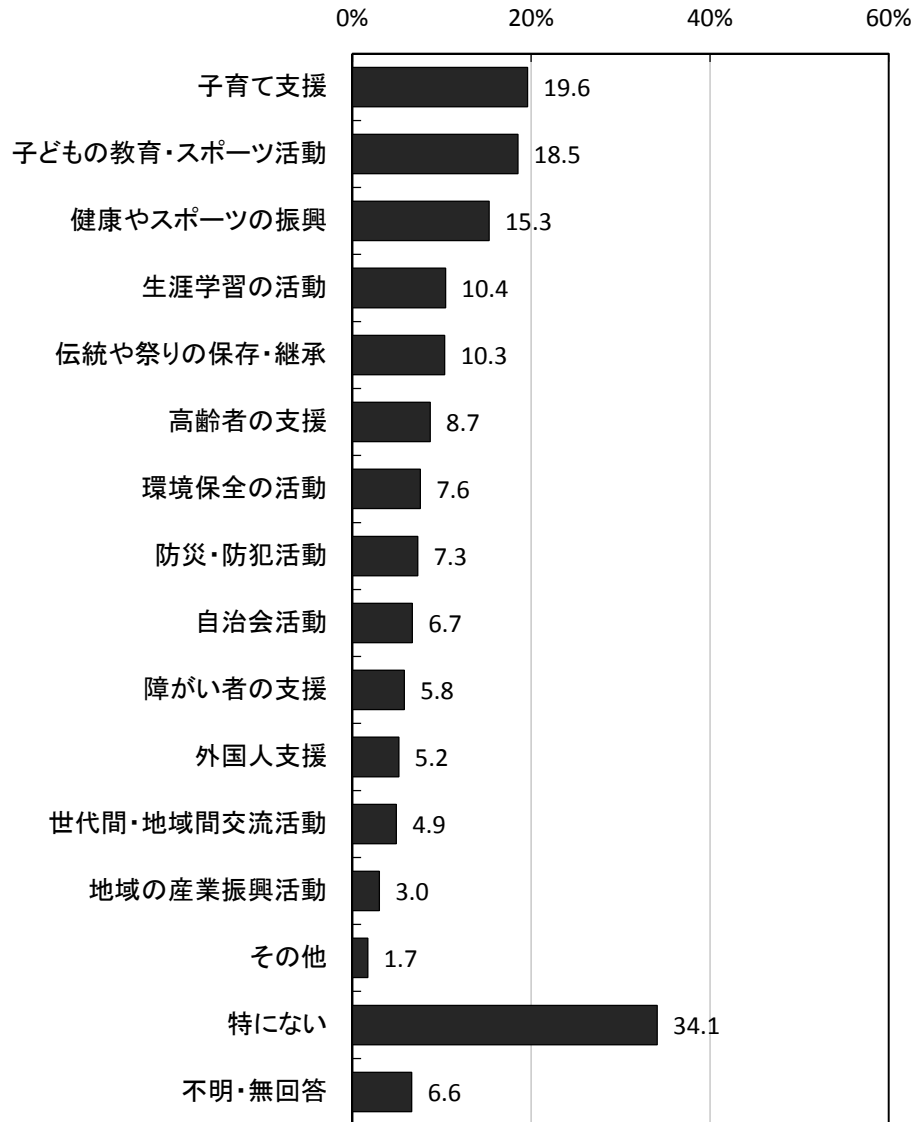
年齢別でみると、年齢が上がるほどまちづくりに参加したいと『思う』が高くなっています。18～29歳では「そう思わない」が2割以上と他の年齢と比較して高くなっています。

2. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

[調査票/問 10-2]

(2) - 2 あなたは、どのような活動に参加したいですか（参加していますか）。  
（あてはまるすべてに○）

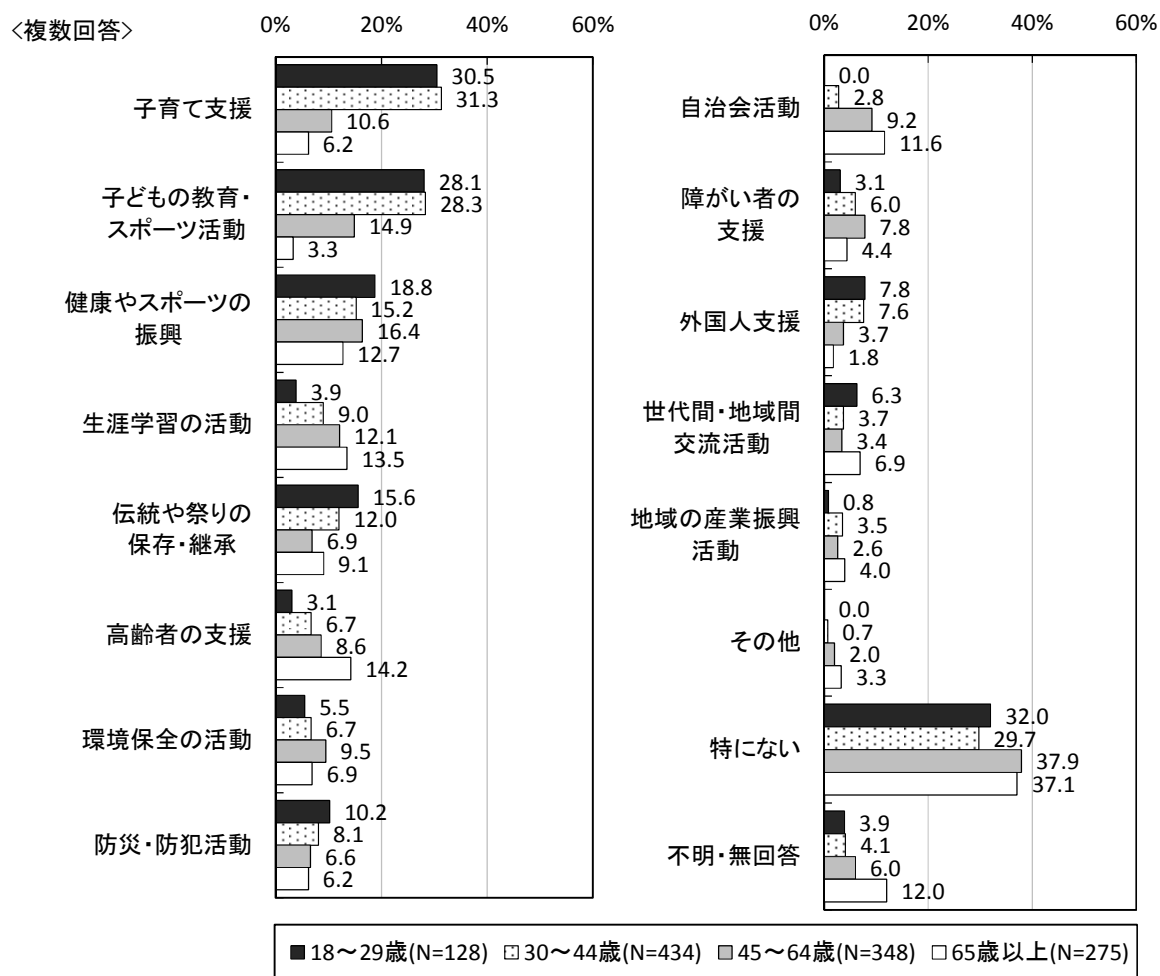
<複数回答>  
N=1,212



参加したい活動についてみると、「子育て支援」が19.6%と最も高く、次いで「子どもの教育・スポーツ活動」が18.5%、「健康やスポーツの振興」が15.3%と、子どもやスポーツに関する活動が上位となっています。

## 2. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

### 【年齢別グラフ】



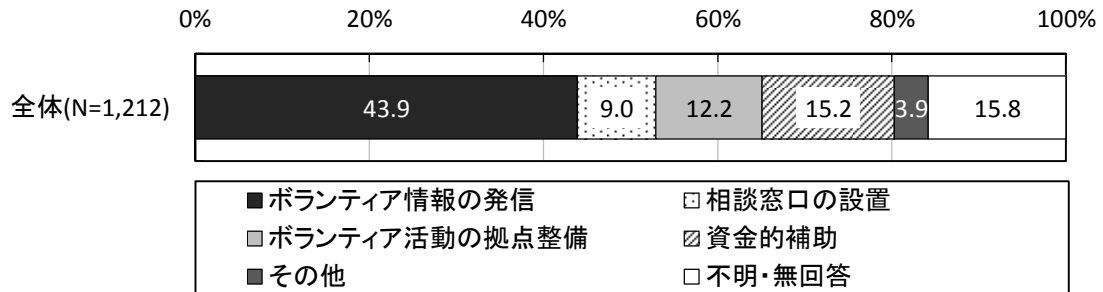
年齢別でみると、18～29歳、30～44歳では「子育て支援」「子どもの教育・スポーツ活動」が3割前後と他の年齢と比較して高くなっています。また、65歳以上では「高齢者の支援」が最も高く、次いで「生涯学習の活動」となっており、他の年齢とは異なる傾向となっています。

2. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

[調査票/問 10-3]

(2) - 3 粕屋町では、どのような支援があればボランティアをしやすいと思いますか。(1つだけに○)

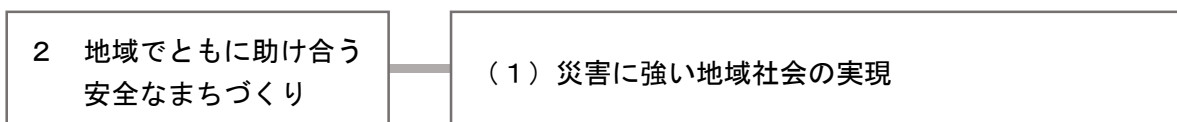
<単数回答>



ボランティア活動を促進するために必要な支援についてみると、「ボランティア情報の発信」が43.9%、次いで「資金的補助」が15.2%となっています。

## 2. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

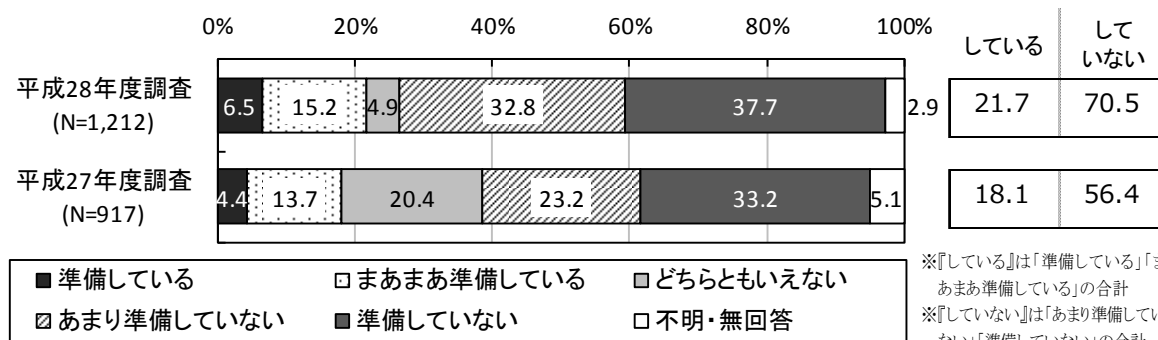
### ■政策と基本施策



〔調査票／問 11－1〕

### (3)－1 あなたは、日頃から災害用備品を準備していますか。(1つだけに○)

〈単数回答〉

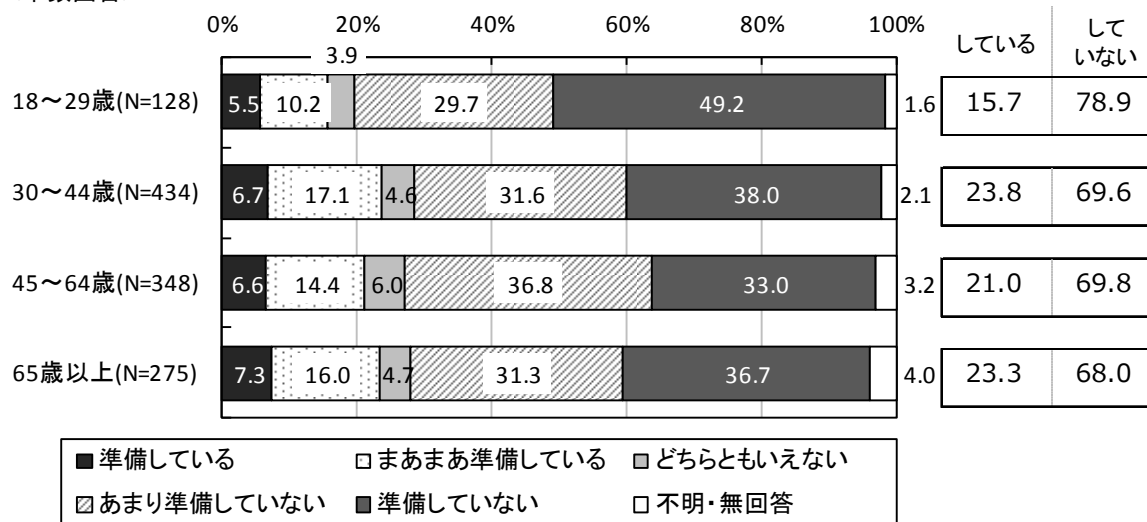


災害用備品の準備についてみると、『していない』が7割と高くなっています。

経年比較でみると、災害用備品の準備を『していない』が、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が14.1ポイント高くなっています。

### 【年齢別グラフ】

〈単数回答〉

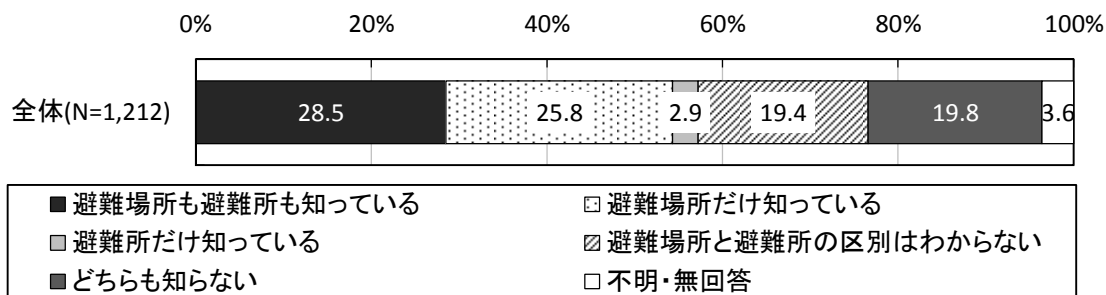


年齢別でみると、年齢が下がるほど災害用備品の準備を『していない』の割合が高い傾向があり、18～29歳では約8割と高くなっています。

[調査票/問 11-2]

(3)-2 あなたは、自宅付近の避難場所や避難所がどこにあるか知っていますか。  
(1つだけに○)

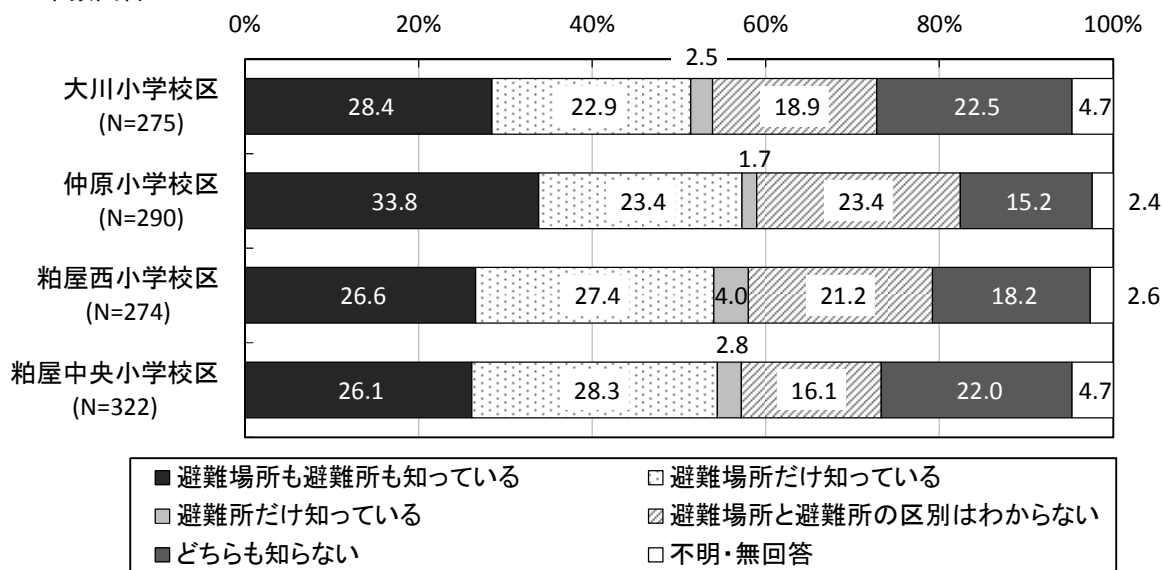
<単数回答>



避難場所や避難所の認識についてみると、「避難場所も避難所も知っている」が28.5%、「避難場所だけ知っている」が25.8%となっており、避難場所、避難所両方もしくはどちらかを知っている割合は57.2%となっています。

【小学校区別グラフ】

<単数回答>

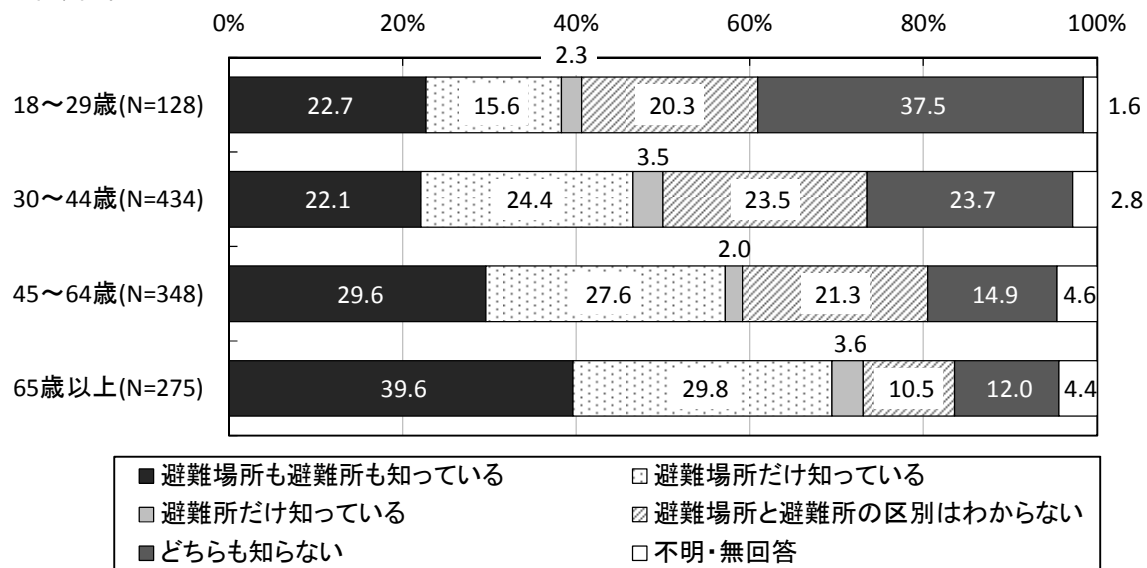


小学校区別でみると、避難場所、避難所両方もしくはどちらかを知っている割合は大川小学校区で他の小学校区と比較してやや低くなっています。また、仲原小学校区では「避難場所も避難所も知っている」が他の小学校区と比較してやや高くなっています。

## 2. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

### 【年齢別グラフ】

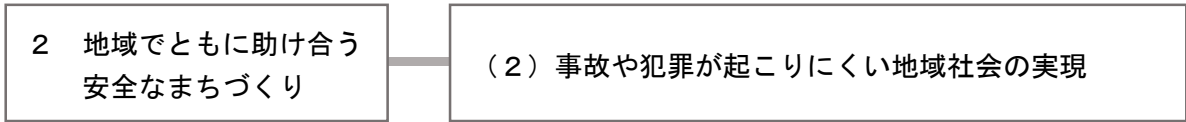
<単数回答>



年齢別で見ると、避難場所、避難所両方もしくはどちらかを知っている割合は年齢が上がるほど高くなっており、65歳以上では7割を超えているのに対し、18～29歳では4割に留まっています。



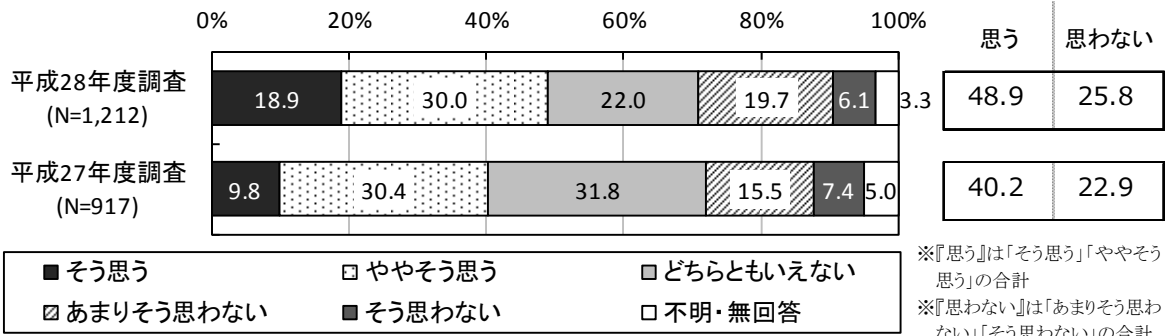
■政策と基本施策



[調査票/問 12-1]

(4) - 1 粕屋町は、事故や犯罪が少なく安全な町だと思いますか。  
(1つだけに○)

<単数回答>

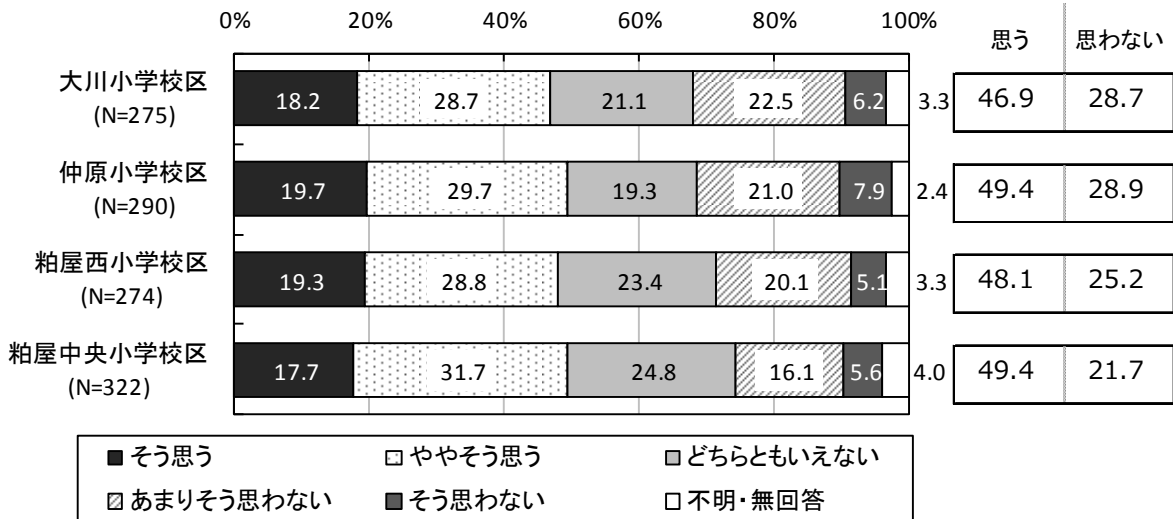


安全な町だと思うかについてみると、『思う』が約5割と高くなっています。

経年比較でみると、『思う』では、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が8.7ポイント高くなっています。

【小学校区別グラフ】

<単数回答>

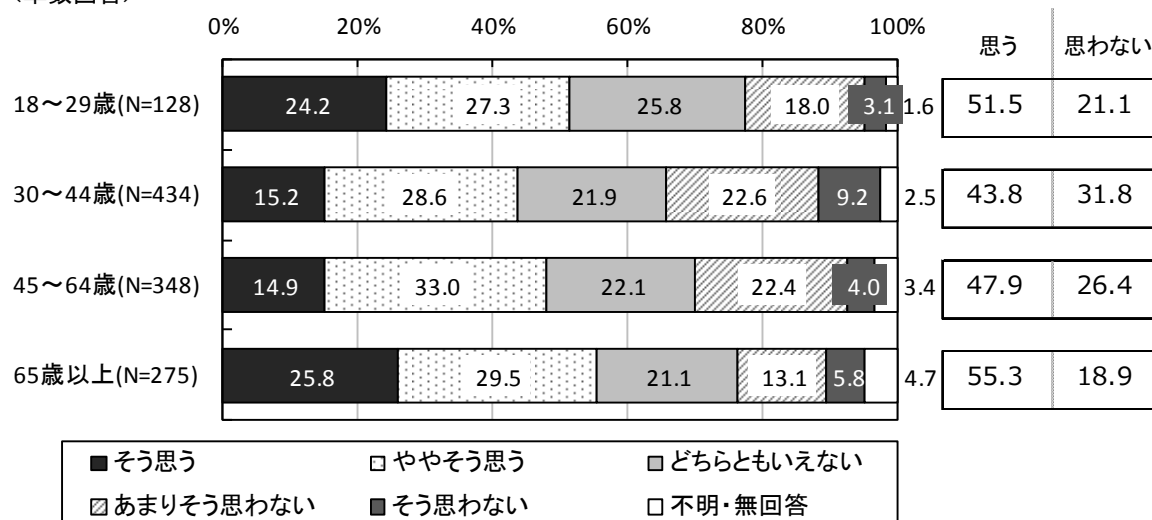


小学校区別でみると、すべての小学校区で安全な町だと『思う』は約5割と同程度となっています。

## 2. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

### 【年齢別グラフ】

〈単数回答〉

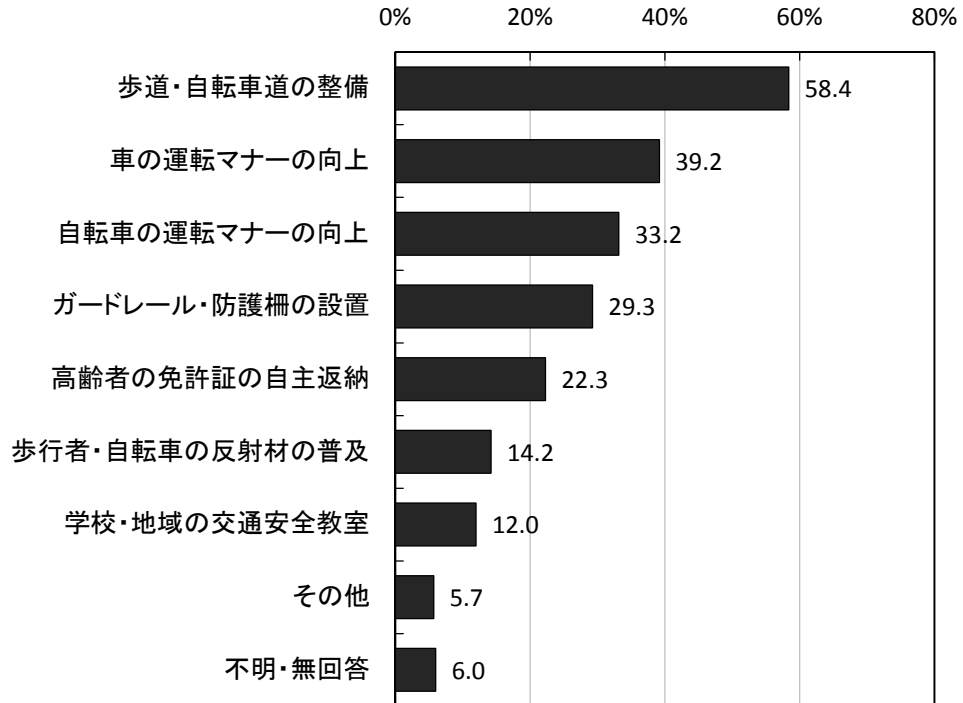


年齢別でみると、18～29歳、65歳以上で安全な町だと『思う』が5割以上と高くなっています。また、30～44歳では『思わない』が3割以上と他の年齢と比較して高くなっています。

[調査票/問 12-2]

(4) - 2 粕屋町では、交通安全に関してどのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまる3つまでに○)

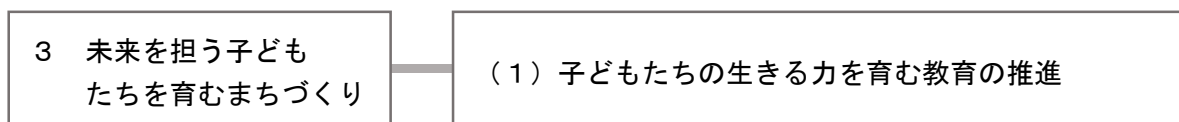
<複数回答>  
N=1,212



交通安全に関して必要だと思う取り組みについてみると、「歩道・自転車道の整備」が58.4%と最も高く、次いで「車の運転マナーの向上」が39.2%、「自転車の運転マナーの向上」が33.2%となっています。

## 2. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

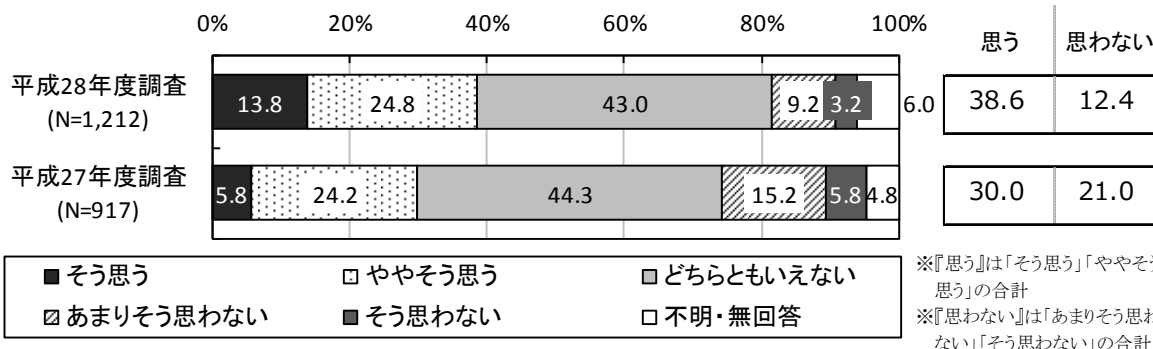
### ■政策と基本施策



〔調査票／問 13-1〕

### (5) - 1 粕屋町では、小中学校の教育環境が整っていると思いますか。 (1つだけに○)

〈単数回答〉

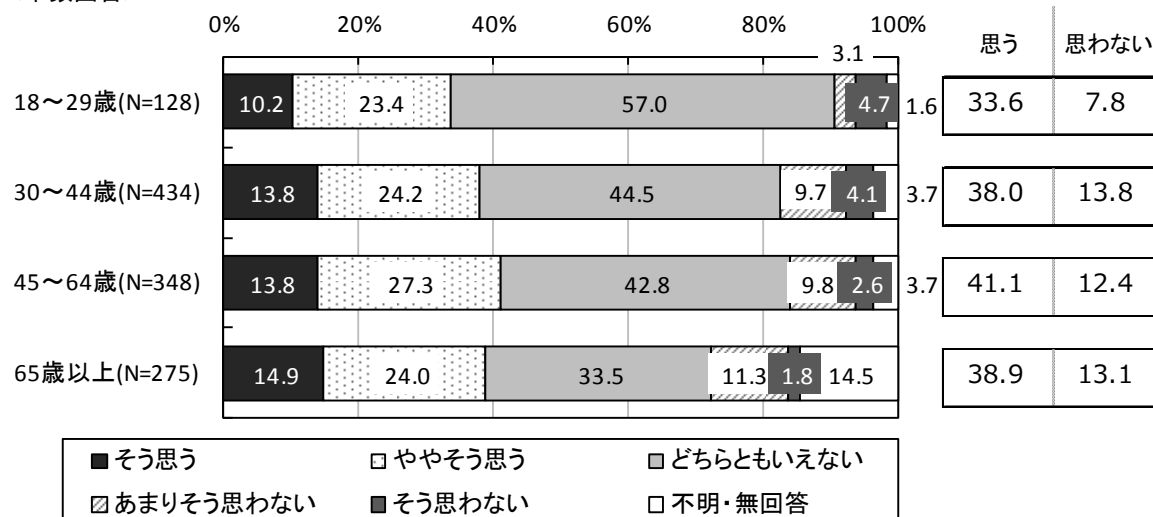


教育環境が整っていると思うかについてみると、「どちらともいえない」が43.0%と最も高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が『思う』が高く、『思わない』が低くなっています。

### 【年齢別グラフ】

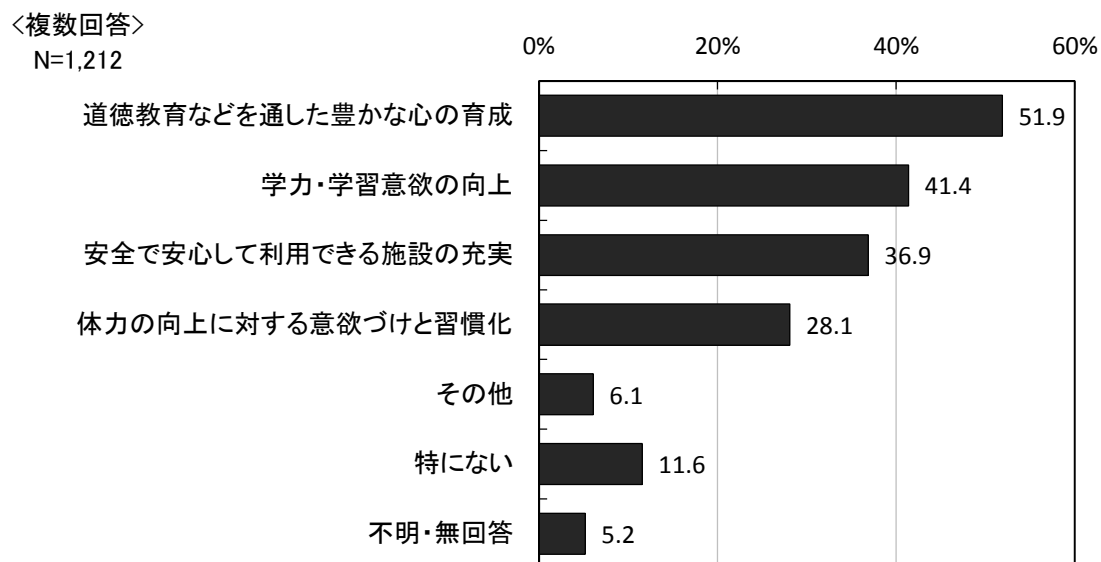
〈単数回答〉



年齢別でみると、年齢が上がるほど「どちらともいえない」が低くなっています。また、45～64歳では教育環境が整っていると『思う』が、他の年齢と比較してやや高くなっています。

〔調査票／問 13－2〕

(5)－2 粕屋町では、小中学生の教育に関してどのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまる3つまでに○)

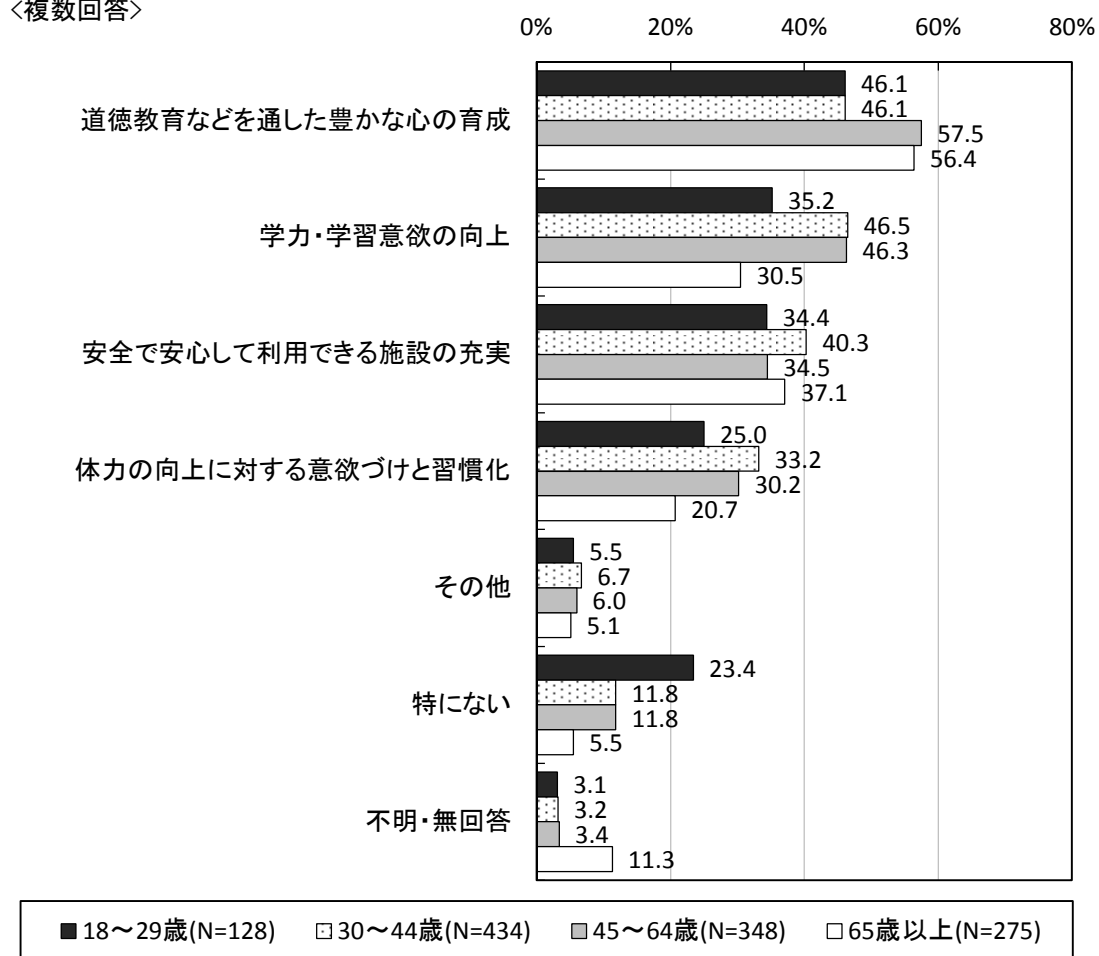


小中学生の教育に関して必要だと思う取り組みについてみると、「道徳教育などを通じた豊かな心の育成」が51.9%と最も高く、次いで「学力・学習意欲の向上」が41.4%、「安全で安心して利用できる施設の充実」が36.9%となっています。

## 2. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

### 【年齢別グラフ】

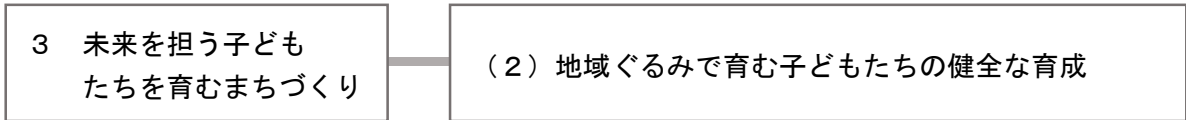
〈複数回答〉



年齢別で見ると、18～29歳、45～64歳、65歳以上では「道徳教育などを通じた豊かな心の育成」が最も高く、30～44歳では「学力・学習意欲の向上」が最も高くなっています。

2. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

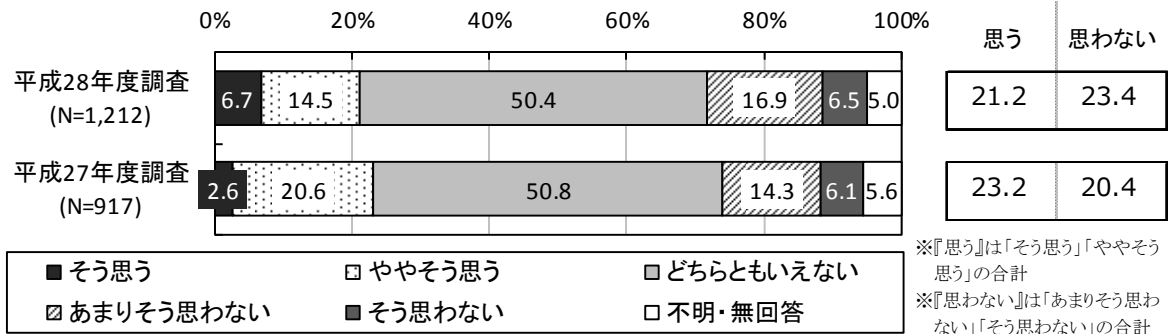
■政策と基本施策



〔調査票／問 14-2〕

(6) - 2 粕屋町では、青少年の育成について学校・家庭・地域の連携が十分だと思えますか。(1つだけに○)

<単数回答>

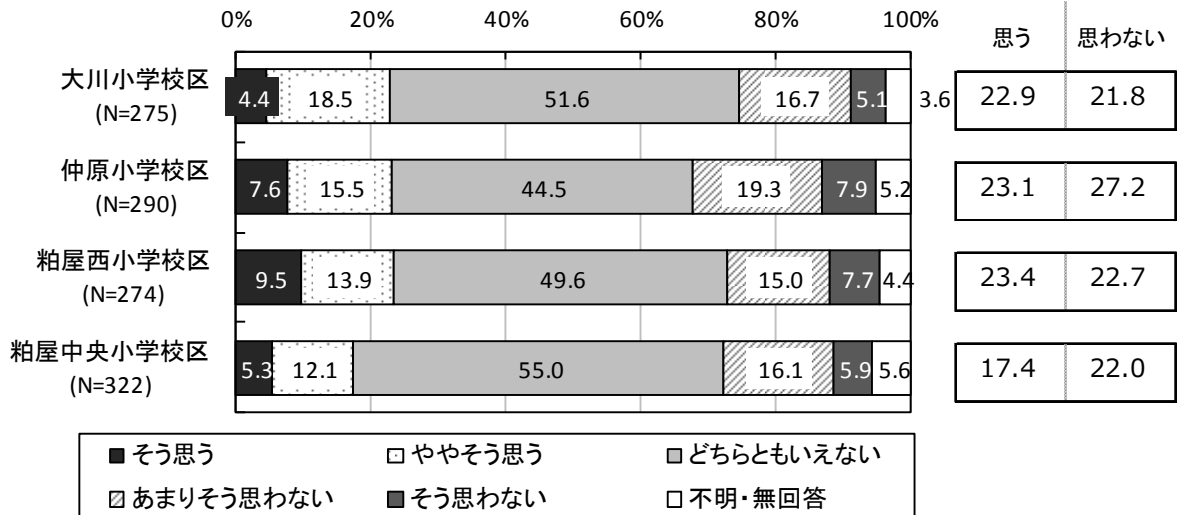


青少年の育成について学校・家庭・地域の連携が十分だと思うかについてみると、「どちらともいえない」が50.4%と最も高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より平成28年度調査で「そう思う」がやや高くなっています。

【小学校区別グラフ】

<単数回答>



小学校区別でみると、粕屋中央小学校区では青少年の育成についての連携が十分だと『思う』が他の小学校区と比較してやや低くなっています。また、仲原小学校区では『思わない』が他の小学校区と比較してやや高くなっています。

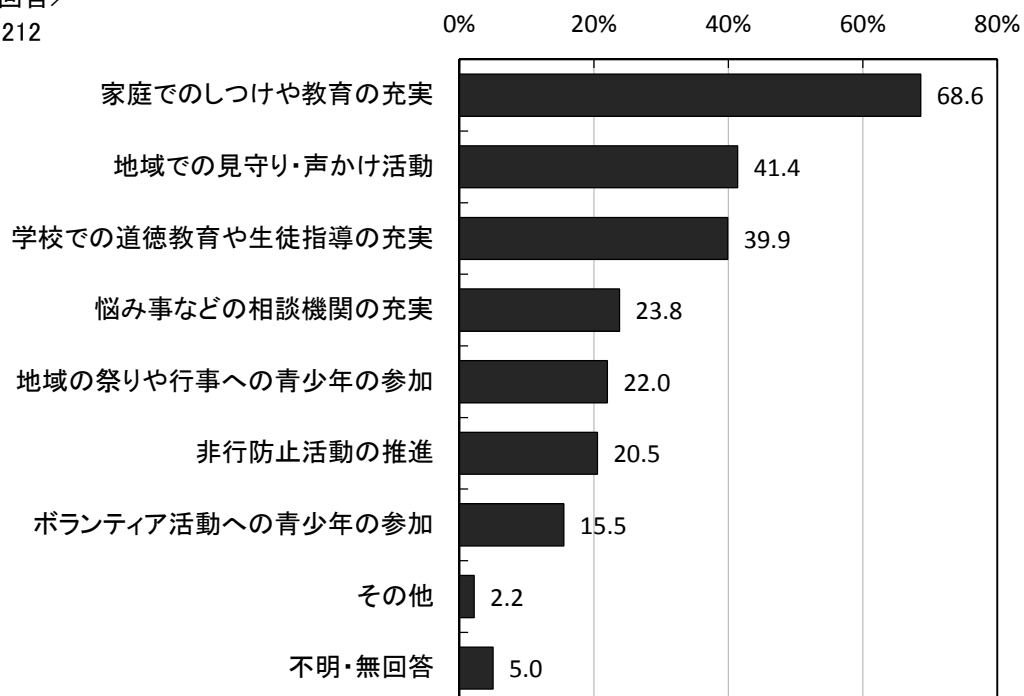
## 2. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

[調査票／問 14-1]

(6) - 1 あなたは、青少年の健全育成のためにどのようなことが必要だと思えますか。(あてはまる3つまでに○)

<複数回答>

N=1,212



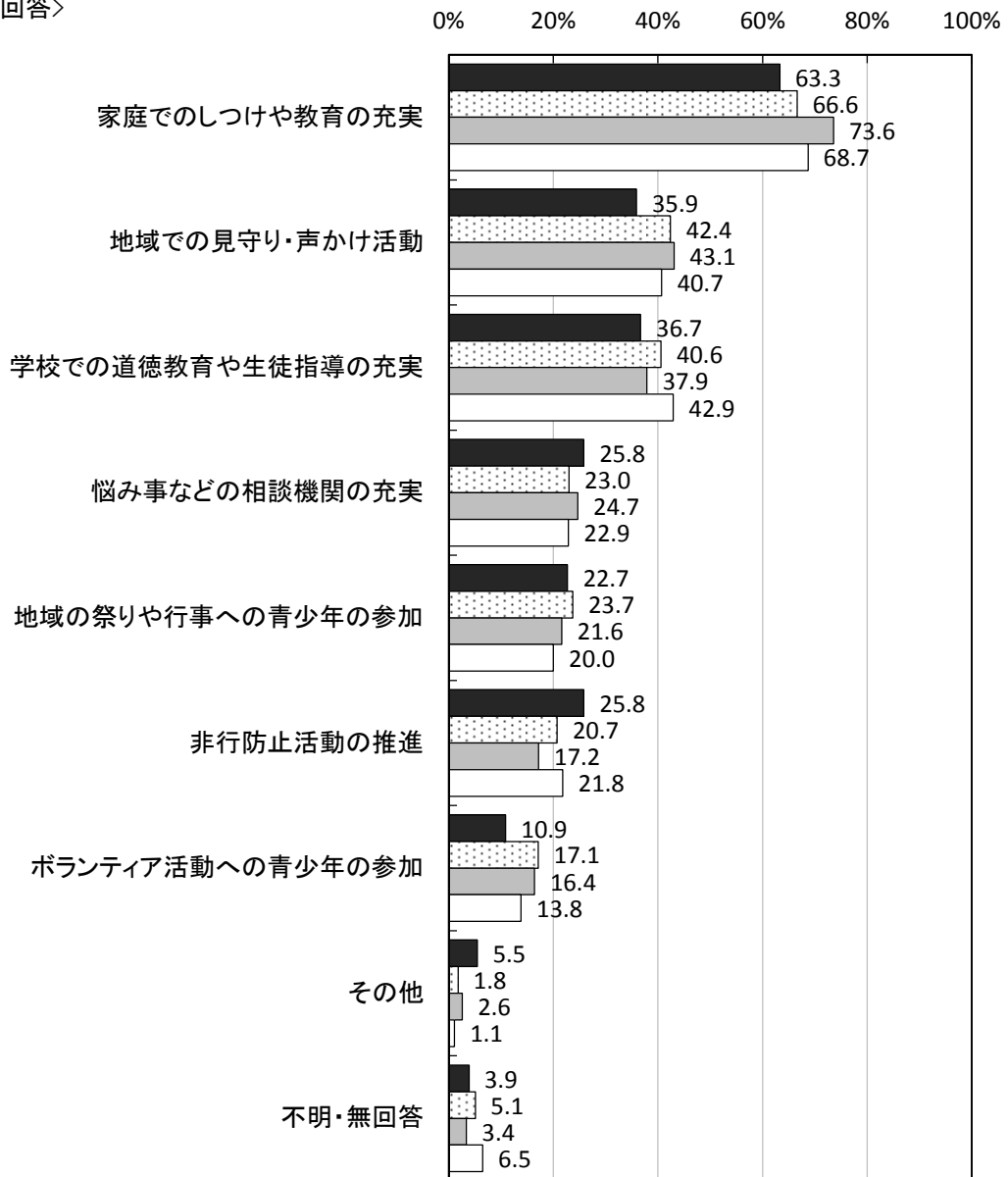
青少年の健全育成のために必要なことについてみると、「家庭でのしつけや教育の充実」が68.6%と最も高く、次いで「地域での見守り・声かけ活動」が41.4%、「学校での道徳教育や生徒指導の充実」が39.9%となっています。



2. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

【年齢別グラフ】

〈複数回答〉

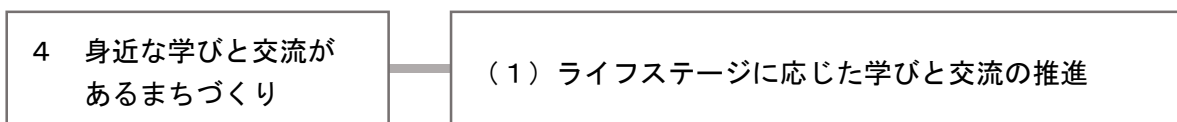


■ 18～29歳(N=128) □ 30～44歳(N=434) ■ 45～64歳(N=348) □ 65歳以上(N=275)

年齢別で見ると、45～64歳では「家庭でのしつけや教育の充実」が他の年齢と比較して高く、18～29歳では「非行防止活動の推進」が他の年齢と比較して高くなっています。

## 2. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

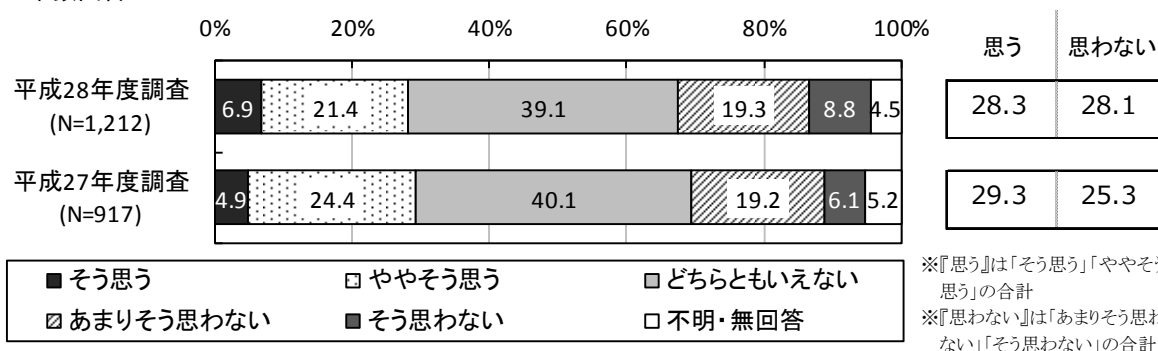
### ■政策と基本施策



〔調査票／問 15－1〕

### (7)－1 粕屋町では、生涯を通して身近に学びの機会があると思いますか。 (1つだけに○)

<単数回答>

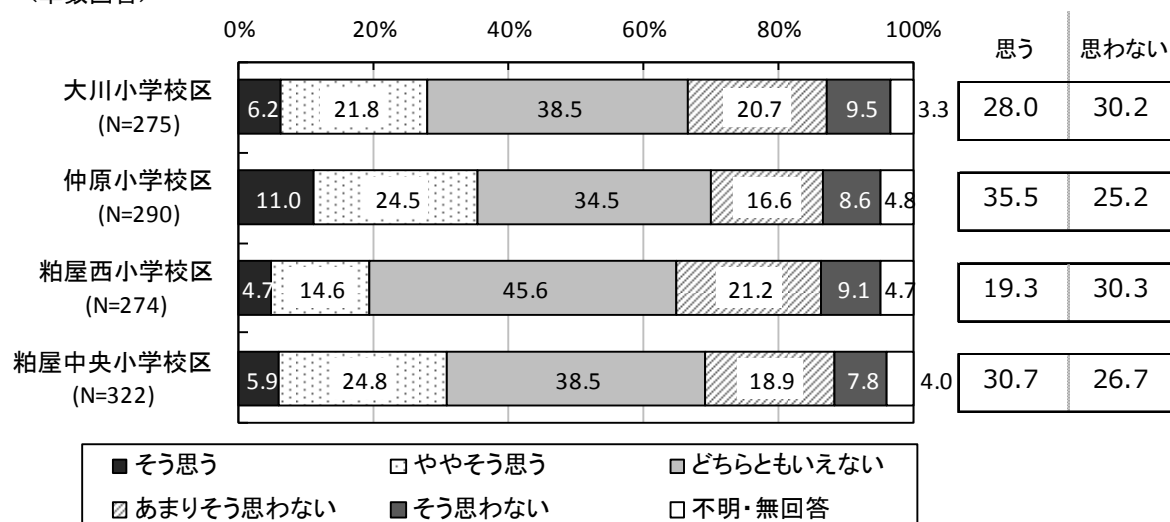


身近に学びの機会があると思うかについてみると、「どちらともいえない」が39.1%と最も高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が『思う』が低く、『思わない』が高くなっており、『思う』と『思わない』の差が少なくなっています。

### 【小学校区別グラフ】

<単数回答>

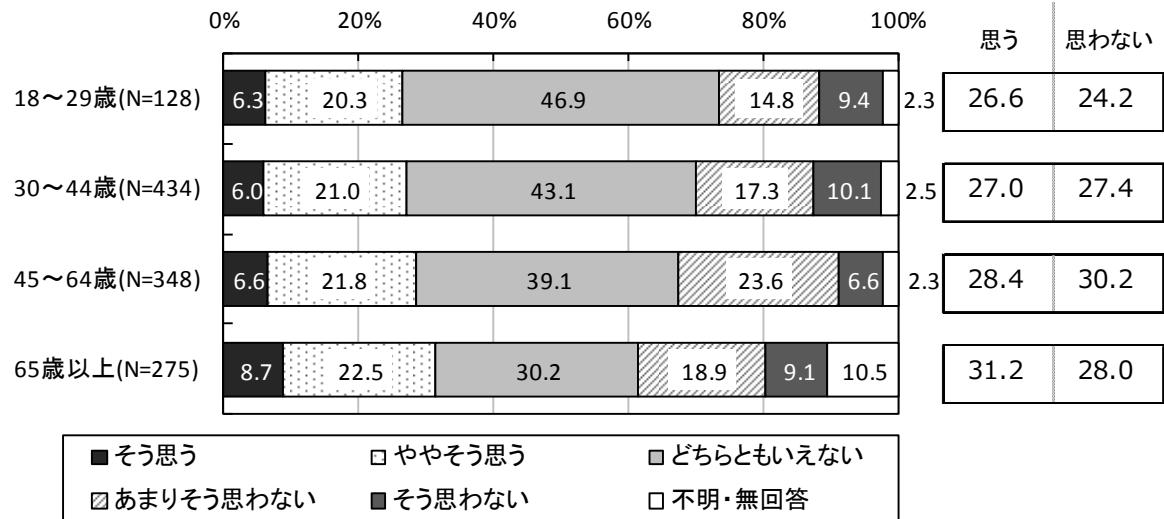


小学校区別でみると、仲原小学校区では身近に学びの機会があると『思う』が他の小学校区と比較して高くなっています。また、大川小学校区、粕屋西小学校区では『思わない』が他の小学校区と比較して高くなっています。

2. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

【年齢別グラフ】

〈単数回答〉



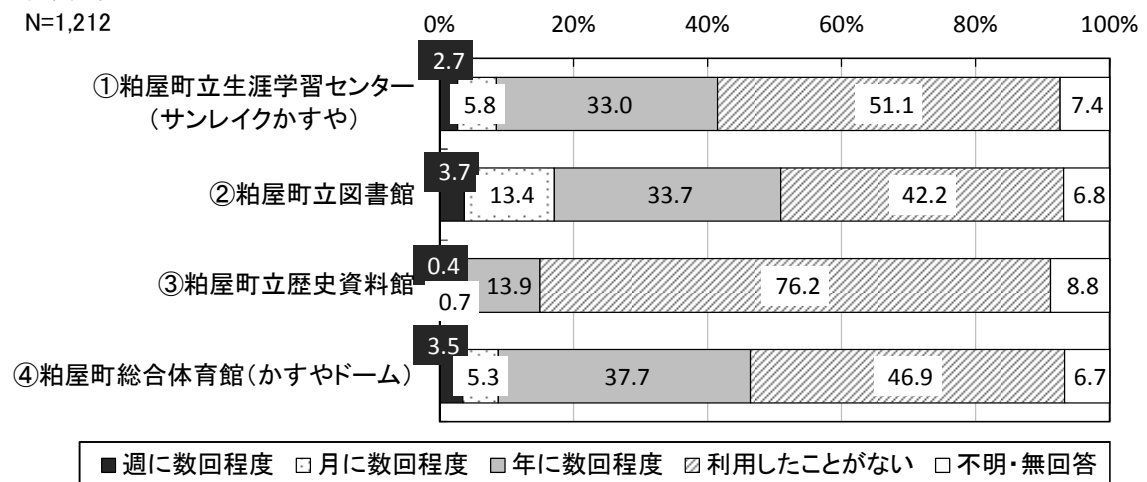
年齢別でみると、年齢が上がるほど身近に学びの機会があると『思う』が高くなっています。また、45～64歳では『思わない』が、他の年齢と比較してやや高くなっています。

〔調査票／問 15-2〕

(7) - 2 あなたは、それぞれの施設について、どれくらいの頻度で利用していますか。(それぞれ1つだけに○)

〈単数回答〉

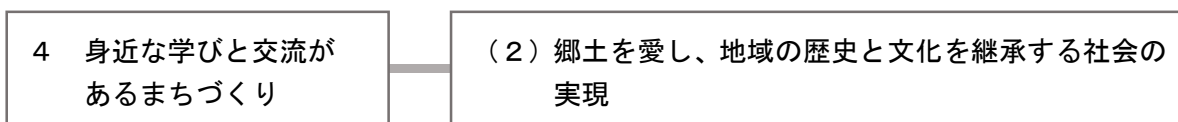
N=1,212



施設の利用頻度についてみると、②粕屋町立図書館を『利用している』（「週に数回程度」「月に数回程度」「年に数回程度」の合計）のが50.8%と比較的利用頻度が高くなっています。一方、③粕屋町立歴史資料館を『利用している』のは15.0%に留まっています。

## 2. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

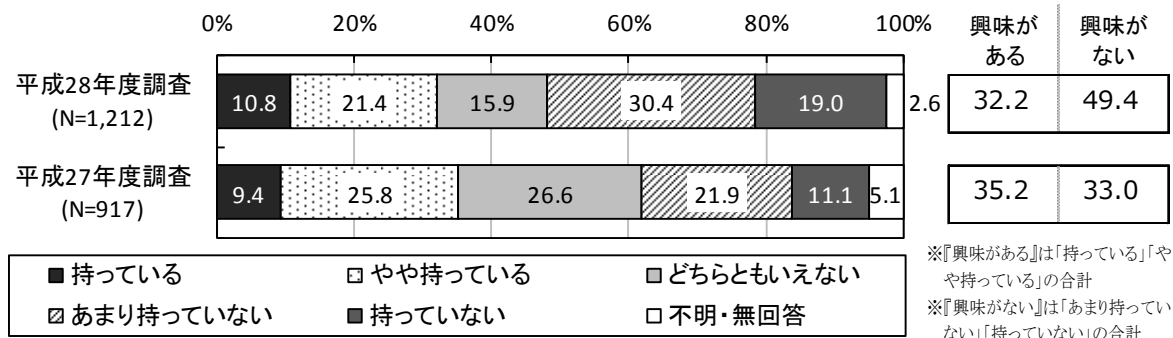
### ■政策と基本施策



[調査票／問 16]

### (8) あなたは、町の歴史に興味を持っていますか。(1つだけに○)

<単数回答>

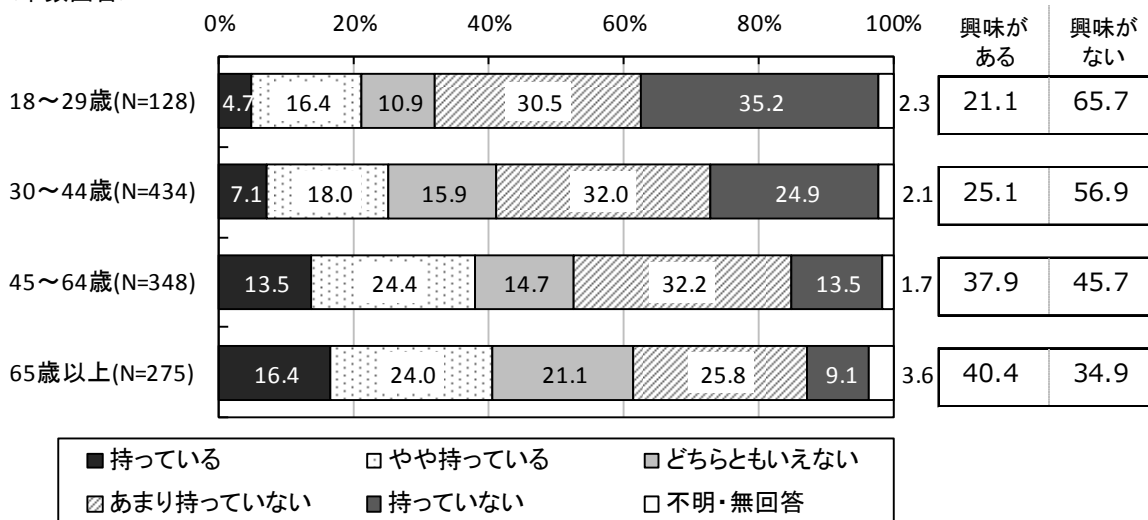


町の歴史への興味についてみると、『興味がある』より『興味がない』の方が高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が、『興味がある』では、わずかに低く、『興味がない』では16.4ポイント高くなっています。

### 【年齢別グラフ】

<単数回答>



年齢別でみると、年齢が上がるほど町の歴史に『興味がある』が高く、65歳以上では4割を超えています。また、18～29歳では、『興味がない』が6割以上となっています。

### 3. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

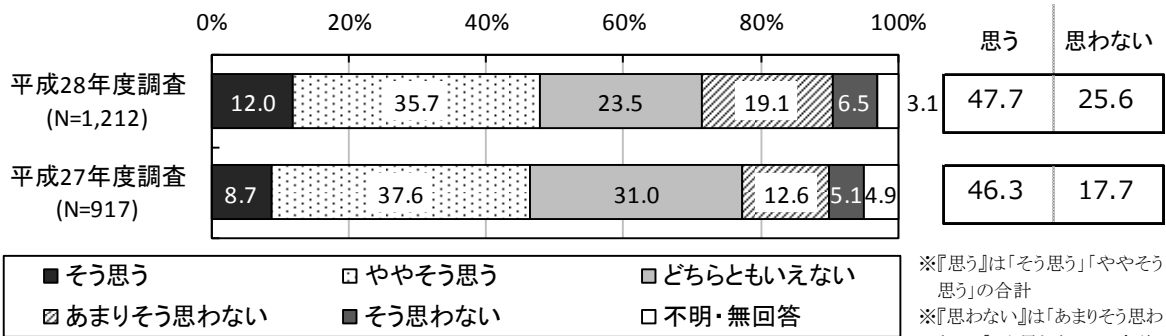
■政策と基本施策



〔調査票／問 17-1〕

(1) - 1 粕屋町では、都市と自然の調和したまちづくりが行われていると思いますか。(1つだけに○)

<単数回答>



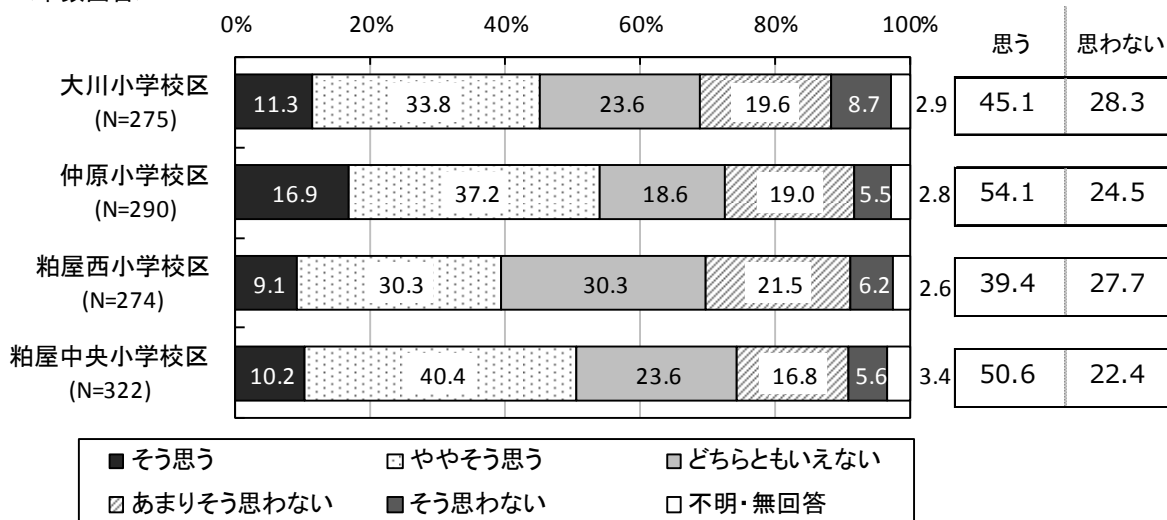
都市と自然の調和したまちづくりが行われていると思うかについてみると、『思わない』より『思う』の方が高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が『思う』『思わない』ともに高くなっています。

### 3. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

#### 【小学校区別グラフ】

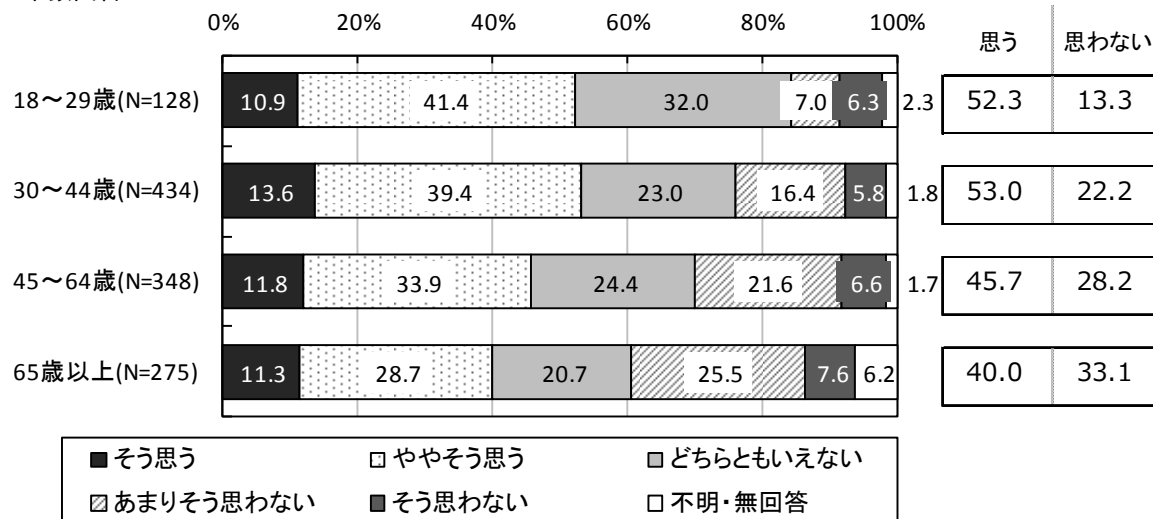
〈単数回答〉



小学校区別でみると、仲原小学校区と粕屋中央小学校区では、都市と自然の調和したまちづくりが行われていると『思う』の割合が5割以上と他の小学校区と比較して高くなっています。

#### 【年齢別グラフ】

〈単数回答〉



年齢別でみると、年齢が下がるほど都市と自然の調和したまちづくりが行われていると『思う』が高くなる傾向があり、18～29歳、30～44歳では5割以上と高くなっています。

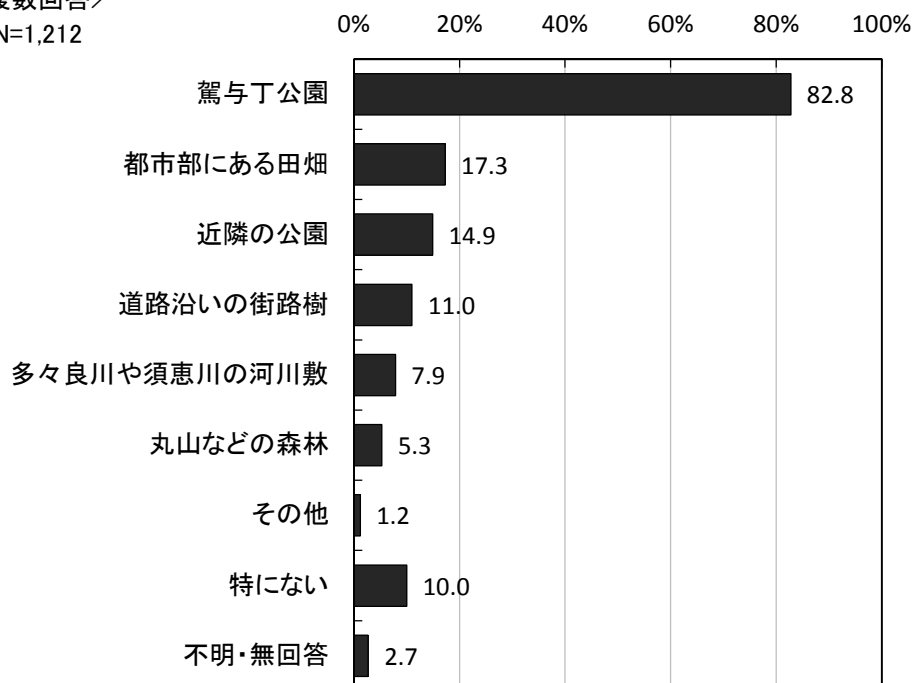
### 3. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

〔調査票／問 17-2〕

(1) - 2 あなたにとって、粕屋町で都市と自然が調和していると感じる場所はどこですか。(あてはまる3つまでに○)

<複数回答>

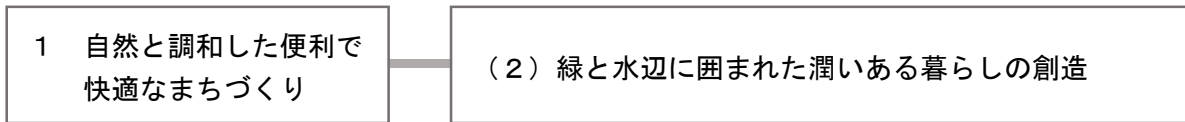
N=1,212



粕屋町において都市と自然が調和していると感じる場所についてみると、「駕与丁公園」が82.8%と最も高く、他の項目を大きく上回る割合となっています。一方、「特にない」が10.0%となっています。

### 3. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

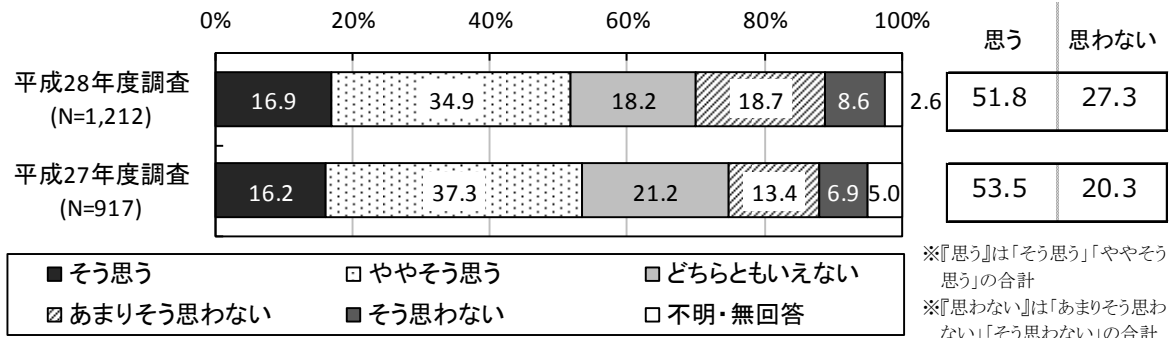
#### ■政策と基本施策



[調査票/問 18-1]

#### (2)-1 粕屋町では、憩いや交流の場として公園が活用されていると思いますか。 (1つだけに○)

<単数回答>

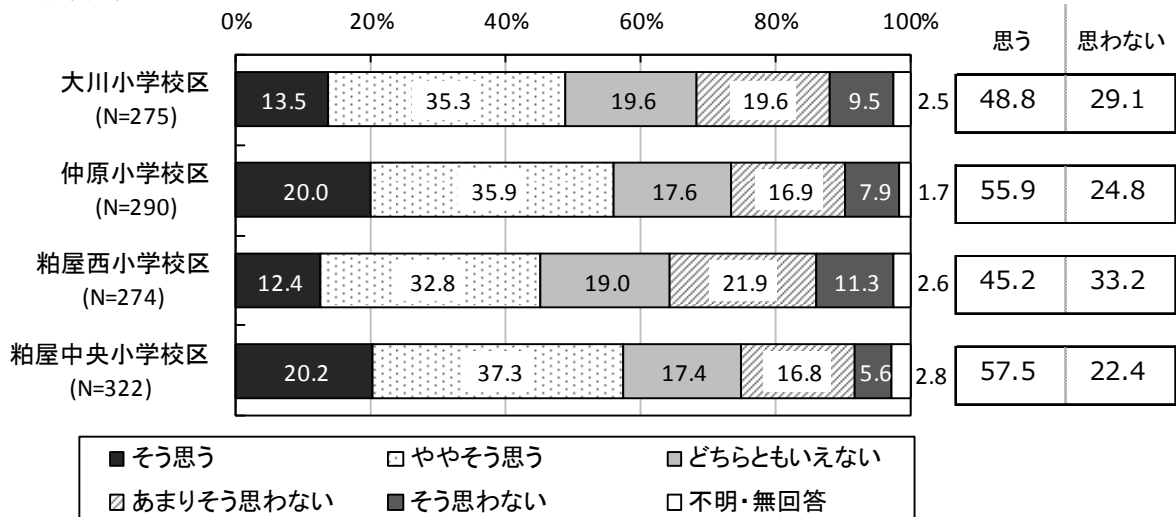


憩いや交流の場として公園が活用されていると思うかについてみると、『思わない』より『思う』の方が高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が『思う』が低く、『思わない』が高くなっており、『思う』と『思わない』の差が小さくなっています。

#### 【小学校区別グラフ】

<単数回答>



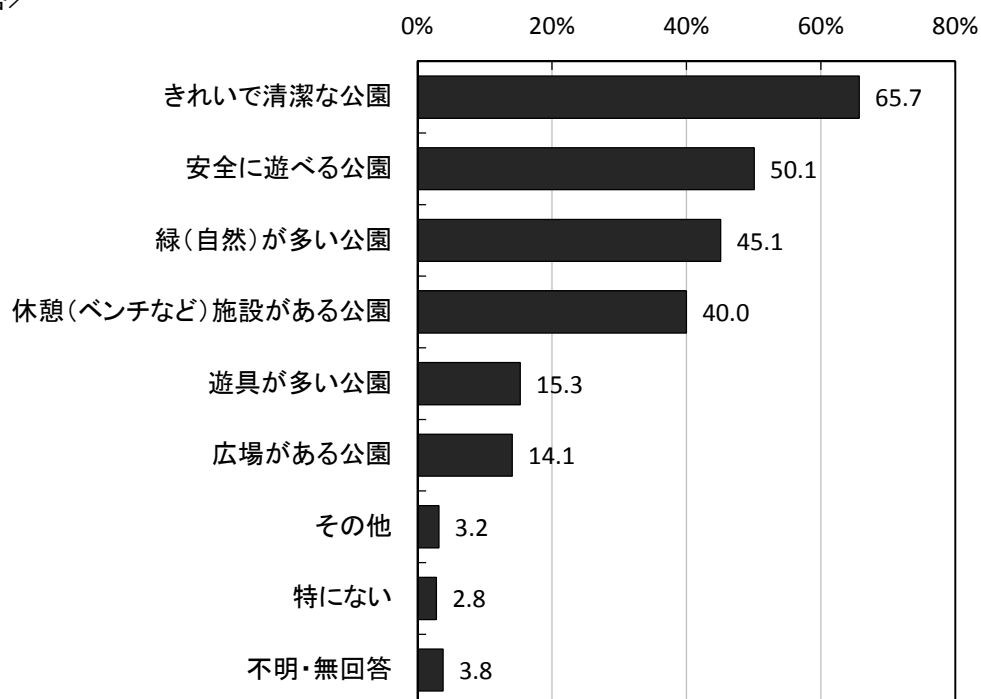
小学校区別でみると、仲原小学校区、粕屋中央小学校区では、憩いや交流の場として公園が活用されていると『思う』の割合が5割以上と他の小学校区と比較して高くなっています。また、粕屋西小学校区では『思わない』が3割以上と他の小学校区と比較して高くなっています。



〔調査票／問 18－2〕

(2)－2 あなたが、利用したいと思うのは、どのような公園ですか。  
(あてはまる3つまでに○)

〈複数回答〉  
N=1,212

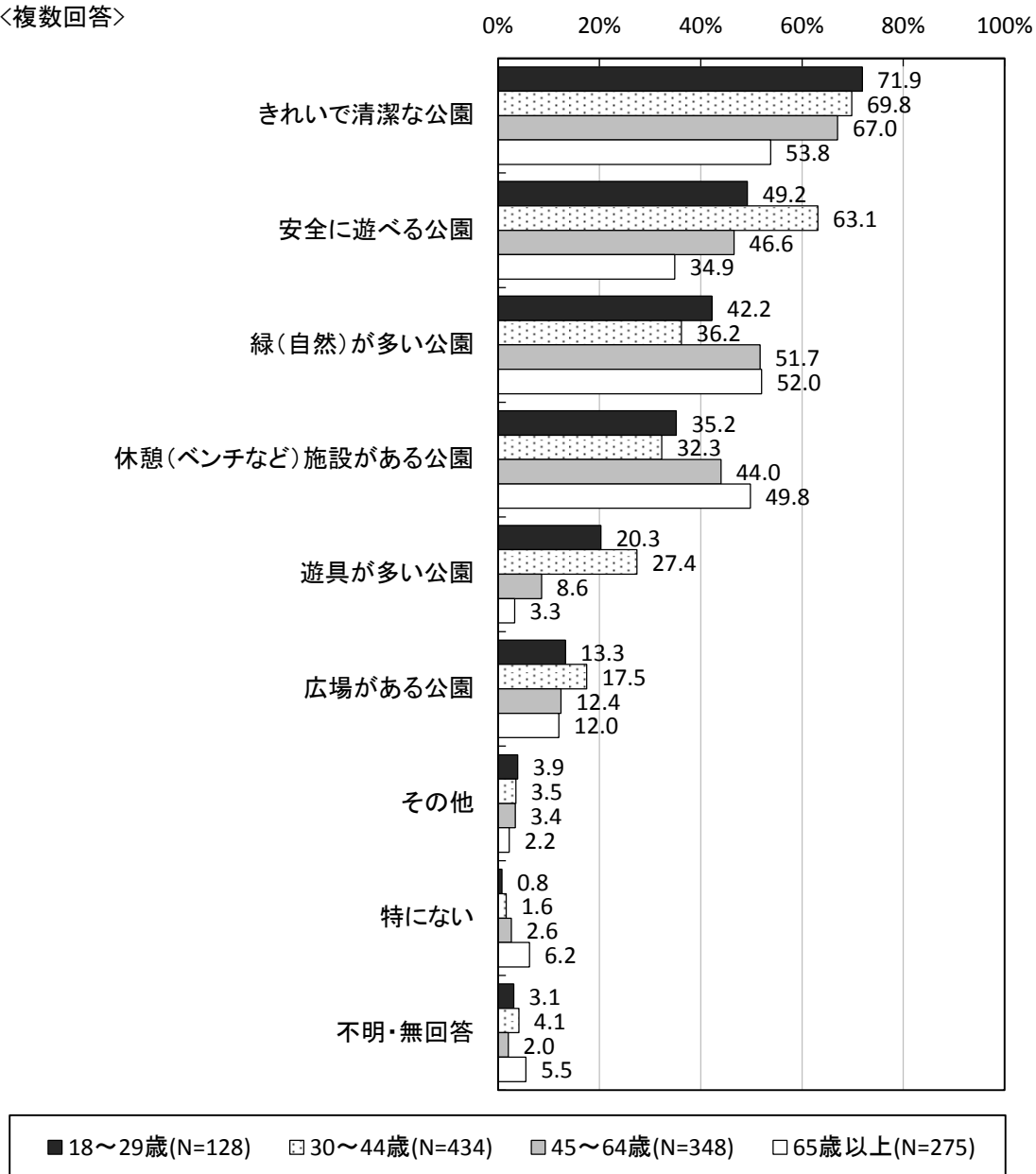


利用したいと思う公園についてみると、「きれいで清潔な公園」が65.7%と最も高く、次いで「安全に遊べる公園」が50.1%、「緑(自然)が多い公園」が45.1%となっています。

### 3. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

#### 【年齢別グラフ】

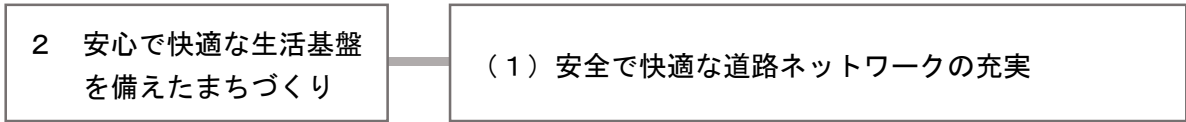
〈複数回答〉



年齢別でみると、年齢が下がるほど「きれいで清潔な公園」の割合が高く、18～29歳では7割を超えています。また、30～44歳では「安全に遊べる公園」「遊具が多い公園」が、65歳以上では「休憩(ベンチなど)施設がある公園」が他の年齢と比較して高くなっています。

3. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

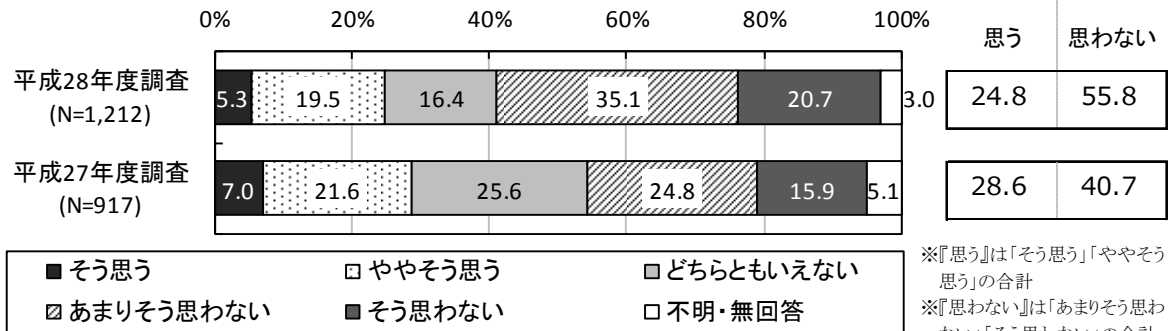
■政策と基本施策



[調査票/問 19-1]

(3) - 1 粕屋町では、円滑に車で通行できる道路網が整備されていると思いますか。(1つだけに○)

<単数回答>



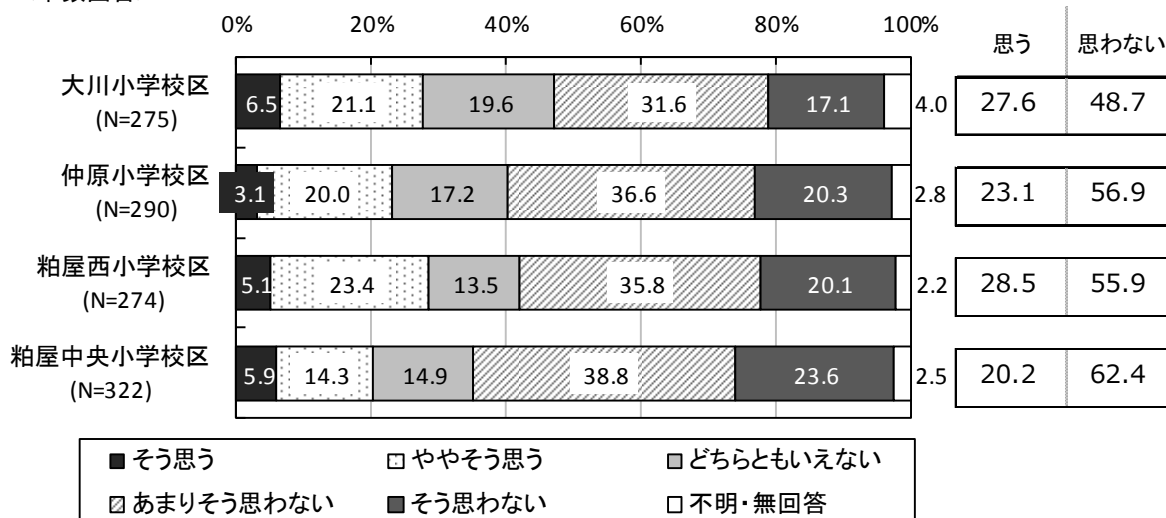
道路網が整備されていると思うかについてみると、『思う』より『思わない』の方が高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が『思う』が低く、『思わない』については15.1ポイント高くなっています。

### 3. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

#### 【小学校区別グラフ】

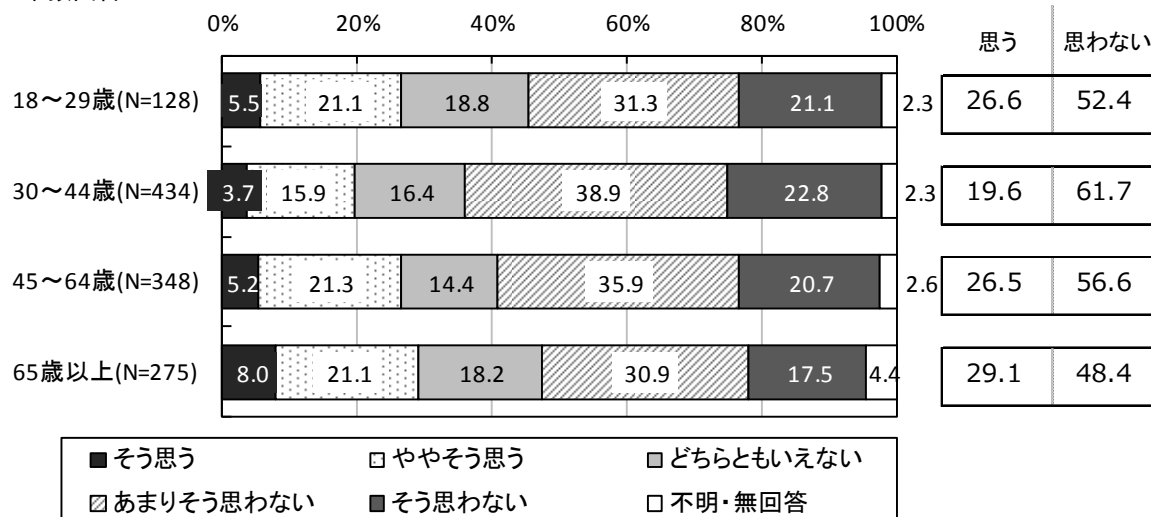
〈単数回答〉



小学校区別でみると、大川小学校区、粕屋西小学校区では、道路網が整備されていると『思う』が他の小学校区と比較してやや高くなっています。また、粕屋中央小学校区では『思わない』が6割以上と他の小学校区と比較して高くなっています。

#### 【年齢別グラフ】

〈単数回答〉

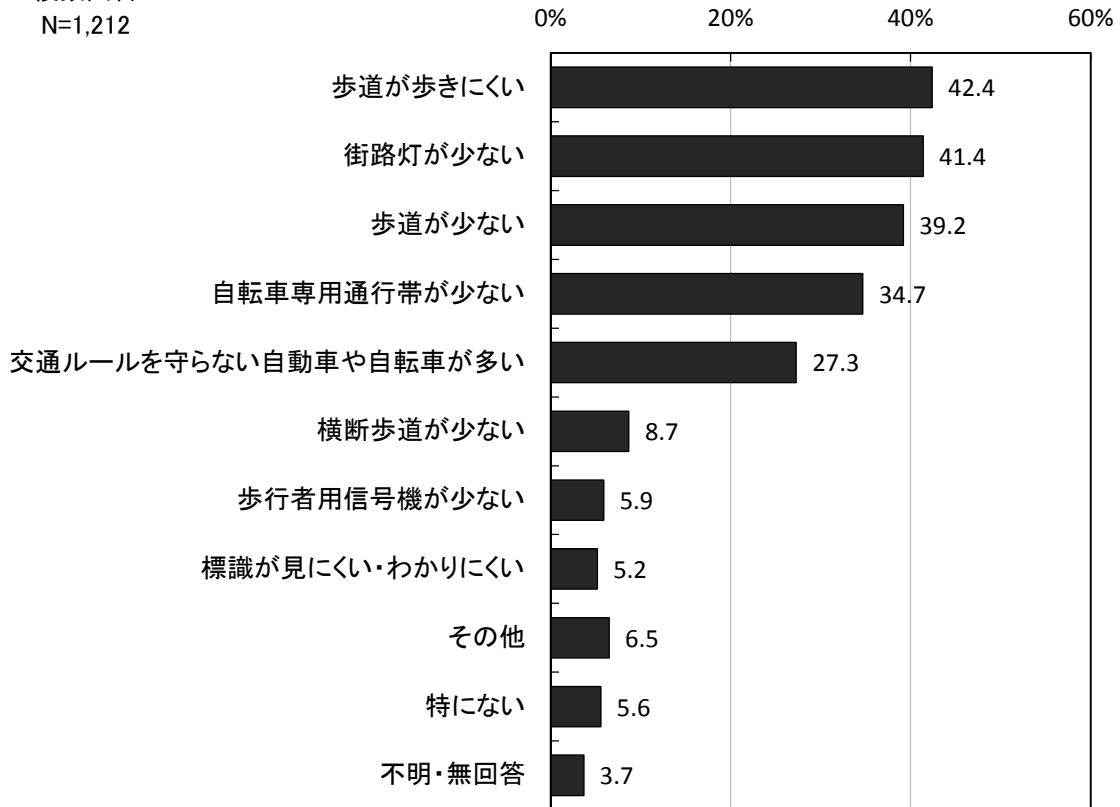


年齢別でみると、30～44歳では道路網が整備されていると『思う』が2割弱と他の年齢と比較して低くなっています。

[調査票/問 19-2]

(3) - 2 あなたは、町内の道路を歩行する際に日頃不安に思っていることがありますか。(あてはまる3つまでに○)

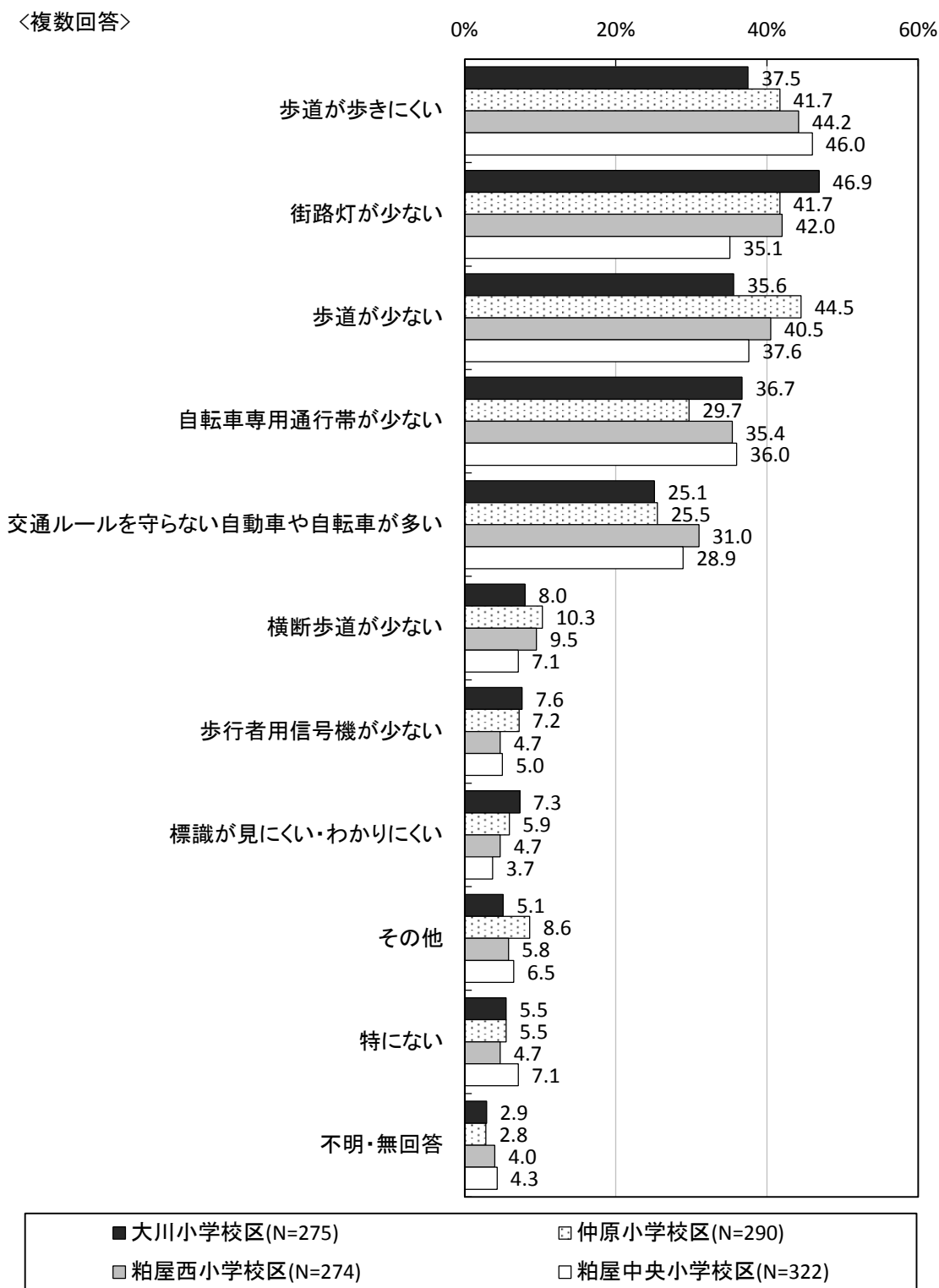
<複数回答>  
N=1,212



町内の道路を歩行する際に日頃不安に思っていることについてみると、「歩道が歩きにくい」が42.4%と最も高く、次いで「街路灯が少ない」が41.4%、「歩道が少ない」が39.2%となっています。

### 3. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

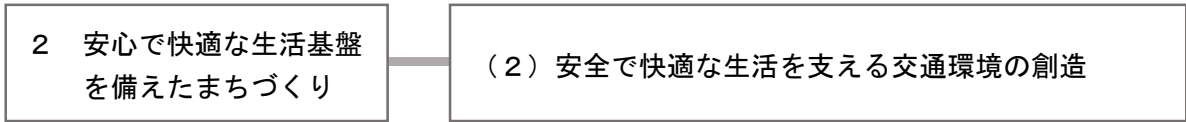
#### 【小学校区別グラフ】



小学校区別でみると、各小学校区で上位5位は同じ項目であるものの、大川小学校区では「街路灯が少ない」が、仲原小学校区では「歩道が少ない」が、粕屋西小学校区では「交通ルールを守らない自動車や自転車が多い」が、粕屋中央小学校区では「歩道が歩きにくい」が、それぞれ他の小学校区と比較して高くなっています。

3. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

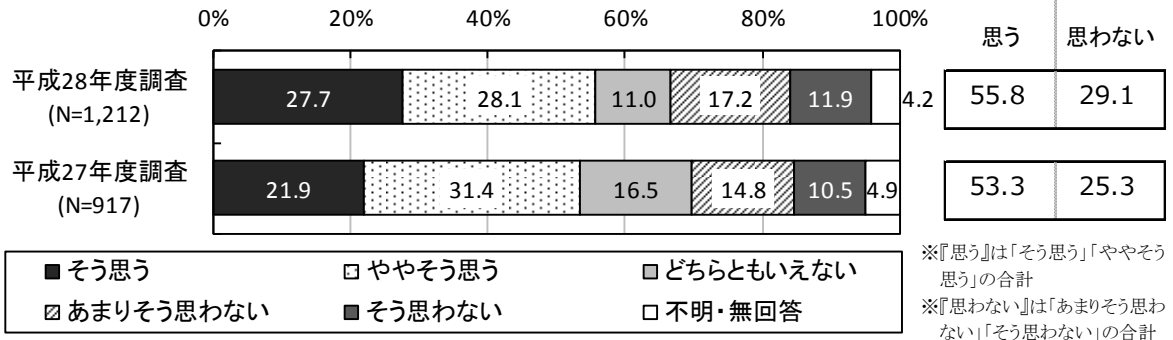
■政策と基本施策



[調査票/問 20-1]

(4) - 1 粕屋町では、公共交通を利用しやすいと思いますか。(1つだけに○)

<単数回答>



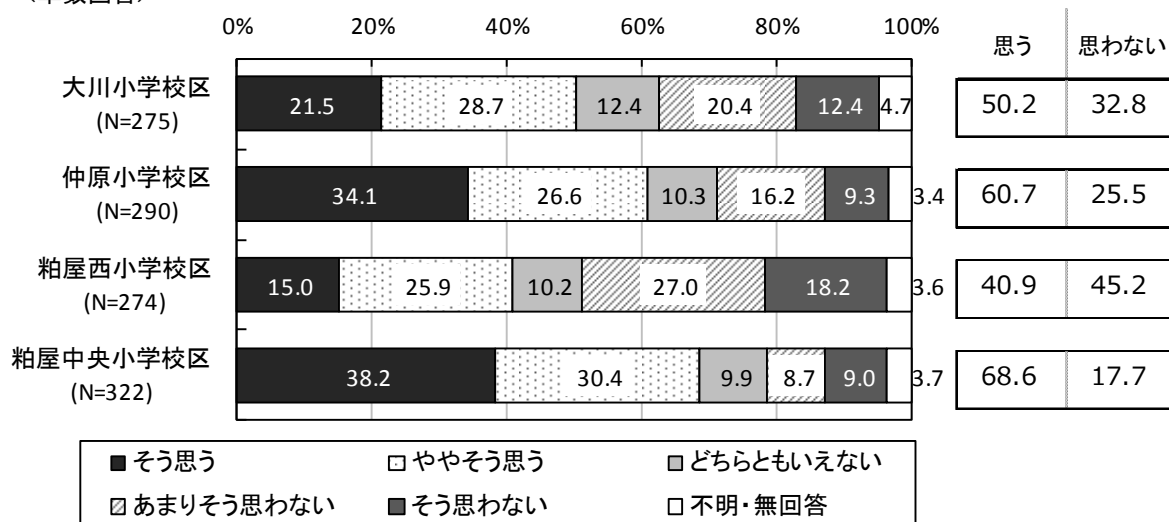
公共交通を利用しやすいと思うかについてみると、『思わない』より『思う』の方が高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が『思う』、『思わない』のどちらも高くなっています。

### 3. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

#### 【小学校区別グラフ】

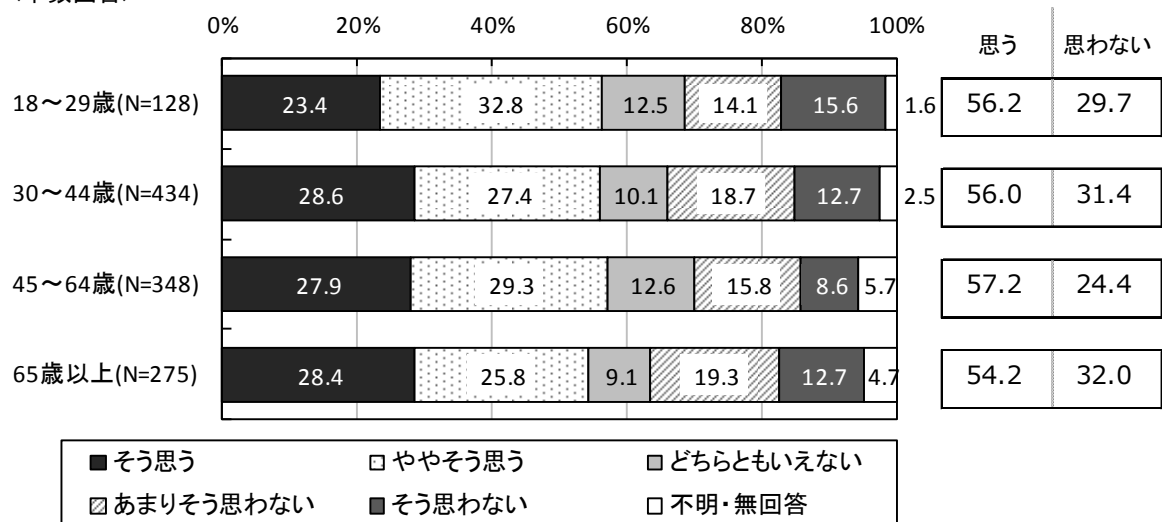
<単数回答>



小学校区別でみると、粕屋中央小学校区では、公共交通を利用しやすいと『思う』が約7割と他の小学校区と比較して高くなっています。また、粕屋西小学校区では『思わない』が4割以上と他の小学校区と比較して高くなっています。

#### 【年齢別グラフ】

<単数回答>



年齢別でみると、45～64歳で公共交通を利用しやすいと『思わない』が約2割と他の年齢と比較してやや低くなっています。



### 3. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

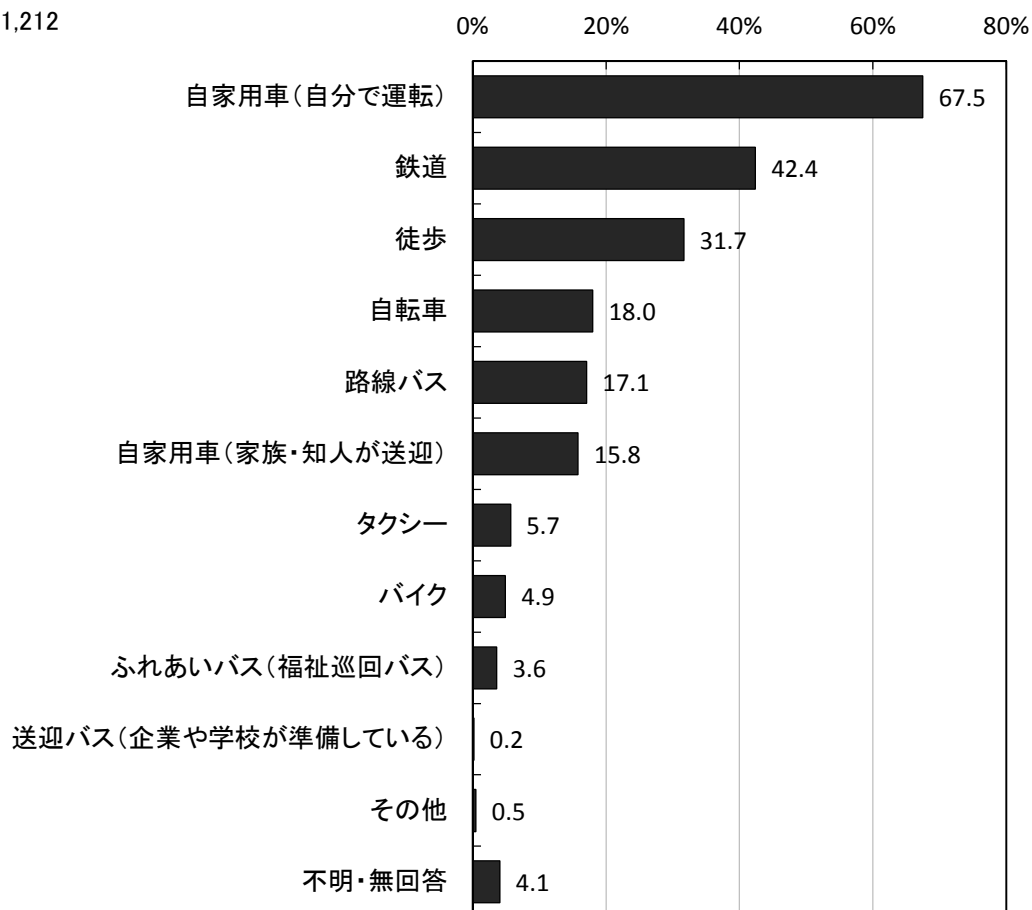
[調査票/問 20-2]

(4) - 2 あなたは、通勤、通学、買い物、通院、公共施設の訪問など、主にどのような交通機関を利用して移動していますか。

(あてはまる3つまでに○)

<複数回答>

N=1,212

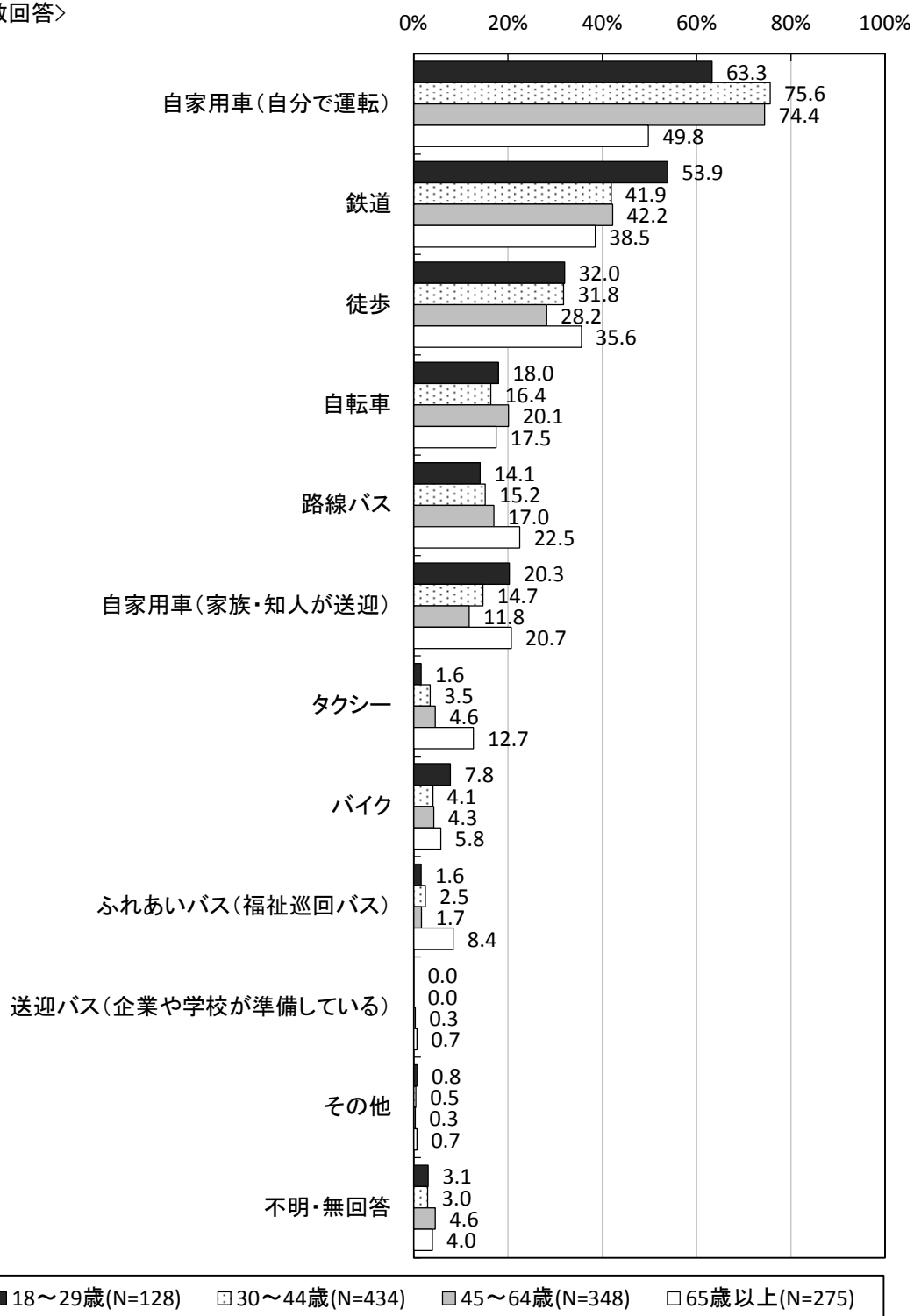


利用している交通機関についてみると、「自家用車(自分で運転)」が67.5%と最も高く、次いで「鉄道」が42.4%、「徒歩」が31.7%となっています。

### 3. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

#### 【年齢別グラフ】

<複数回答>



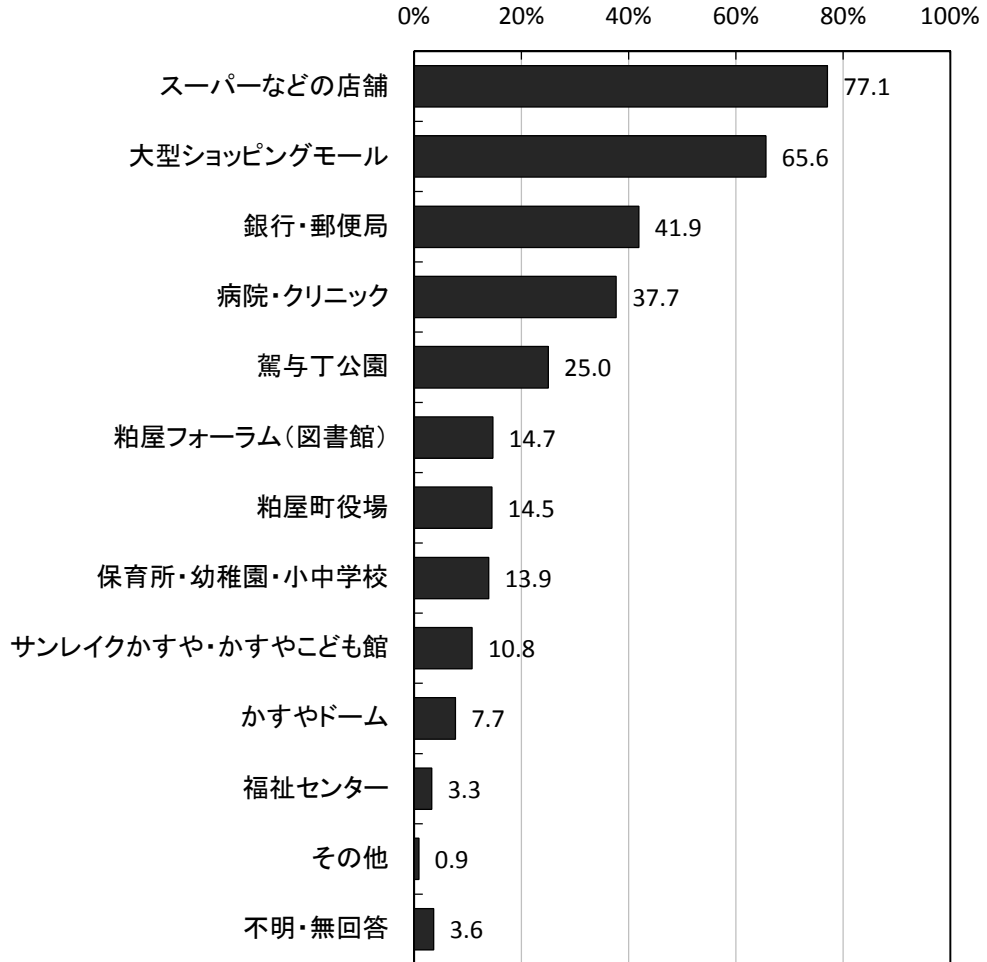
年齢別でみると、18～29歳では「鉄道」が、30～44歳、45～64歳では「自家用車（自分で運転）」が、それぞれ他の年齢と比較して高くなっています。また、年齢が上がるほど「路線バス」「タクシー」の割合が高くなっています。

[調査票/問 20-3]

(4) - 3 あなたがよく出かける町内の場所（施設）はどちらですか。  
（あてはまるすべてに○）

<複数回答>

N=1,212

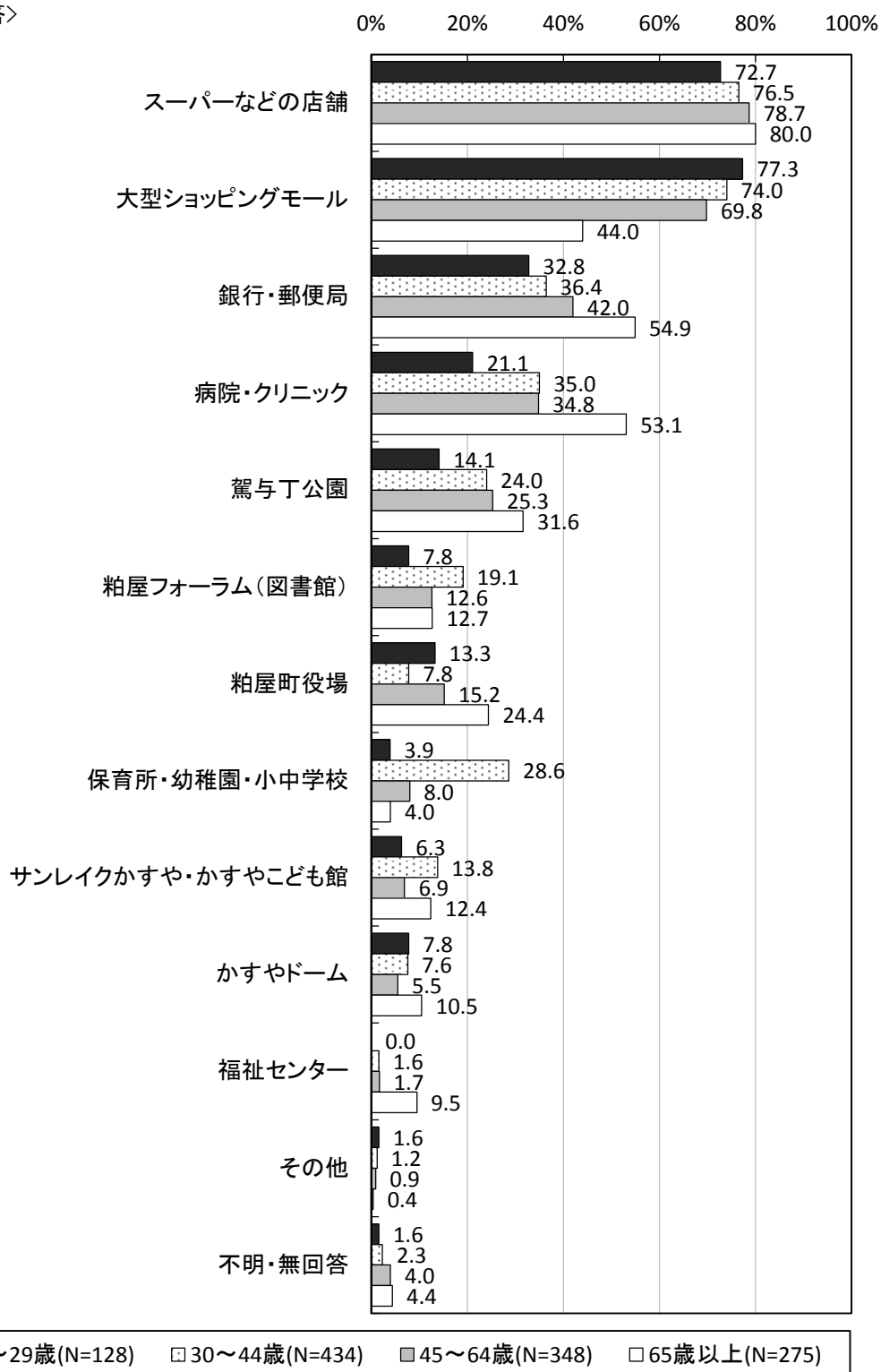


よく出かける町内の場所（施設）についてみると、「スーパーなどの店舗」が77.1%と最も高く、次いで「大型ショッピングモール」が65.6%、「銀行・郵便局」が41.9%となっています。

### 3. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

#### 【年齢別グラフ】

〈複数回答〉

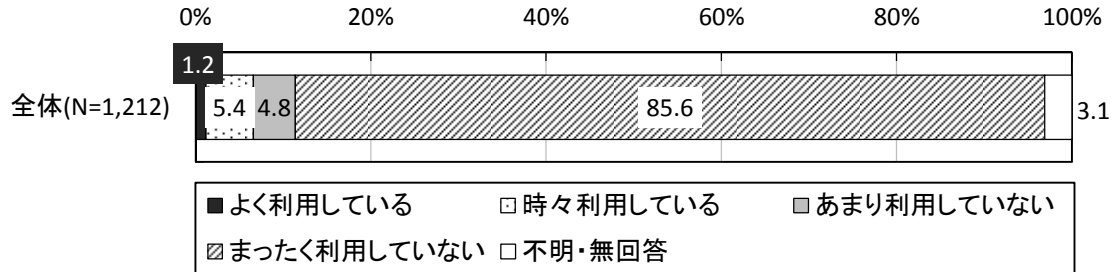


年齢別でみると、年齢が上がるほど「スーパーなどの店舗」「銀行・郵便局」「病院・クリニック」「駕与丁公園」「福祉センター」の割合が高く、町内が生活圏である高齢者が多いことがうかがえます。

[調査票/問 20-4]

(4) - 4 あなたは、ふれあいバス（福祉巡回バス）を利用していますか。  
(1つだけに○)

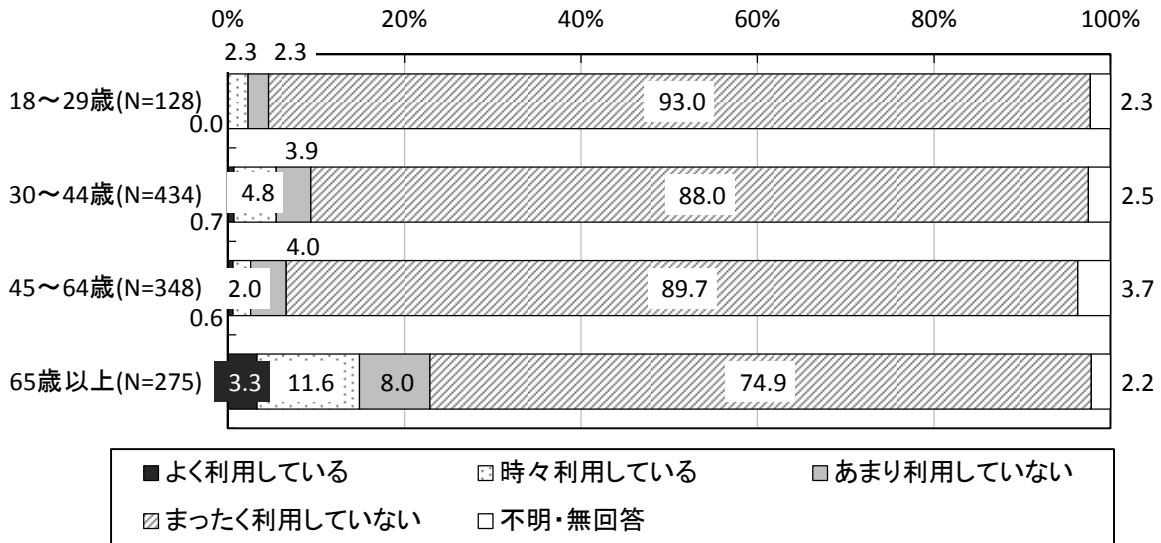
<単数回答>



ふれあいバス（福祉巡回バス）の利用状況についてみると、『利用している』（「よく利用している」「時々利用している」の合計）が6.6%となっています。

【年齢別グラフ】

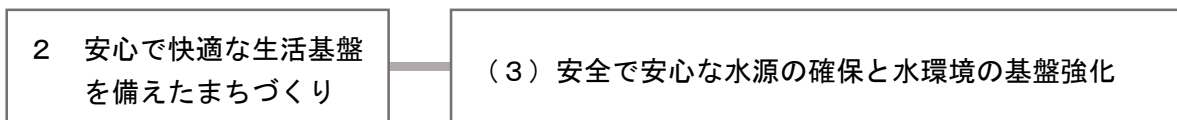
<単数回答>



年齢別でみると、65歳以上でふれあいバス（福祉巡回バス）を『利用している』が14.9%と他の年齢と比較して高くなっており、18～29歳、30～44歳、45～64歳では「まったく利用していない」が9割前後となっています。

### 3. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

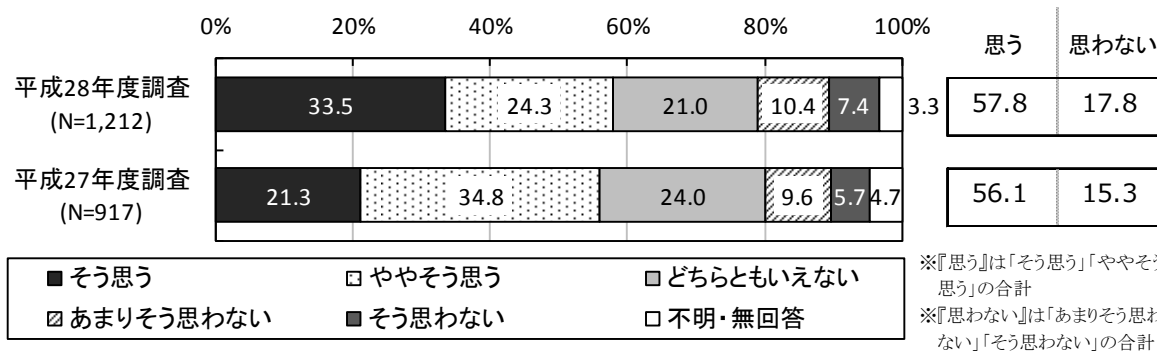
#### ■政策と基本施策



[調査票/問 21-1]

#### (5) 粕屋町では、いつでも安心して水を利用できると思いますか。 (1つだけに○)

<単数回答>

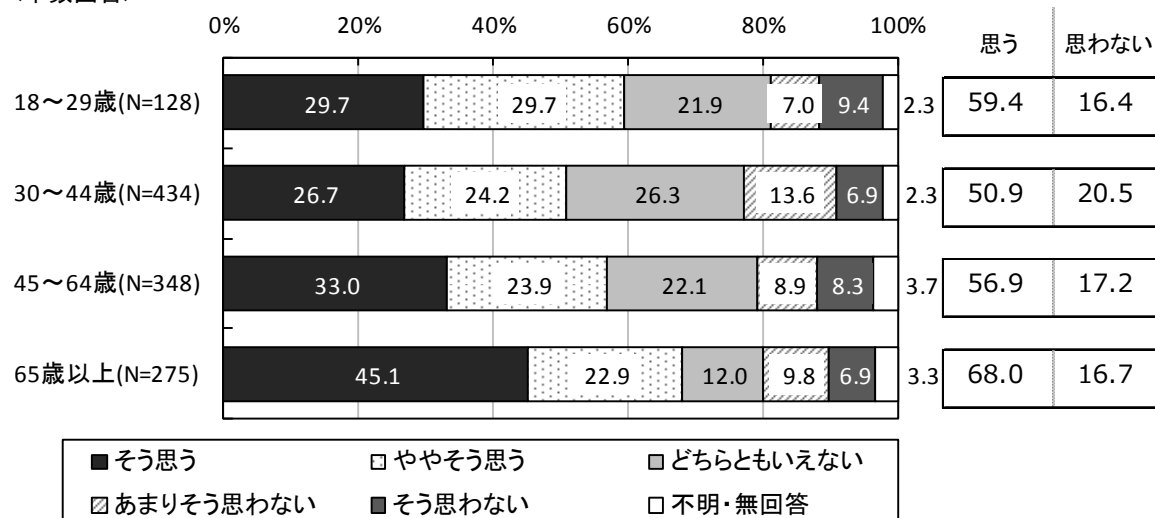


いつでも安心して水を利用できると思うかについてみると、『思わない』より『思う』の方が高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が「そう思う」では12.2ポイント高くなっています。

#### 【年齢別グラフ】

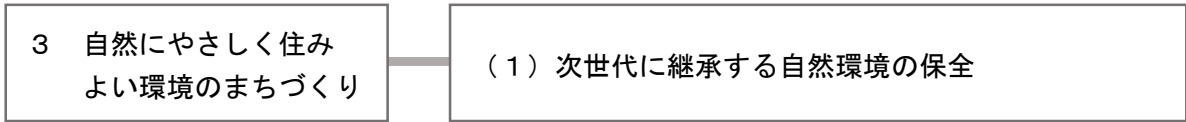
<単数回答>



年齢別でみると、65歳以上ではいつでも安心して水を利用できると『思う』が7割弱と他の年齢と比較して高くなっています。

3. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

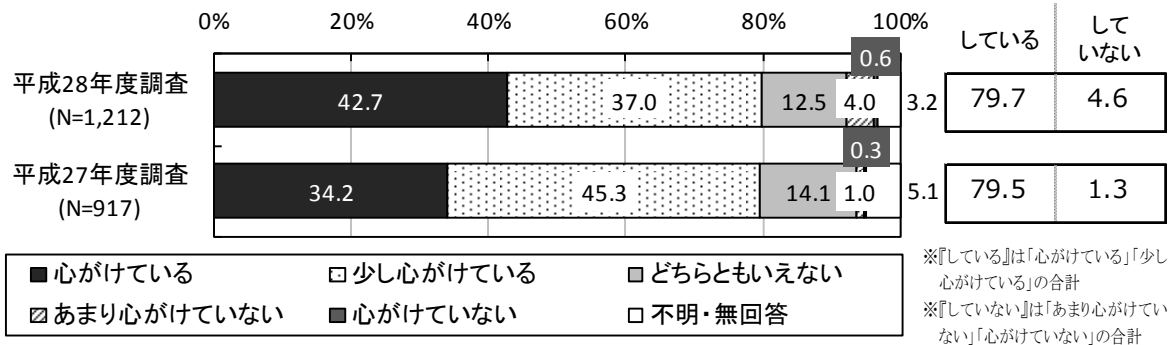
■政策と基本施策



〔調査票／問 21－2〕

(6)－1 あなたは、自然を大切にすることを心がけていますか。(1つだけに○)

<単数回答>

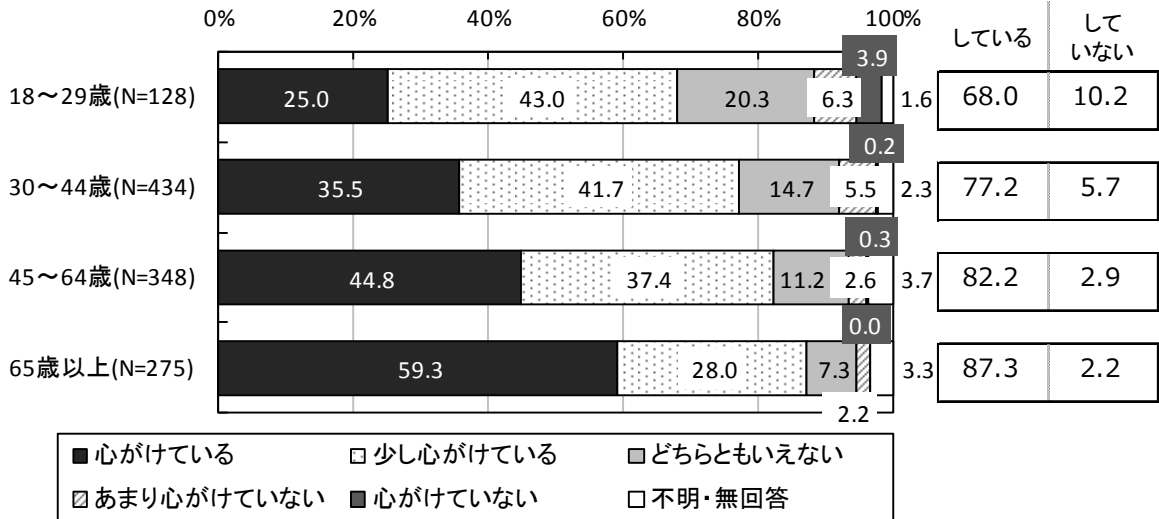


自然を大切にすることを心がけているかについてみると、『していない』より『している』の方が高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が「心がけている」では8.5ポイント高くなっています。

【年齢別グラフ】

<単数回答>



年齢別でみると、年齢が上がるほど自然を大切に『している』が高くなっています。

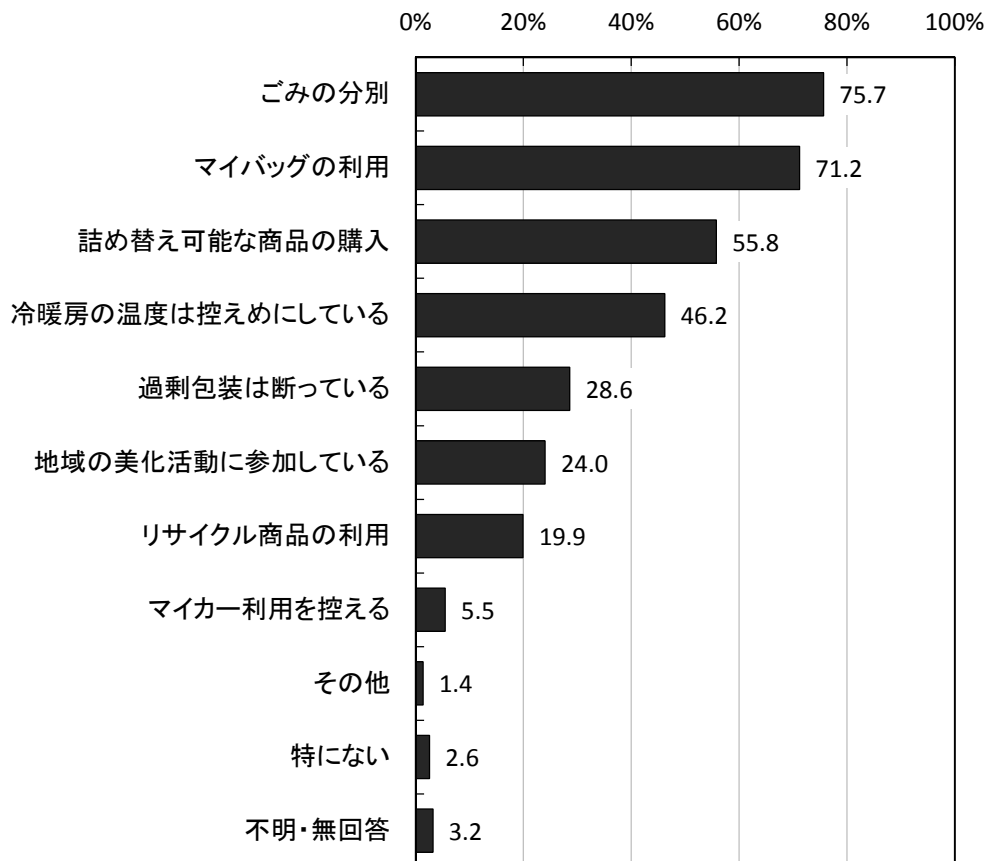
### 3. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

[調査票/問 21-3]

(6) - 2 あなたは、普段、環境保全のためにどのようなことを行っていますか。  
(あてはまるすべてに○)

<複数回答>

N=1,212



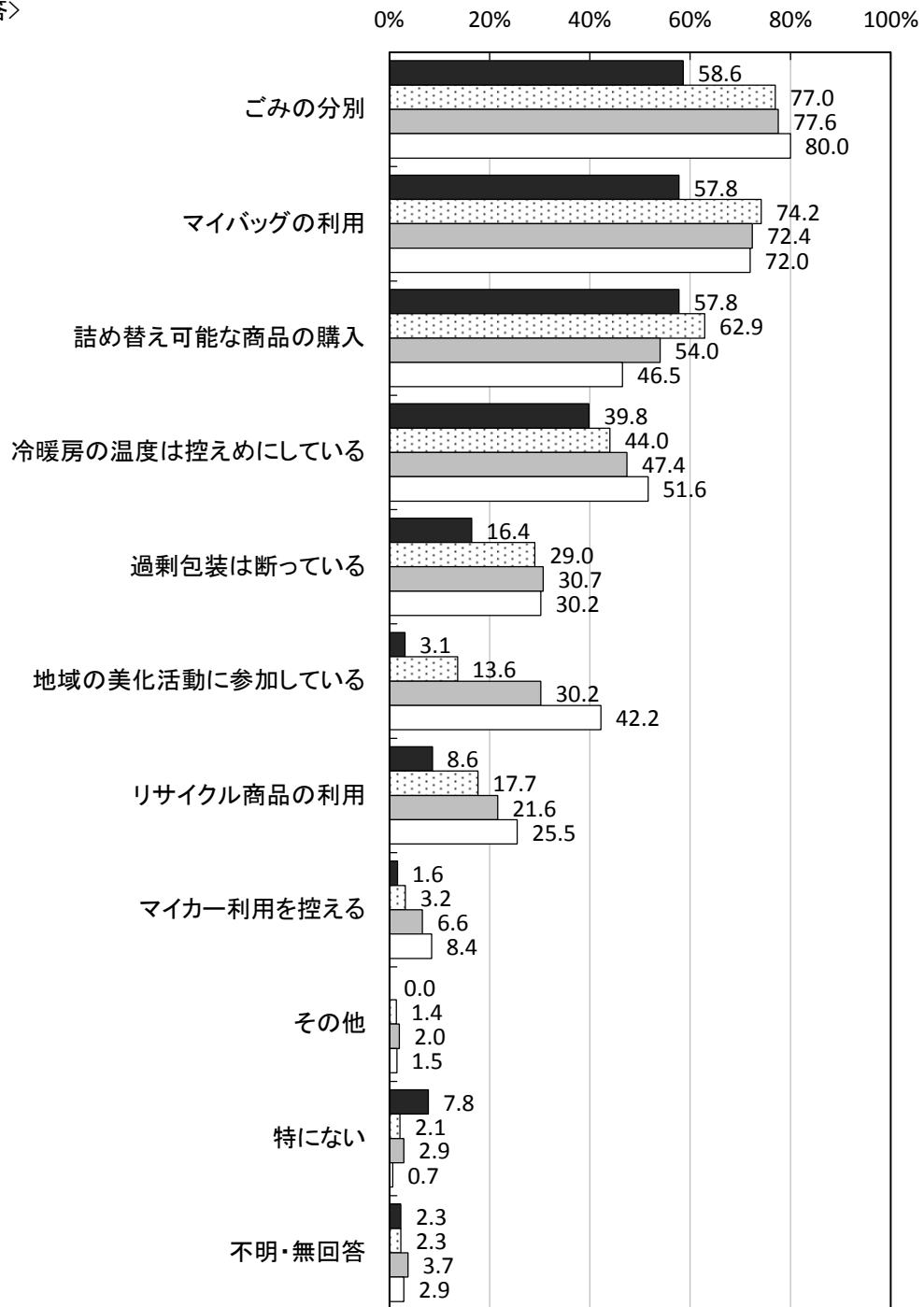
普段、環境保全のためにしている取り組みについてみると、「ごみの分別」が75.7%と最も高く、次いで「マイバッグの利用」が71.2%、「詰め替え可能な商品の購入」が55.8%となっています。



3. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

【年齢別グラフ】

〈複数回答〉

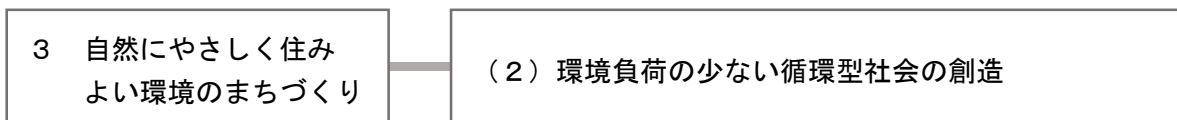


■ 18～29歳(N=128) □ 30～44歳(N=434) ▨ 45～64歳(N=348) □ 65歳以上(N=275)

年齢別でみると、30～44歳では「マイバッグの利用」「詰め替え可能な商品の購入」など、消費活動における取り組みの割合が他の年齢と比較して高くなっています。一方、18～29歳では「特にない」が他の年齢と比較してやや高くなっています。

### 3. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

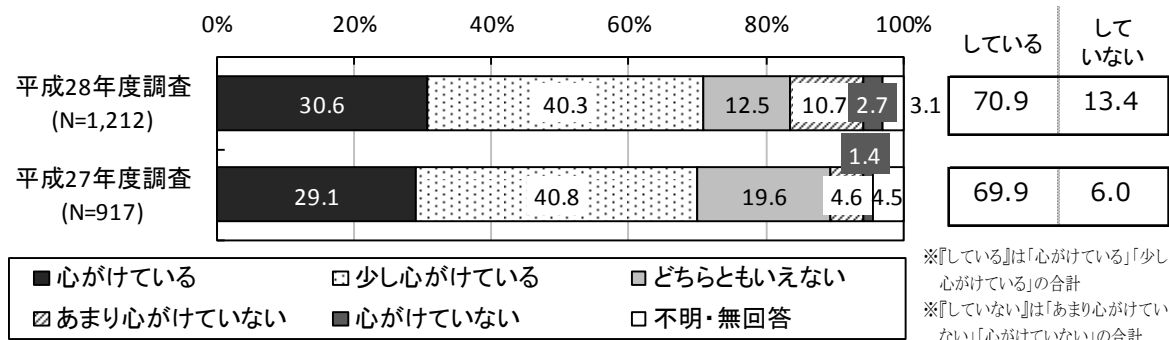
#### ■政策と基本施策



[調査票/問 21-4]

#### (7) - 1 あなたは、日頃からリサイクルを心がけていますか。(1つだけに○)

<単数回答>

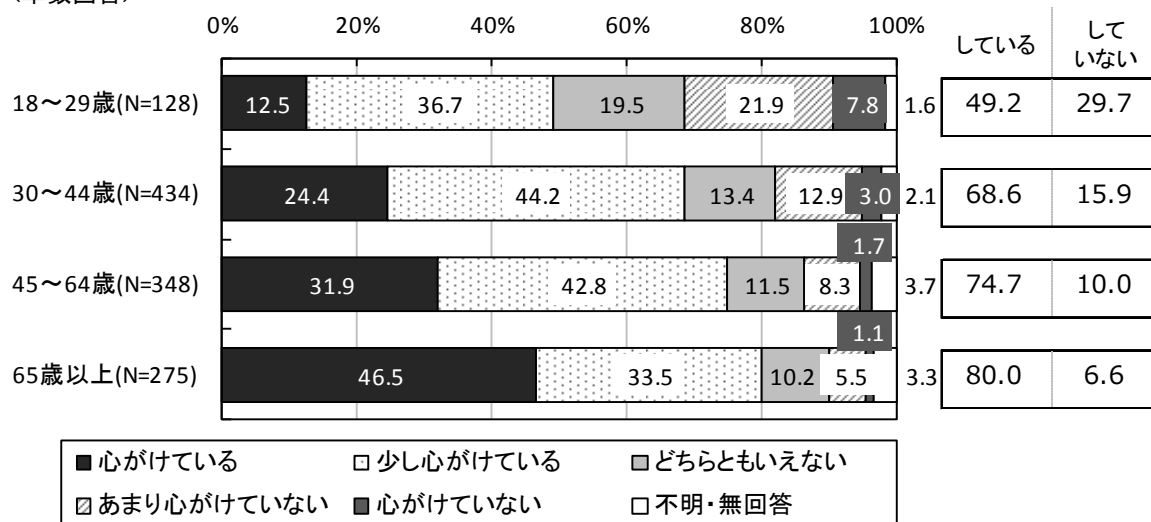


リサイクルを心がけているかについてみると、『していない』より『している』の方が高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が『していない』が高くなっています。

#### 【年齢別グラフ】

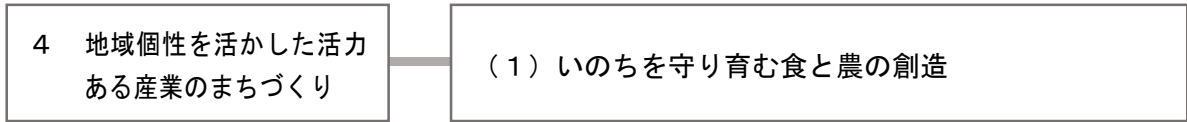
<単数回答>



年齢別でみると、年齢が上がるほどリサイクルを『している』が高くなっています。

3. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

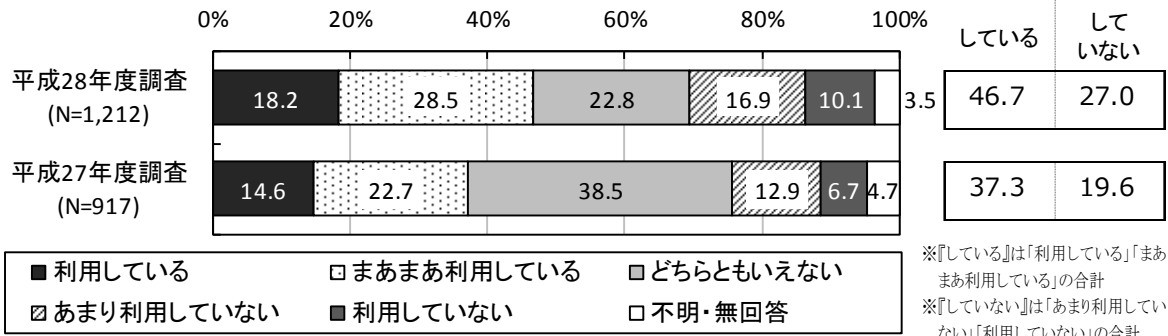
■政策と基本施策



〔調査票／問 22-1〕

(8) - 1 あなたは、できるだけ地元で採れた食材を利用していますか。  
(1つだけに○)

<単数回答>

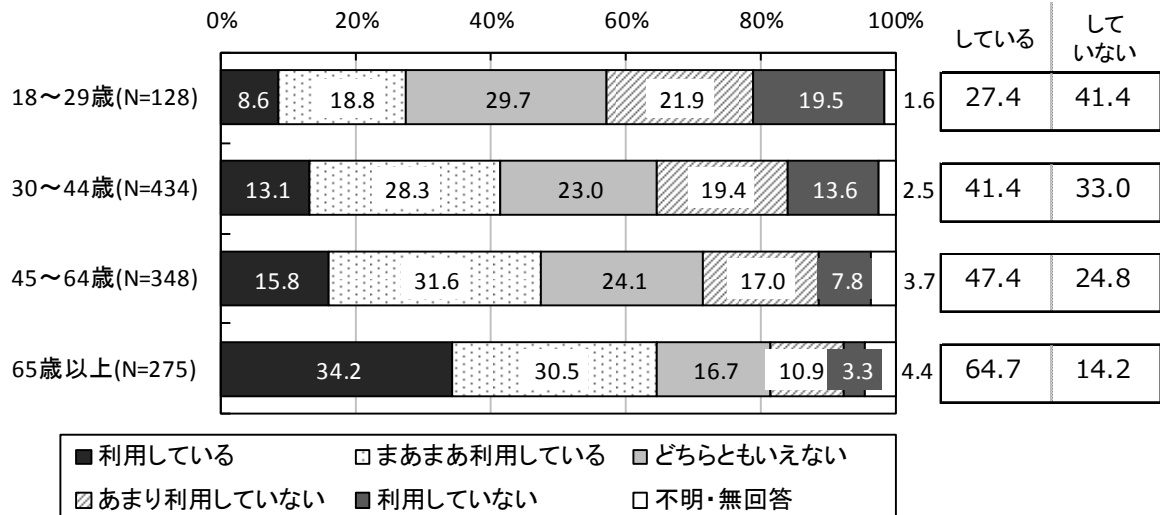


地元で採れた食材を利用しているかについてみると、『していない』より『している』の方が高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が、『している』『していない』ともに高くなっており、「どちらともいえない」が低くなっています。

【年齢別グラフ】

<単数回答>



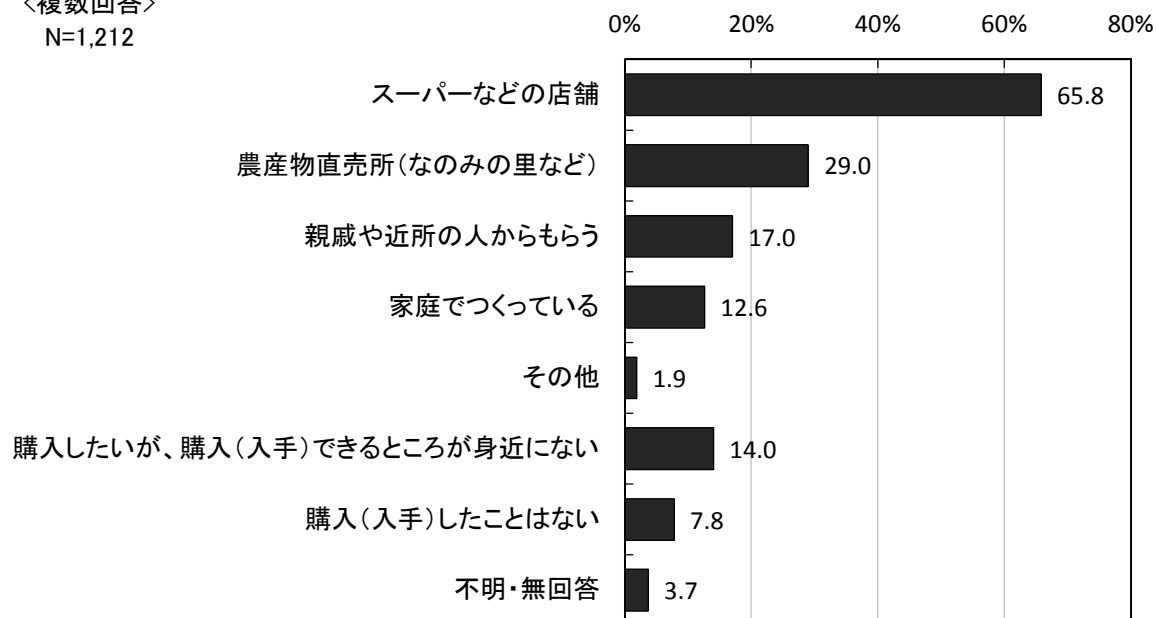
年齢別でみると、年齢が上がるほど地元で採れた食材を利用『している』が高くなっています。また、18～29歳では『していない』が約4割と高くなっています。

### 3. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

[調査票/問 22-2]

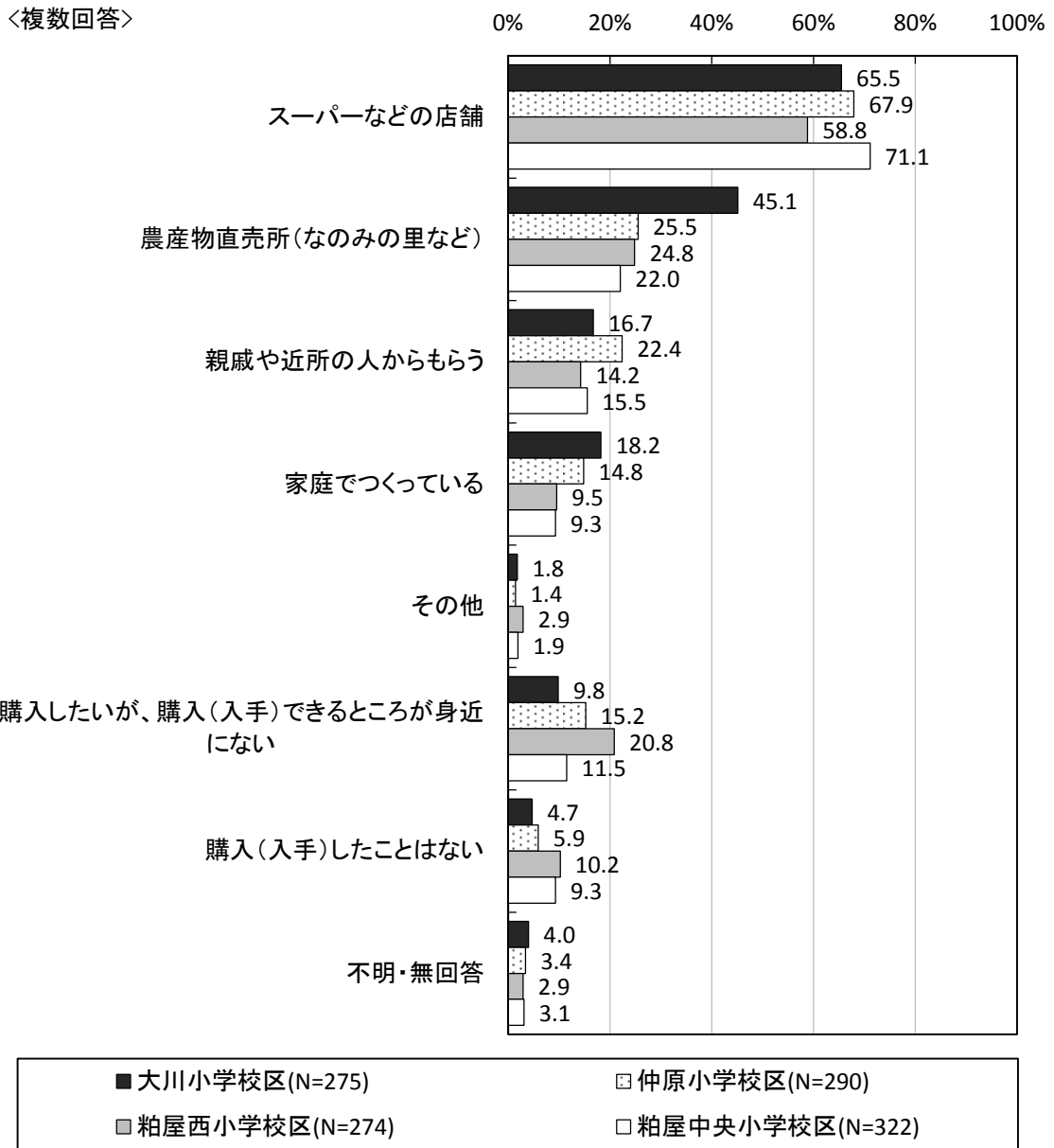
(8) - 2 あなたは、地元で採れた農産物などをどこで購入または入手しますか。  
(あてはまるすべてに○)

<複数回答>  
N=1,212



地元農産物の入手方法についてみると、「スーパーなどの店舗」が65.8%と最も高く、次いで「農産物直売所(なのみの里など)」が29.0%、「親戚や近所の人からもらう」が17.0%となっています。一方、「購入したいが、購入(入手)できるところが身近にない」は14.0%となっています。

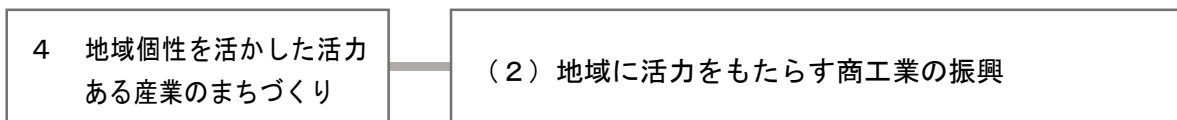
【小学校区別グラフ】



小学校区別でみると、なのみの里が近い大川小学校区で「農産物直売所(なのみの里など)」が他の小学校区と比較して高くなっています。一方、粕屋西小学校区では「購入したいが、購入(入手)できるところが身近にない」「購入(入手)したことはない」が他の小学校区と比較してやや高くなっています。

### 3. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

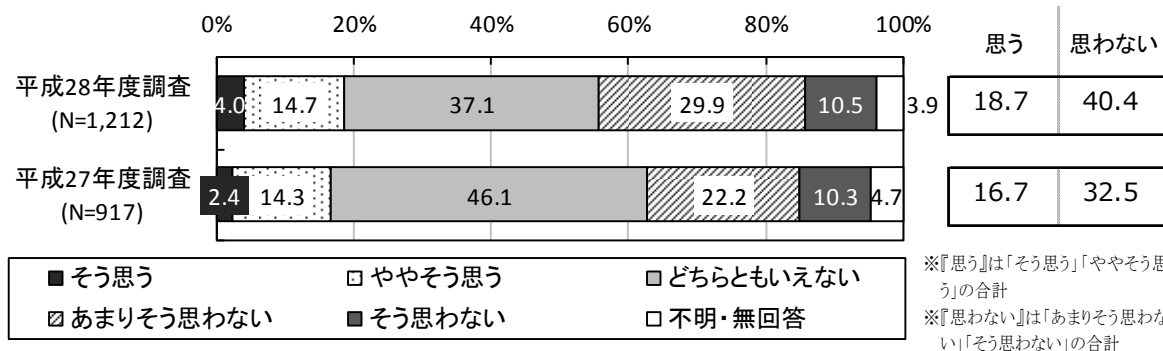
#### ■政策と基本施策



[調査票/問 23-1]

#### (9) - 1 粕屋町では、商工業が活性化していると思いますか。(1つだけに○)

<単数回答>

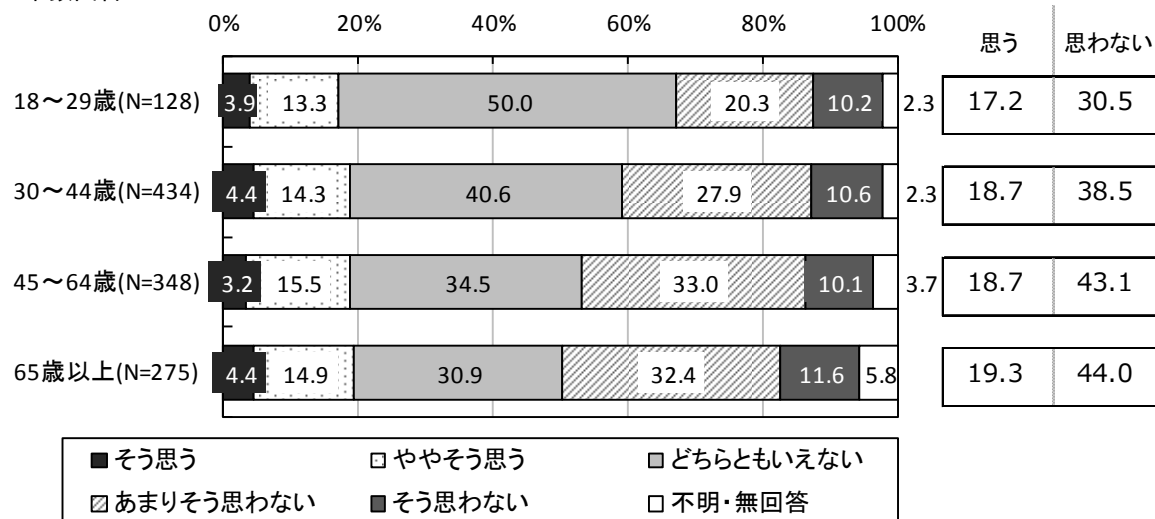


商工業が活性化していると思うかについてみると、『思う』より『思わない』の方が高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が『思う』、『思わない』ともに高くなっており、「どちらともいえない」が低くなっています。

#### 【年齢別グラフ】

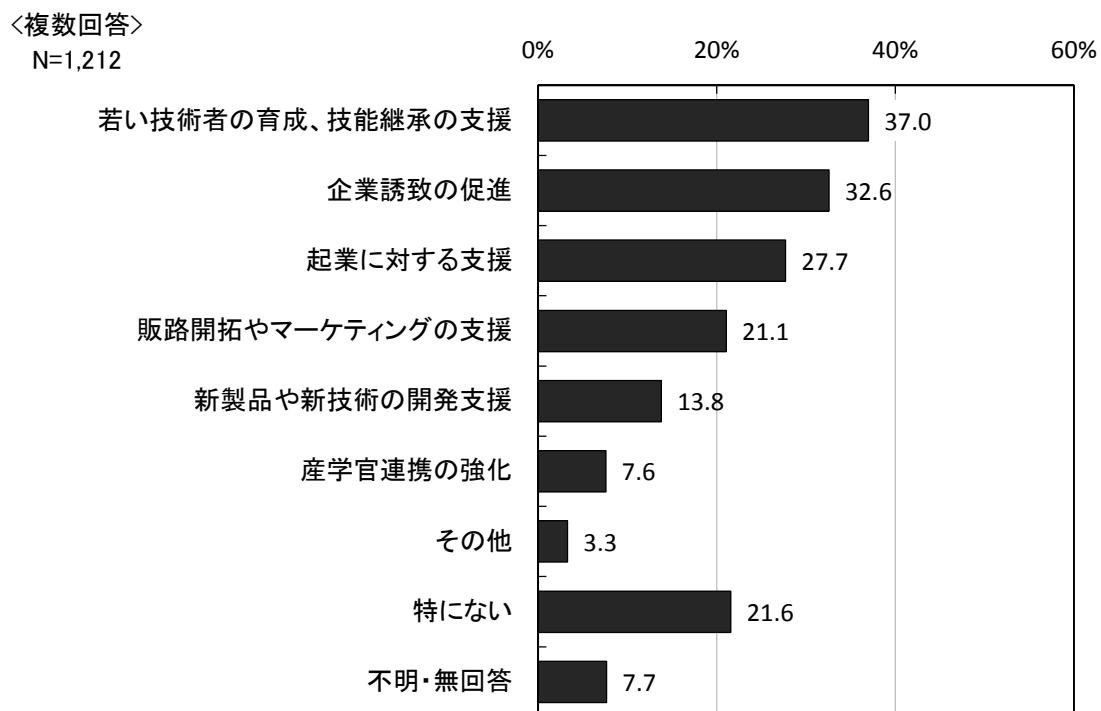
<単数回答>



年齢別でみると、18～29歳では商工業が活性化していると思わないが約3割と他の年齢と比較して低くなっています。

[調査票/問 23-2]

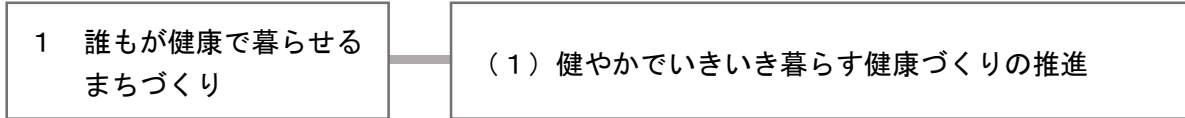
(9) - 2 粕屋町では、産業振興のためにどのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまる3つまでに○)



粕屋町において産業振興のために必要な取り組みについてみると、「若い技術者の育成、技能継承の支援」が37.0%と最も高く、次いで「企業誘致の促進」が32.6%、「起業に対する支援」が27.7%となっています。

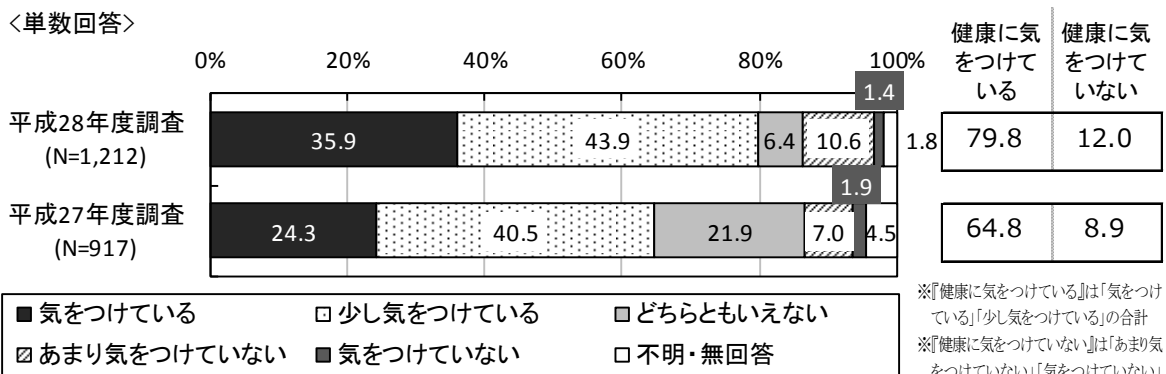
## 4. 誰もが安心して暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

### ■政策と基本施策



[調査票/問 24-1]

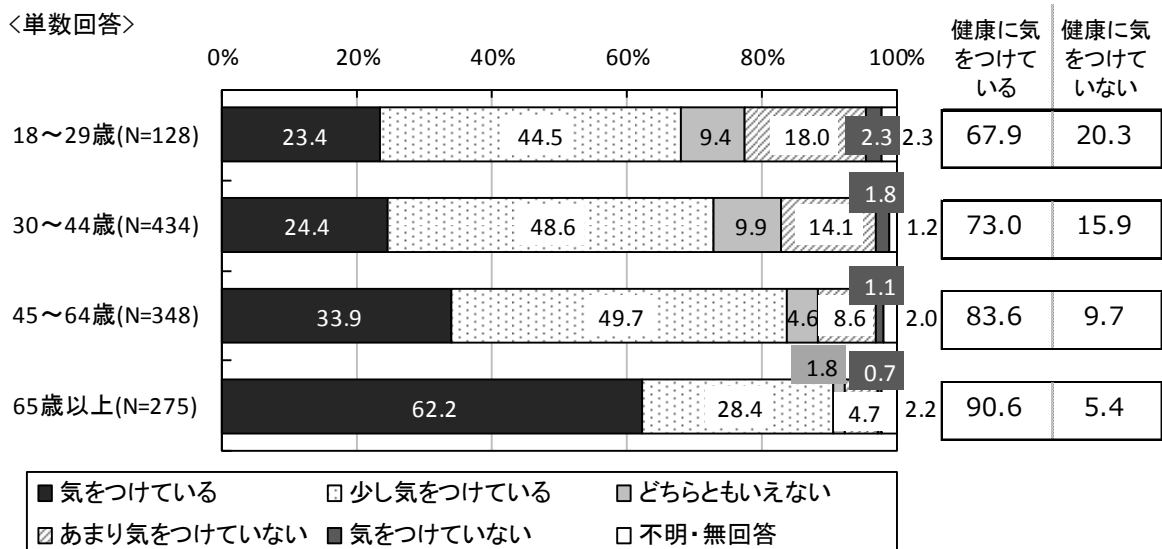
(1) - 1 あなたは、運動や食事など、自分の健康に気をつけていますか。  
(1つだけに○)



自分の健康に気をつけているかについてみると、『健康に気をつけていない』より『健康に気をつけている』の方が高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が『健康に気をつけている』が15.0ポイント高くなっています。

### 【年齢別グラフ】



年齢別でみると、年齢が上がるほど『健康に気をつけている』が高くなっています。

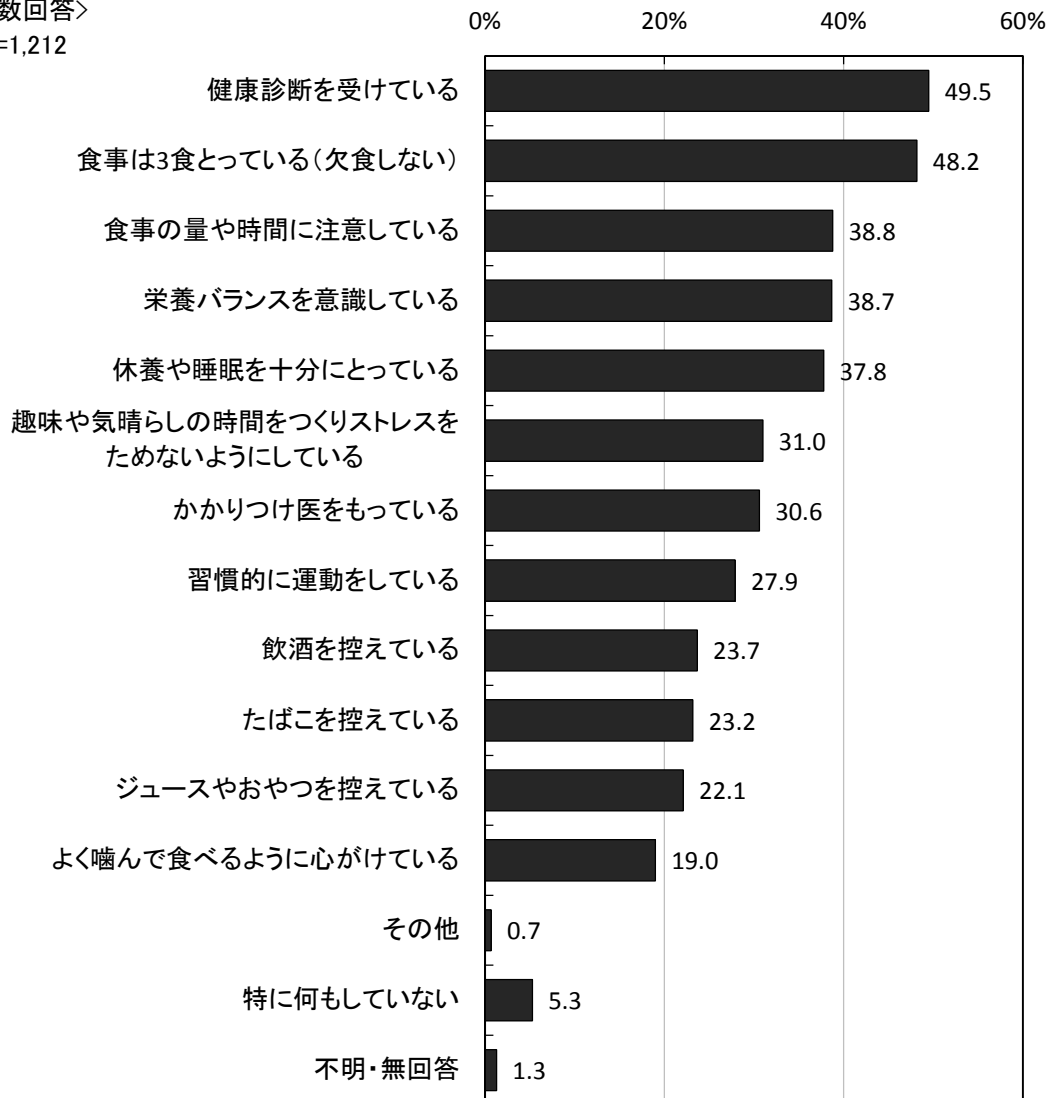


4. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

〔調査票／問 24－2〕

(1)－2 あなたが健康づくりのために、日頃から心がけていることはありますか。  
(あてはまるすべてに○)

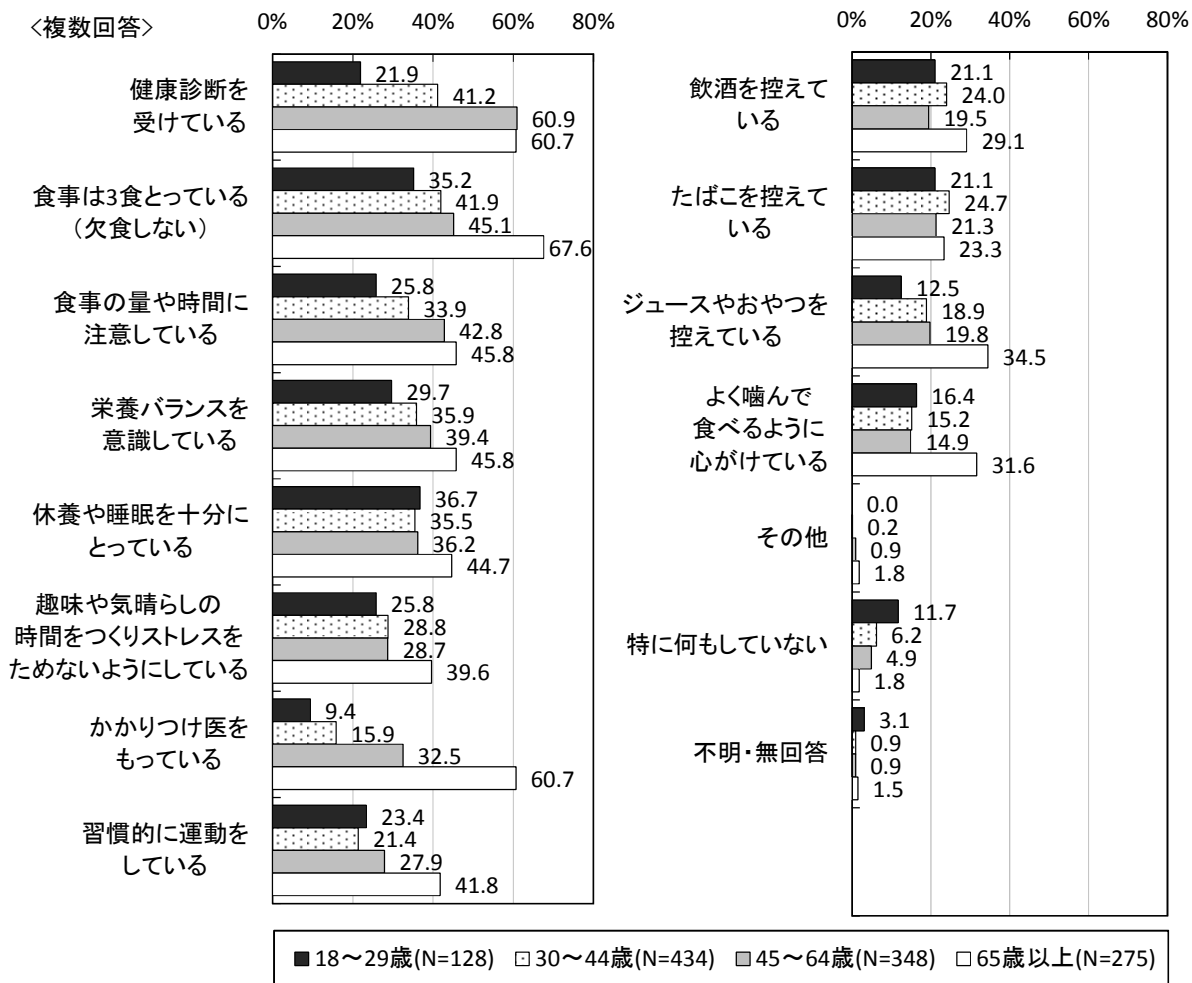
〈複数回答〉  
N=1,212



健康づくりのために心がけていることについてみると、「健康診断を受けている」が49.5%と最も高く、次いで「食事は3食とっている(欠食しない)」が48.2%、「食事の量や時間に注意している」が38.8%となっています。

#### 4. 誰もが安心して暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

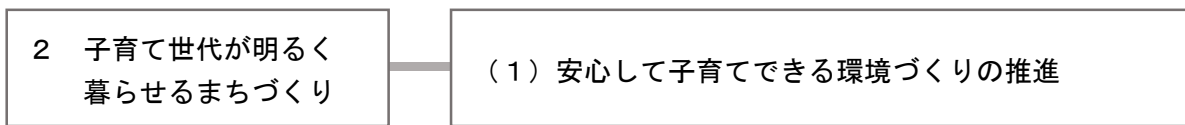
##### 【年齢別グラフ】



年齢別でみると、18～29歳では「休養や睡眠を十分にとっている」が最も高く、65歳以上では「かかりつけ医をもっている」が上位2位であるなど、年齢により異なる傾向となっています。また、18～29歳では「特に何もしていない」が他の年齢と比較してやや高くなっています。

#### 4. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

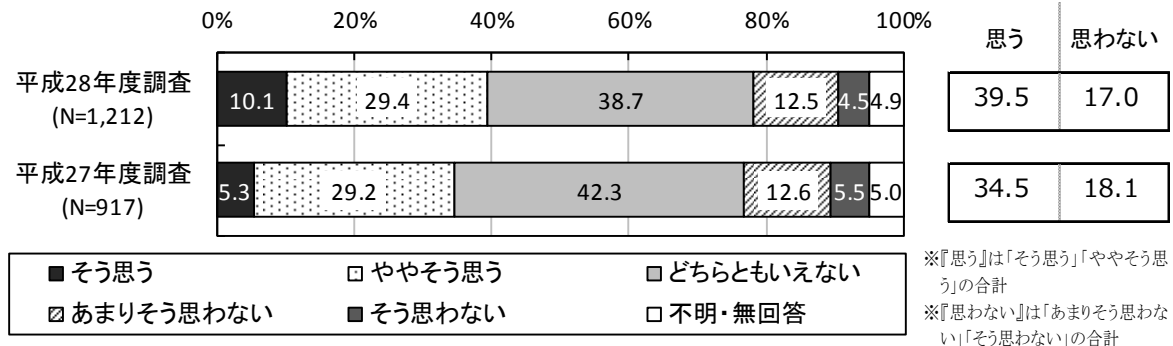
##### ■政策と基本施策



〔調査票／問 25－2〕

### (2)－1 粕屋町では、子育ての環境が整っていると思いますか。(1つだけに○)

〈単数回答〉

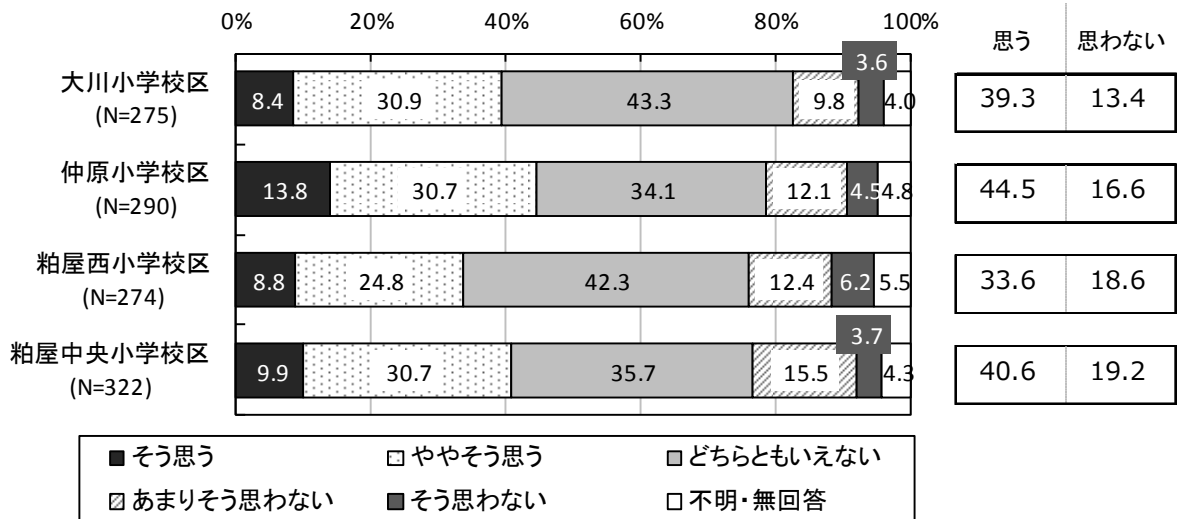


子育ての環境が整っていると思うかについてみると、『思わない』より『思う』の方が高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が『思う』が高く、『思わない』が低くなっています。

### 【小学校区別グラフ】

〈単数回答〉

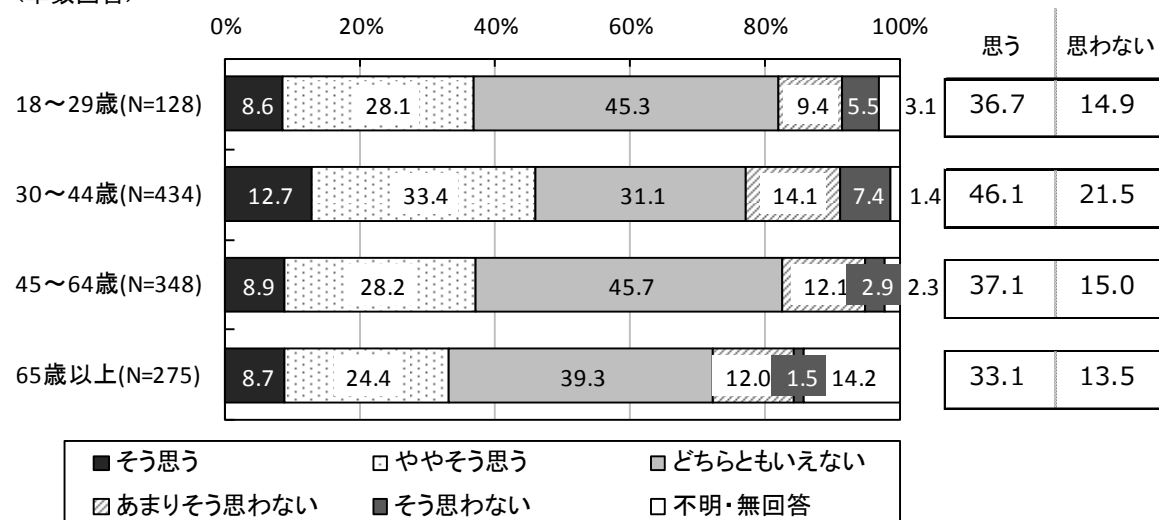


小学校区別でみると、粕屋西小学校区では子育ての環境が整っていると『思う』が約3割と他の小学校区と比較してやや低くなっています。

#### 4. 誰もが安心して暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

##### 【年齢別グラフ】

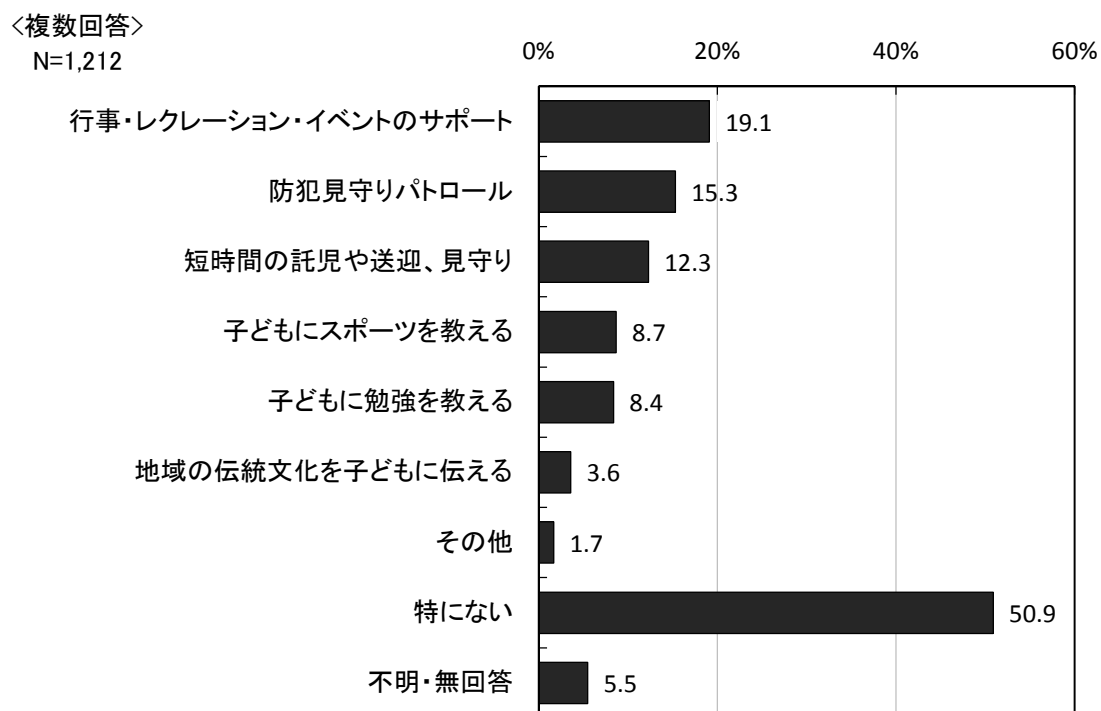
<単数回答>



年齢別で見ると、30～44歳では、子育ての環境が整っていると『思う』が4割以上と他の年齢と比較して高くなっています。

〔調査票／問 25－3〕

(2)－2 あなたは、子育て支援のボランティアで参加したいと思う活動はありますか。(あてはまるすべてに○)

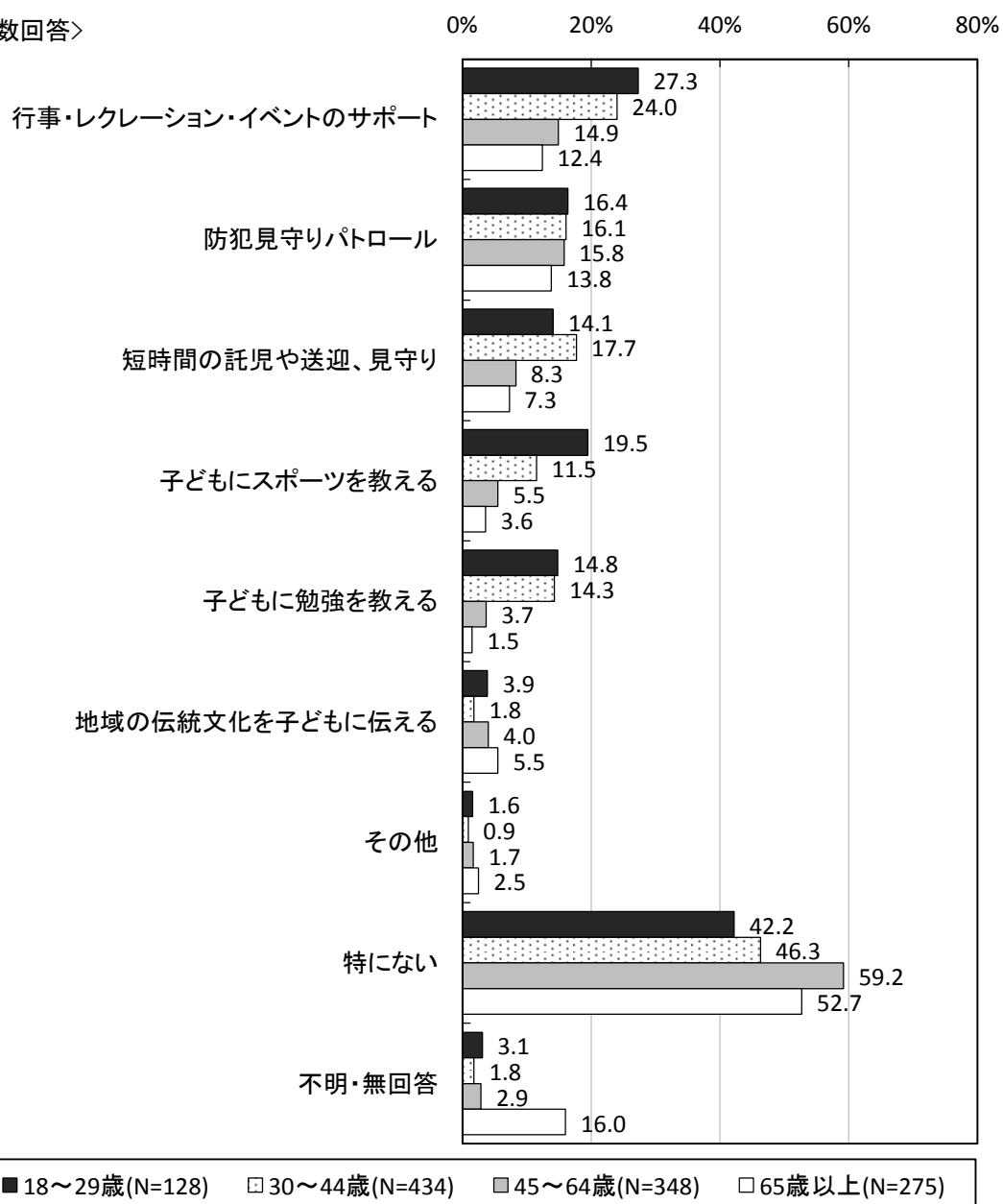


子育て支援のボランティアで参加したいと思う活動についてみると、「行事・レクリエーション・イベントのサポート」が19.1%と最も高く、次いで「防犯見守りパトロール」が15.3%、「短時間の託児や送迎、見守り」が12.3%となっています。一方、「特にない」は50.9%と半数には参加意向がありませんでした。

#### 4. 誰もが安心して暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

##### 【年齢別グラフ】

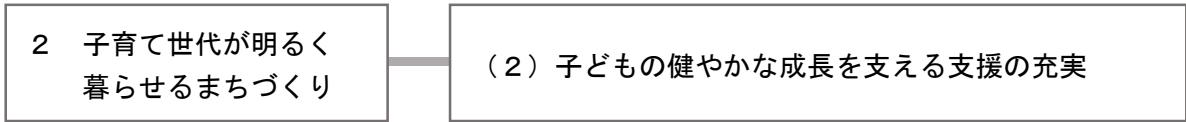
〈複数回答〉



年齢別でみると、18～29歳では「行事・レクリエーション・イベントのサポート」「子どもにスポーツを教える」が、30～44歳では「短時間の託児や送迎、見守り」が他の年齢と比較して高くなっています。一方、「特にない」は45～64歳、65歳以上で5割以上となっています。

4. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

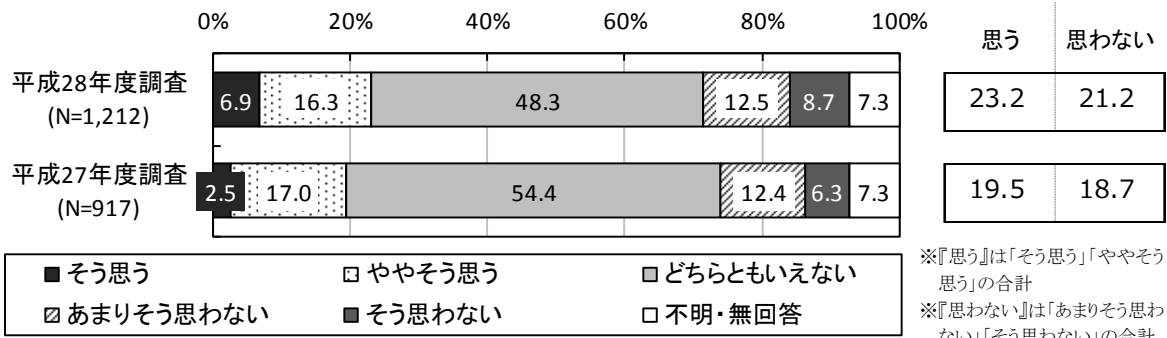
■政策と基本施策



[調査票／問 25－1]

(3) 粕屋町では、妊娠・出産期の支援が充実していると思いますか。  
(1つだけに○)

<単数回答>

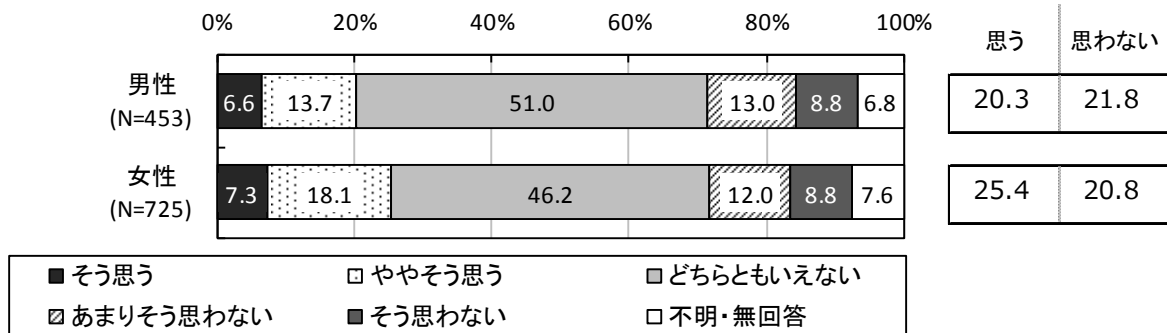


妊娠・出産期の支援が充実していると思うかについてみると、「どちらともいえない」が48.3%と最も高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が『思う』、『思わない』ともに高くなっています。

【性別グラフ】

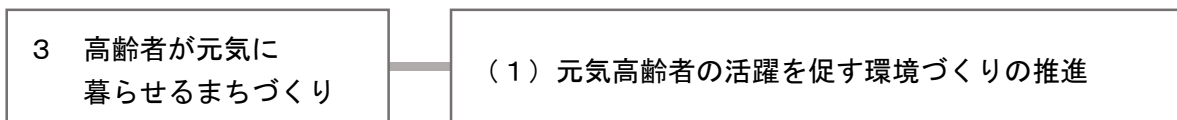
<単数回答>



性別でみると、妊娠・出産期の支援が充実している『思う』は男性より女性で5.1ポイント高くなっています。

#### 4. 誰もが安心して暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

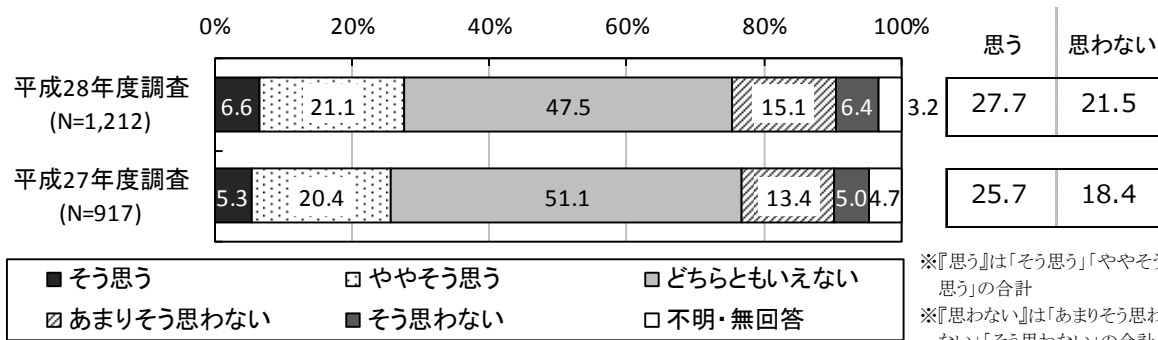
##### ■政策と基本施策



[調査票/問 26-2]

#### (4) - 1 粕屋町では、元気な高齢者が活躍する場があると思いますか。 (1つだけに○)

<単数回答>

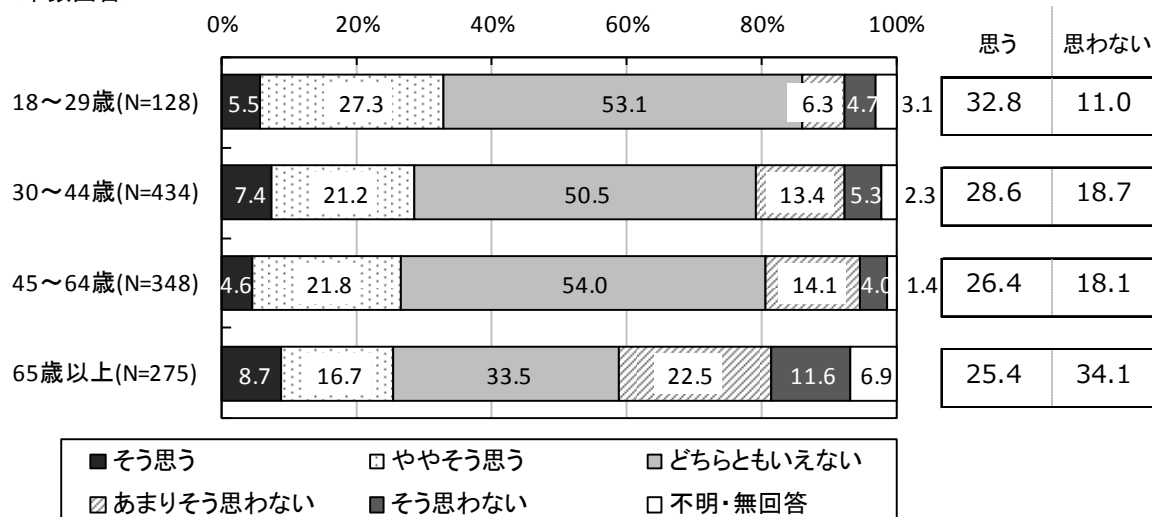


元気な高齢者が活躍する場があると思うかについてみると、「どちらともいえない」が47.5%と最も高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が『思う』、『思わない』ともに高くなっています。

#### 【年齢別グラフ】

<単数回答>



年齢別でみると、年齢が上がるほど元気な高齢者が活躍する場があると『思わない』が高い傾向となっています。

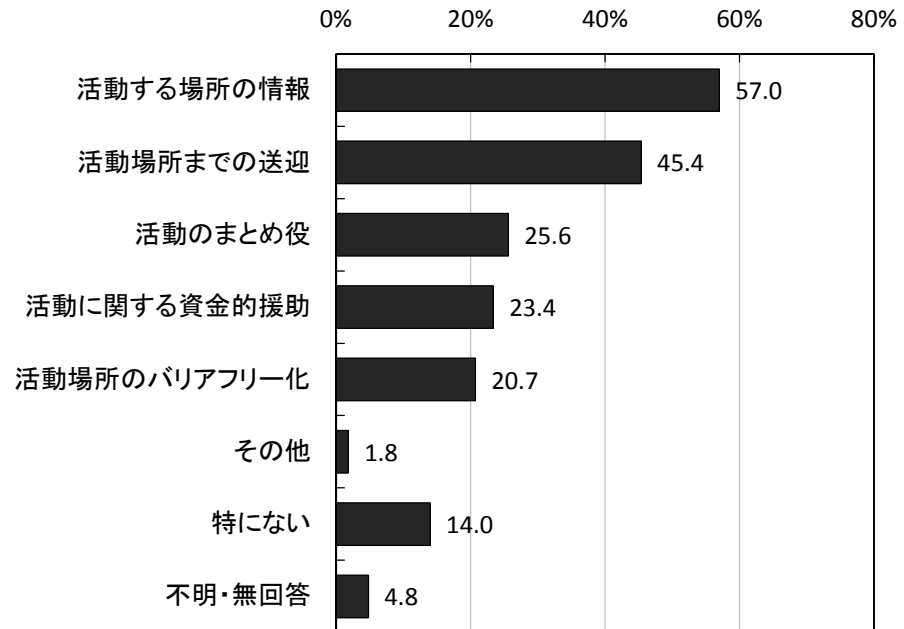


4. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

[調査票/問 26-3]

(4) - 2 あなたは、高齢者が地域活動に参加する上で、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまる3つまでに○)

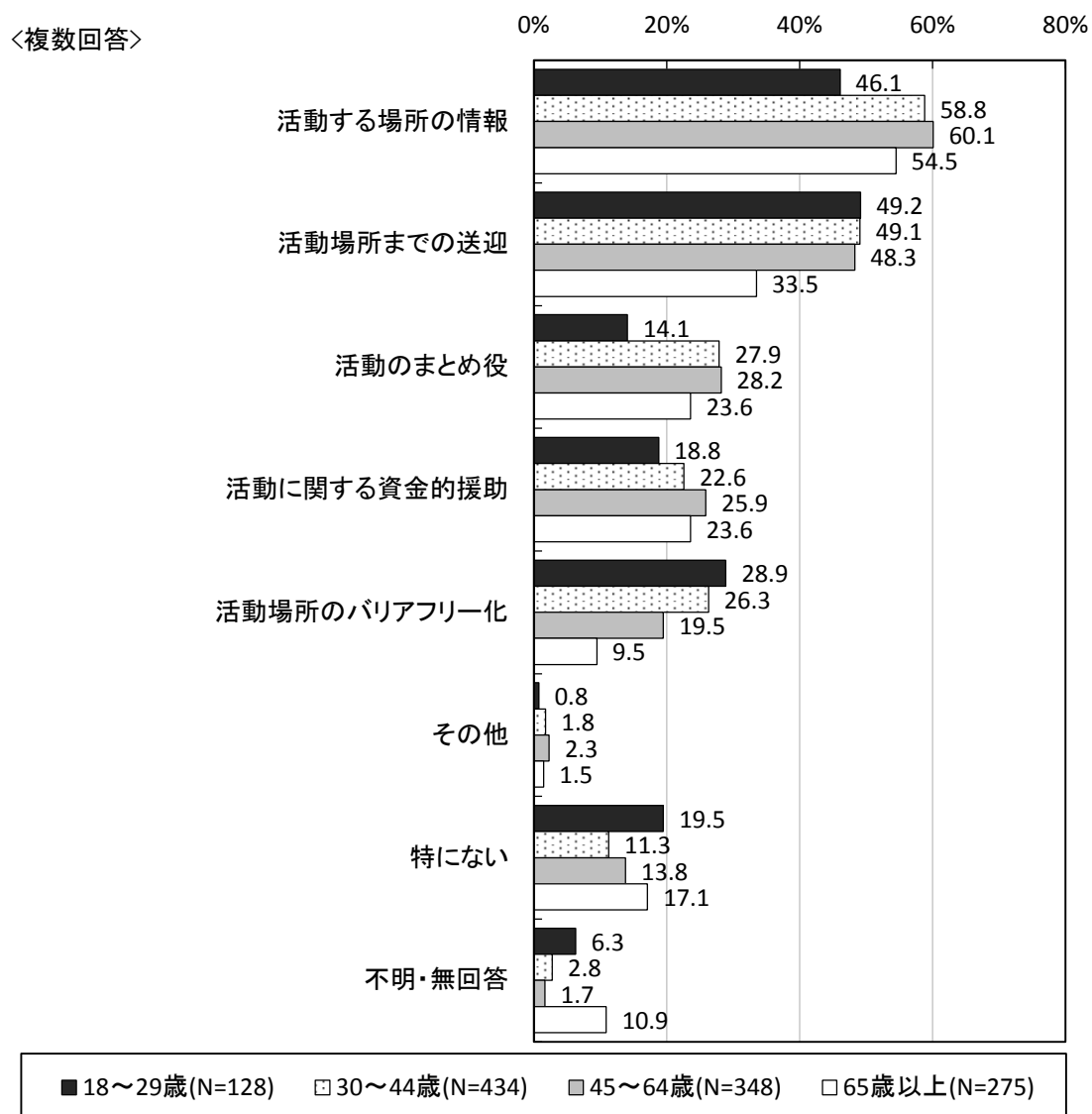
<複数回答>  
N=1,212



高齢者が地域活動に参加する上で必要なことについてみると、「活動する場所の情報」が57.0%と最も高く、次いで「活動場所までの送迎」が45.4%、「活動のまとめ役」が25.6%となっています。

#### 4. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

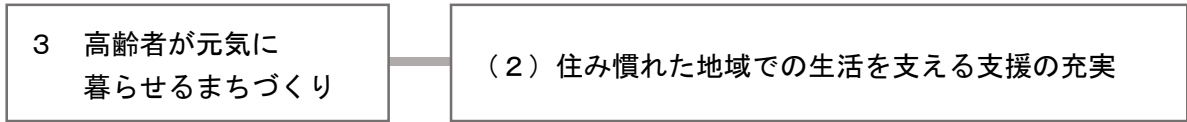
##### 【年齢別グラフ】



年齢別で見ると、65歳以上の高齢者自身の意向は全体の傾向と大きく変わらないものの、「活動場所までの送迎」「活動場所のバリアフリー化」については、他の年齢と比較して低くなっています。

4. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

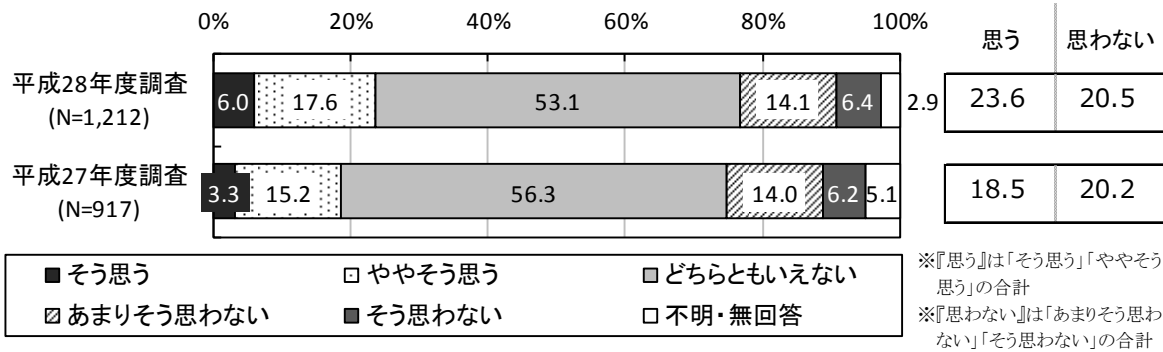
■政策と基本施策



[調査票/問 26-1]

(5) 粕屋町では、高齢者に対する支援が充実していると思いますか。  
(1つだけに○)

<単数回答>

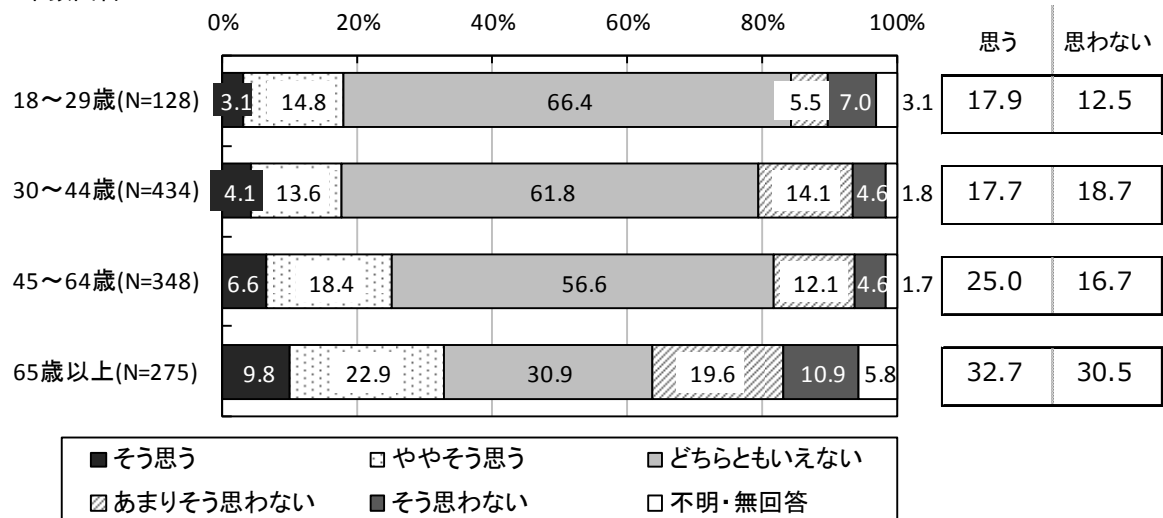


高齢者に対する支援が充実していると思うかについてみると、「どちらともいえない」が53.1%と最も高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が『思う』、『思わない』ともに高くなっています。

【年齢別グラフ】

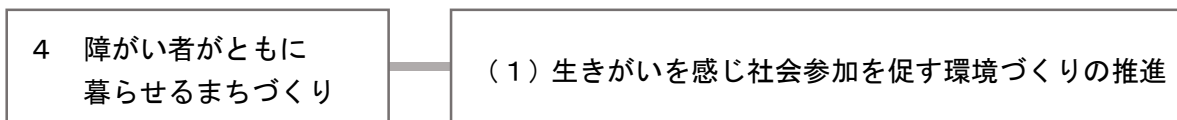
<単数回答>



年齢別でみると、年齢が上がるほど高齢者に対する支援が充実している『思う』の割合が高い傾向となっています。また、65歳以上では『思わない』が3割以上となっています。

#### 4. 誰もが安心して暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

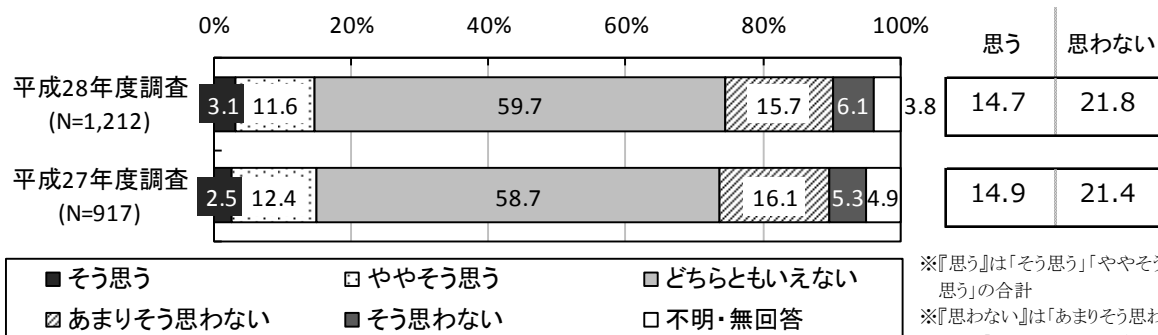
##### ■政策と基本施策



[調査票/問 27-1]

#### (6) - 1 粕屋町では、障がい者が地域や社会の中でともに暮らせていると思いますか。(1つだけに○)

<単数回答>



障がい者が地域や社会の中でともに暮らせていると思うかについてみると、「どちらともいえない」が59.7%と最も高くなっています。

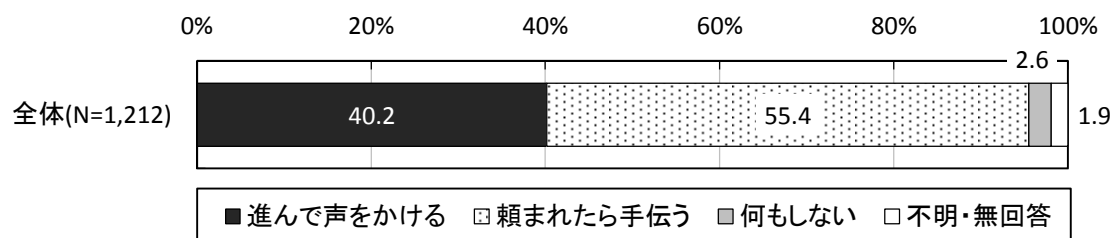
経年比較でみると、平成27年度調査、平成28年度調査ともに同様の傾向となっています。

#### 4. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

〔調査票／問 27-2〕

(6) - 2 あなたは、まちで障害のある人が困っているのを見かけたら、どのような対応をしますか。(1つだけに○)

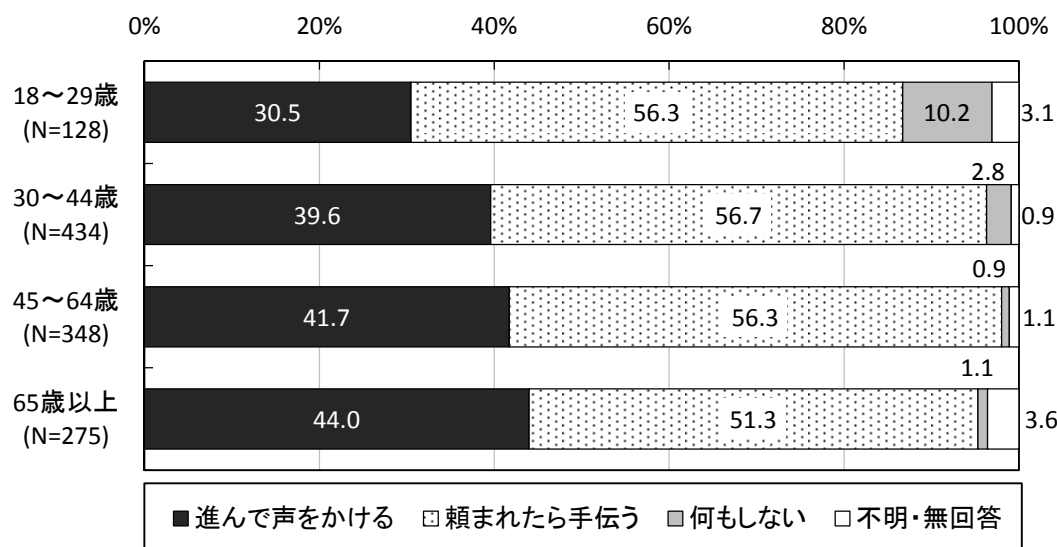
〈単数回答〉



障害のある人が困っているのを見かけたときの対応についてみると、「頼まれたら手伝う」が55.4%と最も高く、次いで、「進んで声をかける」が40.2%となっています。

【年齢別グラフ】

〈単数回答〉

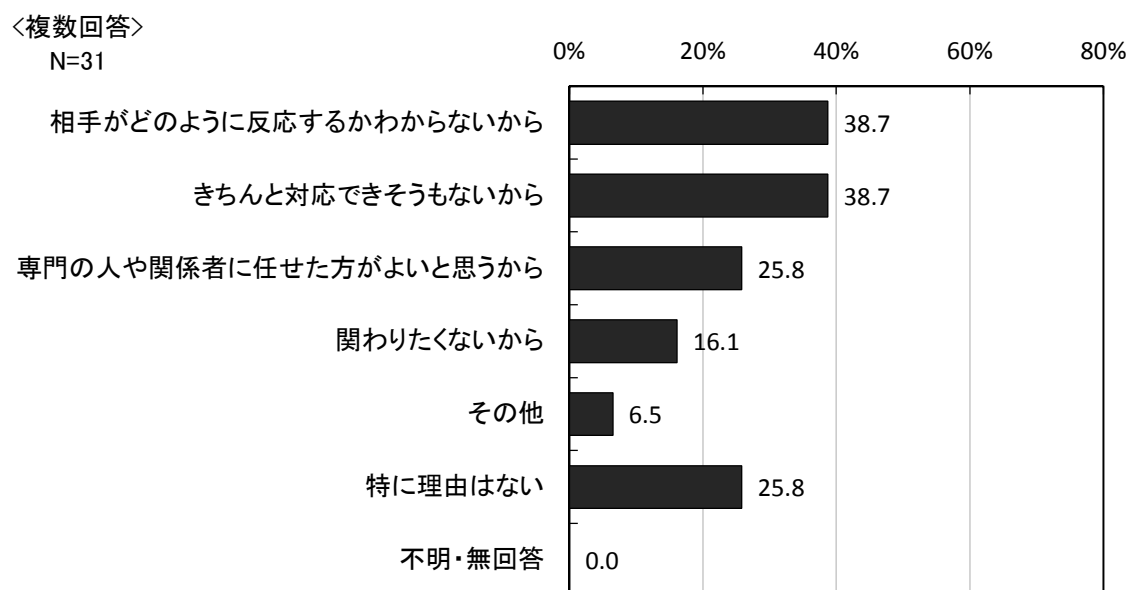


年齢別でみると、年齢が上がるほど「進んで声をかける」の割合が高く、18～29歳では「何もしない」が1割と他の年齢と比較してやや高くなっています。

#### 4. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

〔調査票／問 27－3〕

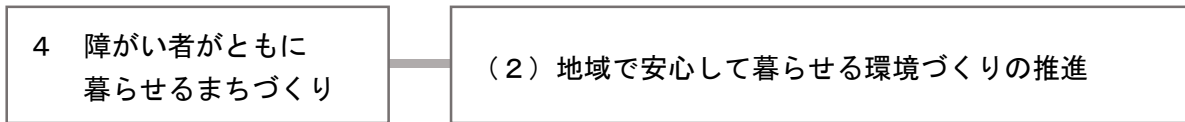
※(6)－3は、(6)－2で「何もしない」に○をつけた方におうかがいします。  
(6)－3 何もしない理由はどのようなことですか。(あてはまるすべてに○)



何もしない理由についてみると、「相手がどのように反応するかわからないから」「きちんと対応できそうもないから」がそれぞれ38.7%と高くなっています。

4. 誰もが安心して暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

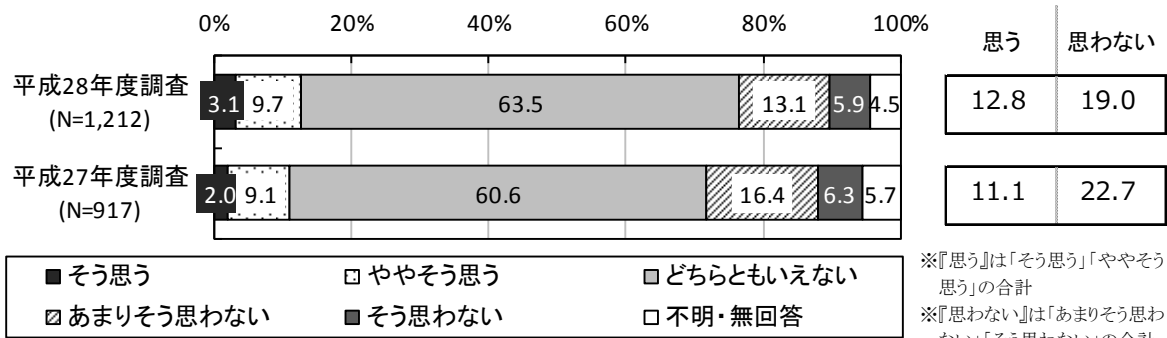
■政策と基本施策



[調査票/問 27-4]

(7) 粕屋町では、障がい者に対する支援が充実していると思いますか。  
(1つだけに○)

<単数回答>

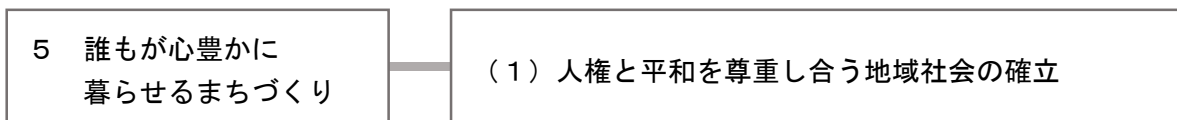


障がい者に対する支援が充実していると思うかについてみると、「どちらともいえない」が63.5%と最も高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が『思う』が高く、『思わない』が低くなっており、『思う』と『思わない』の差が少なくなっています。

#### 4. 誰もが安心して暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

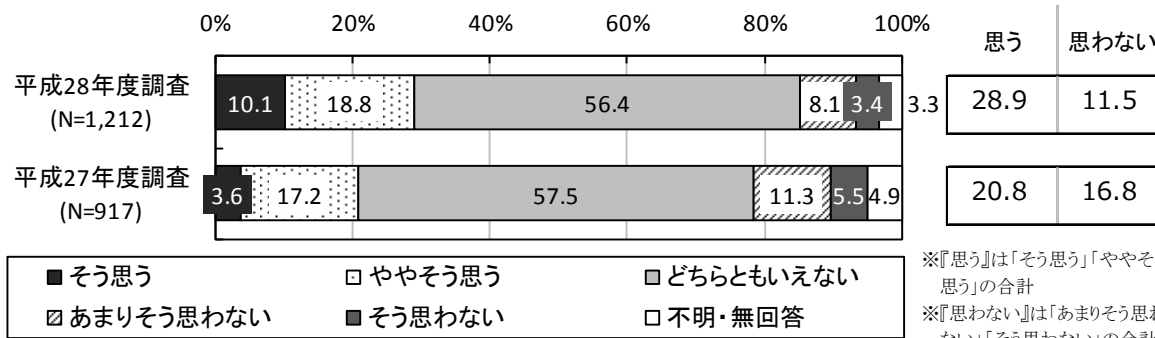
##### ■政策と基本施策



[調査票/問 29-1]

#### (8) - 1 粕屋町では、一人ひとりの人権が尊重されていると思いますか。 (1つだけに○)

<単数回答>

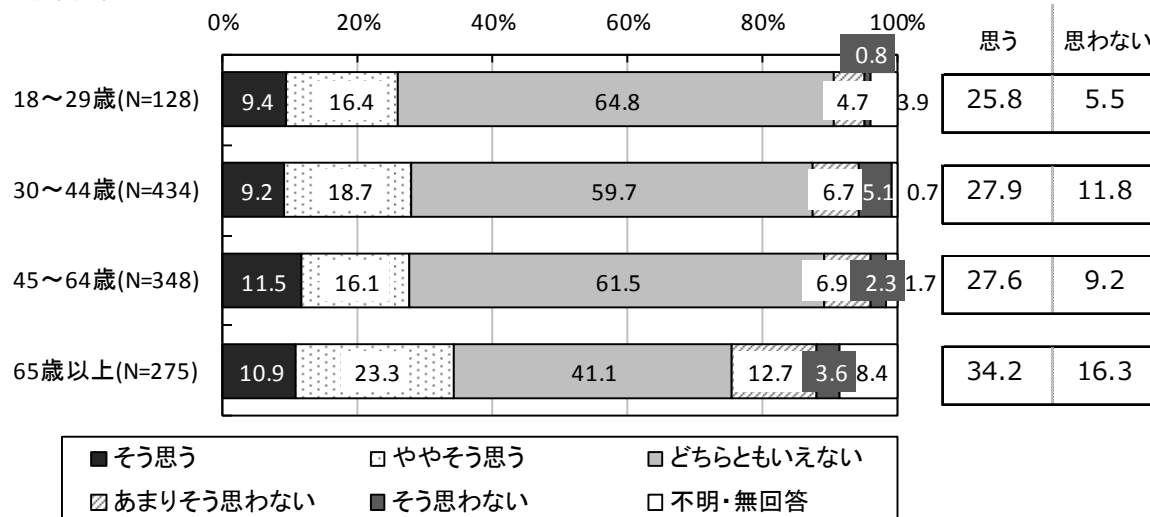


一人ひとりの人権が尊重されていると思うかについてみると、「どちらともいえない」が56.4%と最も高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が『思う』が8.1ポイント高くなっています。

#### 【年齢別グラフ】

<単数回答>



年齢別でみると、年齢が上がるほど一人ひとりの人権が尊重されていると『思う』が高い傾向となっています。

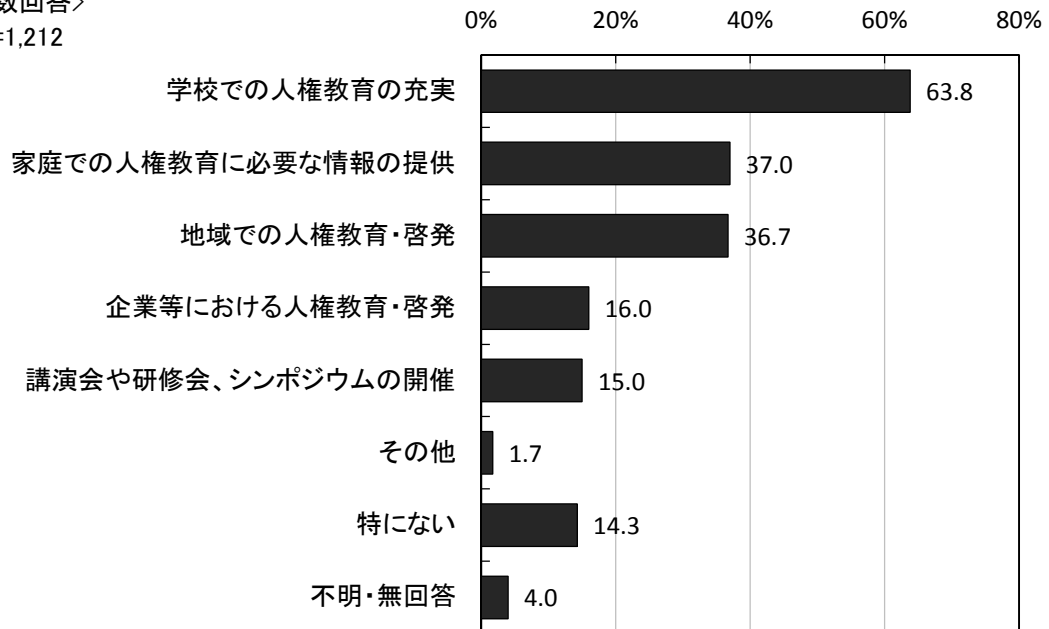


4. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

[調査票/問 29-2]

(8) - 2 あなたは、人権について理解を深めるために、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまる3つまでに○)

<複数回答>  
N=1,212

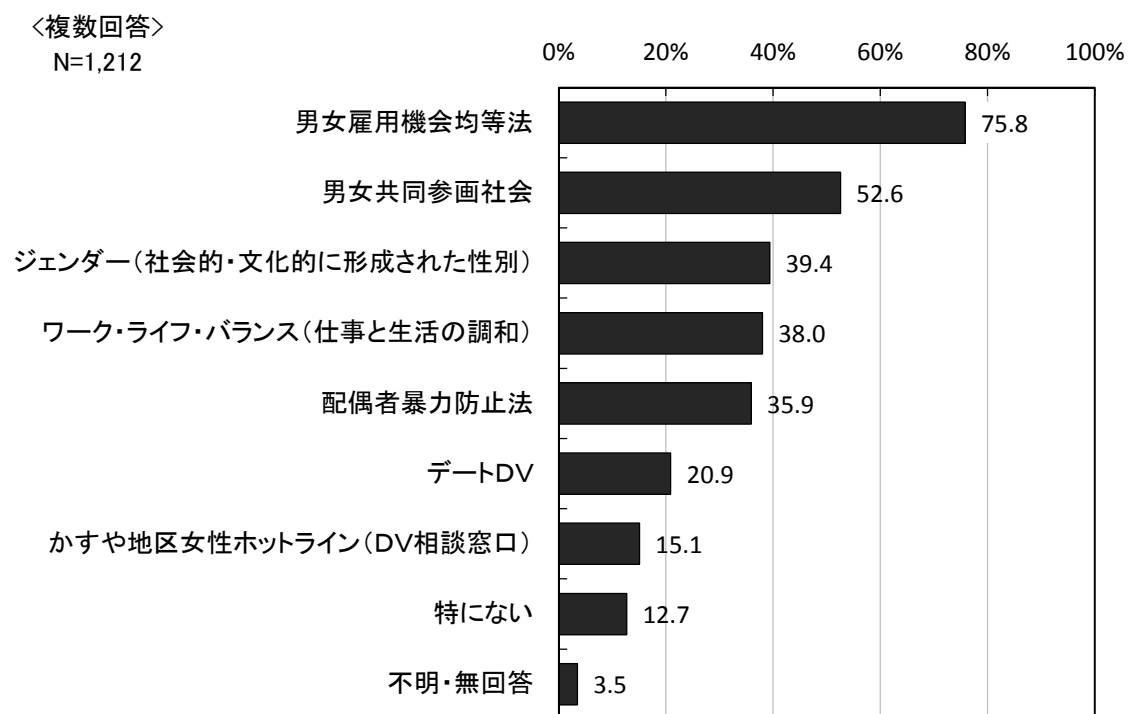


人権について理解を深めるために必要だと思うことについてみると、「学校での人権教育の充実」が63.8%と最も高く、次いで「家庭での人権教育に必要な情報の提供」が37.0%、「地域での人権教育・啓発」が36.7%となっています。

#### 4. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

[調査票/問 29-3]

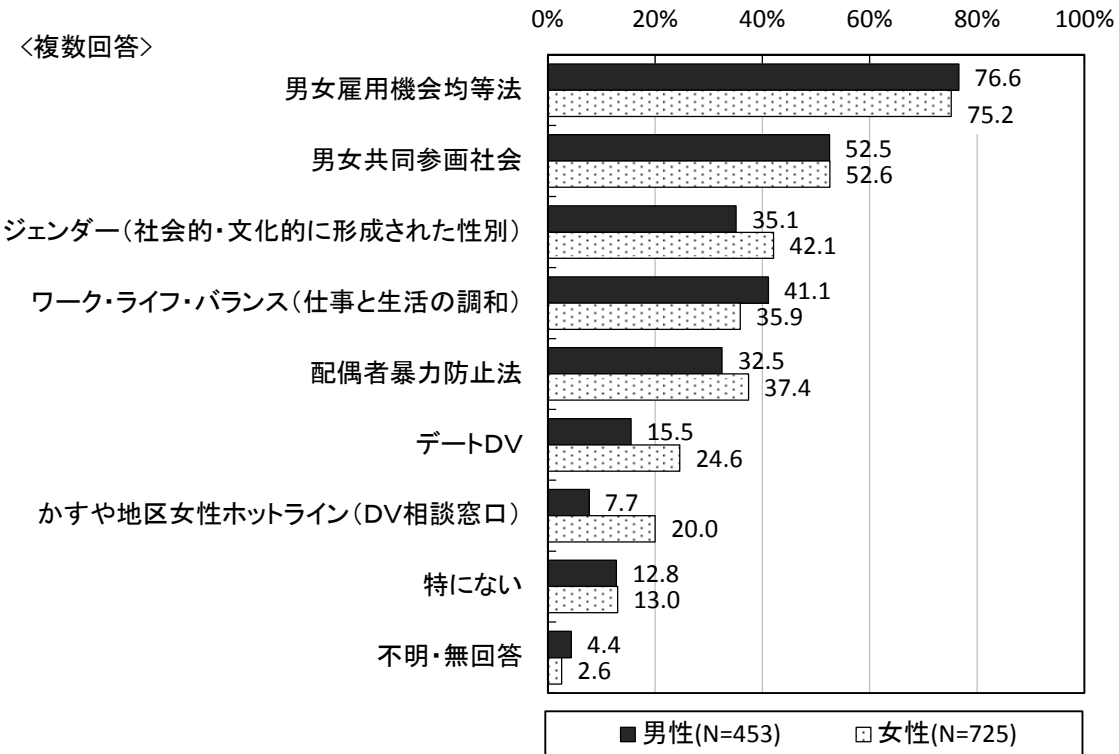
(8) - 3 あなたは、これらの言葉を見たり聞いたりしたことがありますか。  
(あてはまるすべてに○)



男女共同参画に関する用語の認知度についてみると、「男女雇用機会均等法」が75.8%と最も高く、次いで「男女共同参画社会」が52.6%、「ジェンダー(社会的・文化的に形成された性別)」が39.4%となっています。

4. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

【性別グラフ】

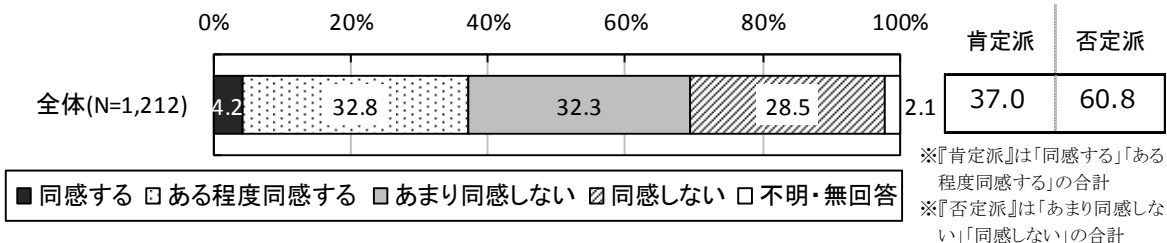


性別でみると、「男女雇用機会均等法」「男女共同参画社会」は男女ともに同程度の認知度がありますが、「ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）」「配偶者暴力防止法」「デートDV」「かすや地区女性ホットライン（DV相談窓口）」はそれぞれ男性と比較して女性の認知度が高くなっています。

〔調査票／問 29－4〕

(8)－4 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方をどう思いますか。(1つだけに○)

〈単数回答〉

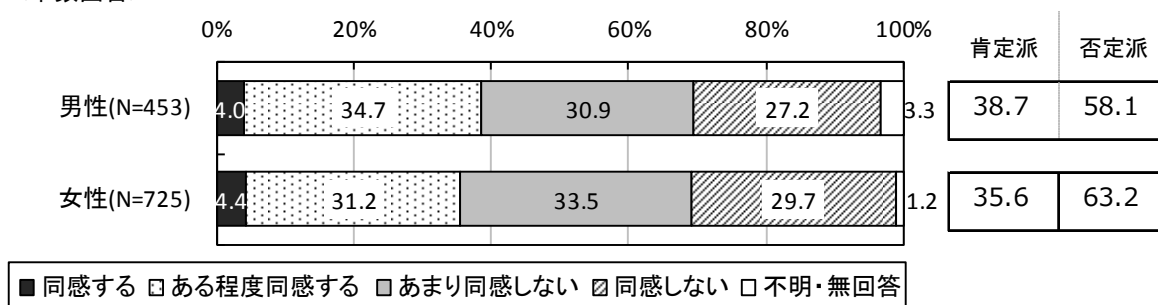


「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方（固定的な性別役割分担意識）についてみると、『肯定派』より『否定派』が23.8ポイント高くなっています。

#### 4. 誰もが安心して暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

##### 【性別グラフ】

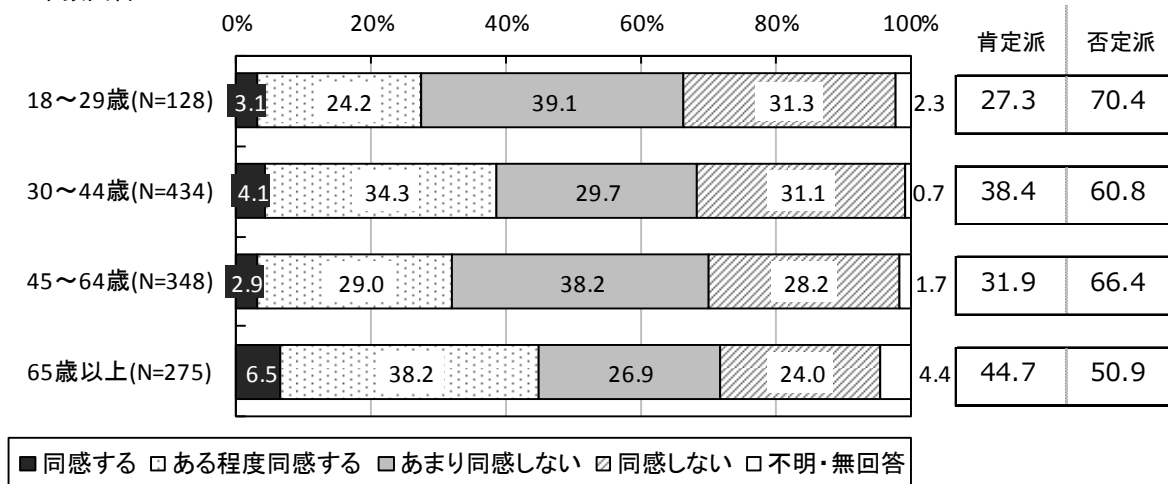
＜単数回答＞



性別で見ると、男女ともに固定的な性別役割分担意識の『肯定派』より『否定派』の方が高くなっていますが、男性と比較して女性で『否定派』がやや高くなっています。

##### 【年齢別グラフ】

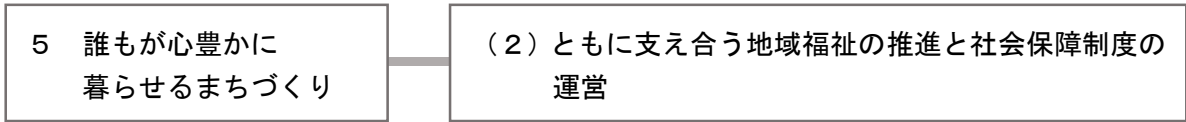
＜単数回答＞



年齢別で見ると、すべての年齢で固定的な性別役割分担意識の『肯定派』より『否定派』の方が高くなっています。また、18～29歳と45～64歳、30～44歳と65歳以上で『肯定派』と『否定派』の割合が類似する傾向がみられます。

4. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

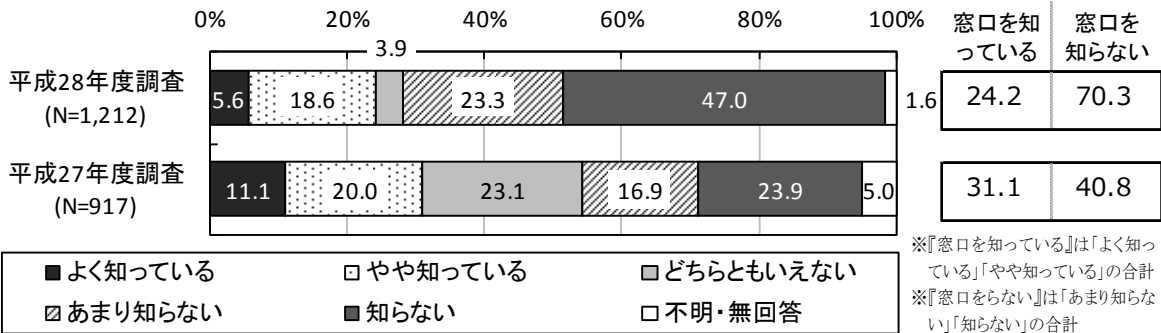
■政策と基本施策



[調査票/問 28-1]

(9) - 1 あなたは、困ったときの福祉相談窓口を知っていますか。  
(1つだけに○)

<単数回答>

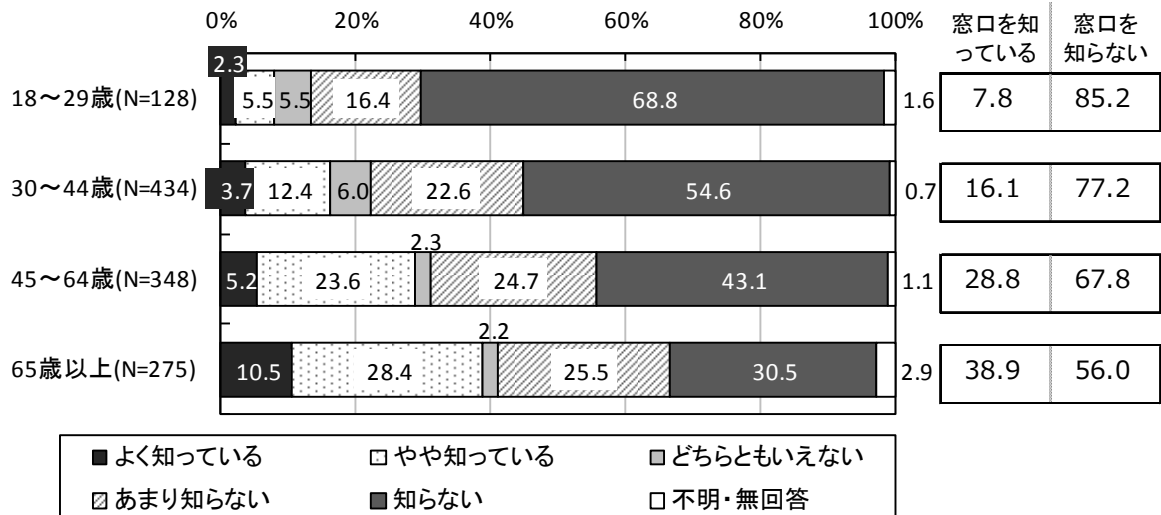


福祉相談窓口の認知度についてみると、『窓口を知っている』より『窓口を知らない』の方が高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が『窓口を知らない』が29.5ポイント高くなっています。

【年齢別グラフ】

<単数回答>



年齢別でみると、年齢が上がるほど福祉相談の『窓口を知っている』が高くなっています。また、18～29歳では、「知らない」が約7割と他の年齢と比較して高くなっています。

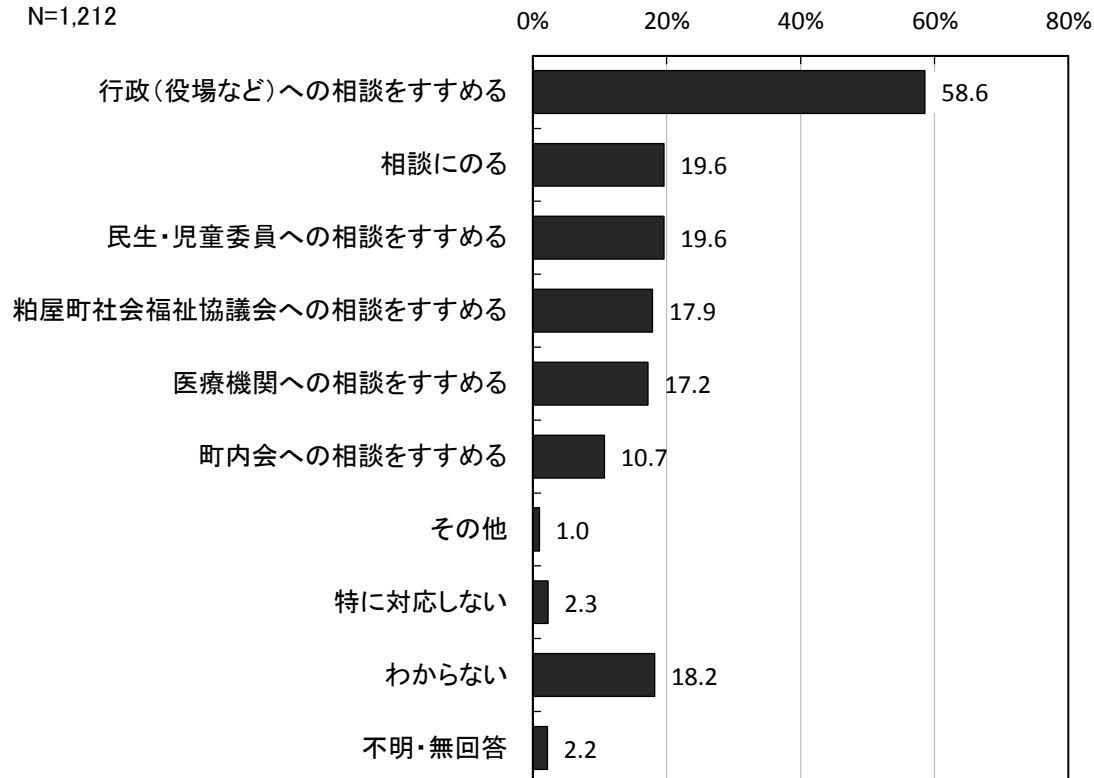
#### 4. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

[調査票/問 28-2]

(9) - 2 あなたは、周囲や隣近所に福祉のことで困っている人がいた場合、どのように対応しますか。(あてはまるすべてに○)

<複数回答>

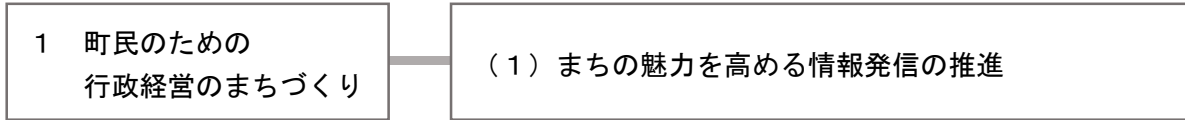
N=1,212



周囲で福祉のことで困っている人がいた場の対応についてみると、「行政(役場など)への相談をすすめる」が58.6%と最も高く、次いで「相談にのる」「民生・児童委員への相談をすすめる」がそれぞれ19.6%となっています。

## 5. 健全で持続可能な行政経営をめざすまちの取り組みについて

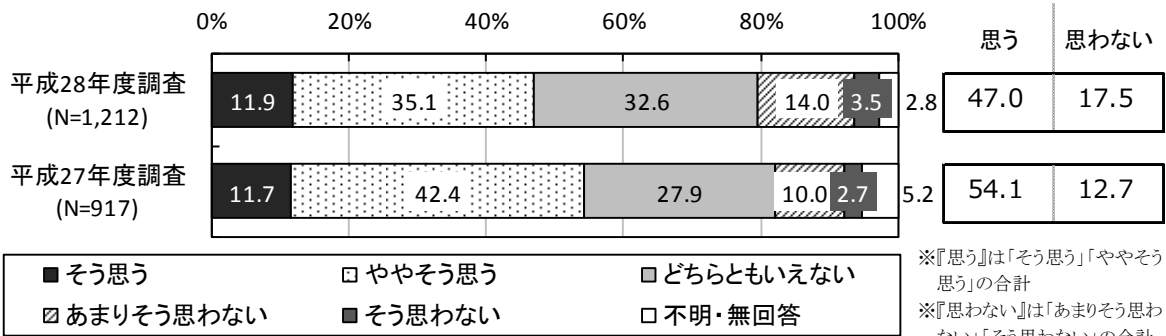
### ■政策と基本施策



[調査票/問 30-2]

(1) - 1 粕屋町では、広報やホームページ等、町からの情報発信が充実している  
と思いますか。(1つだけに○)

<単数回答>



情報発信が充実していると思うかについてみると、『思わない』より『思う』の方が高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査では『思う』が5割を超えていましたが、平成28年度調査では7.1ポイント低くなり5割を下回っています。

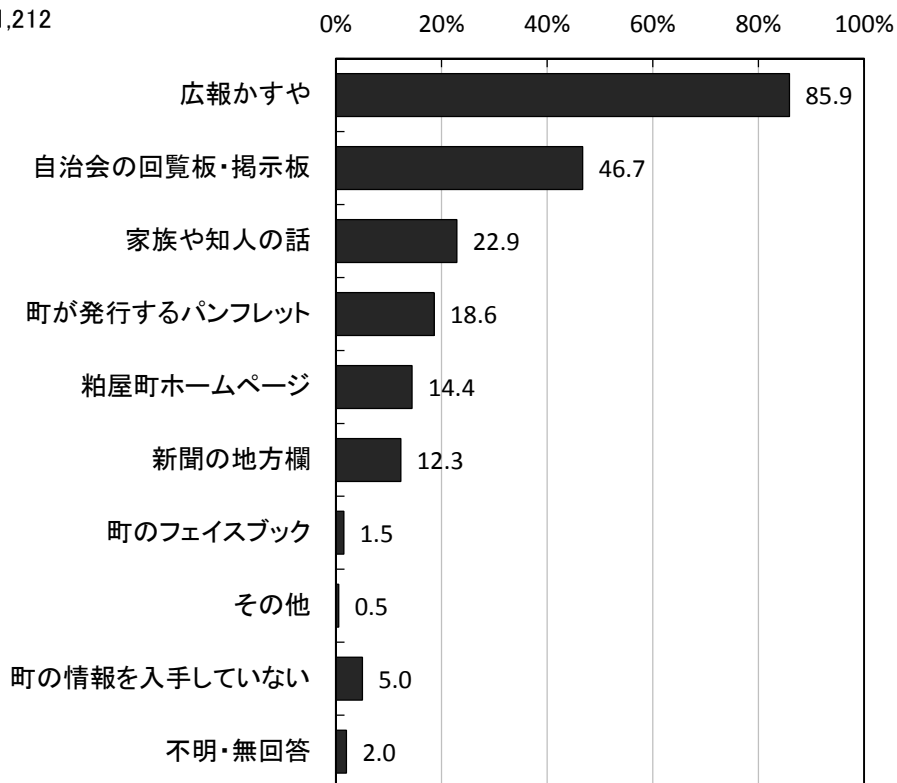
5. 健全で持続可能な行政経営をめざすまちの取り組みについて

〔調査票／問 30－1〕

(1)－2 あなたは、町が発信する情報をどのような方法で入手していますか。  
(あてはまるすべてに○)

<複数回答>

N=1,212



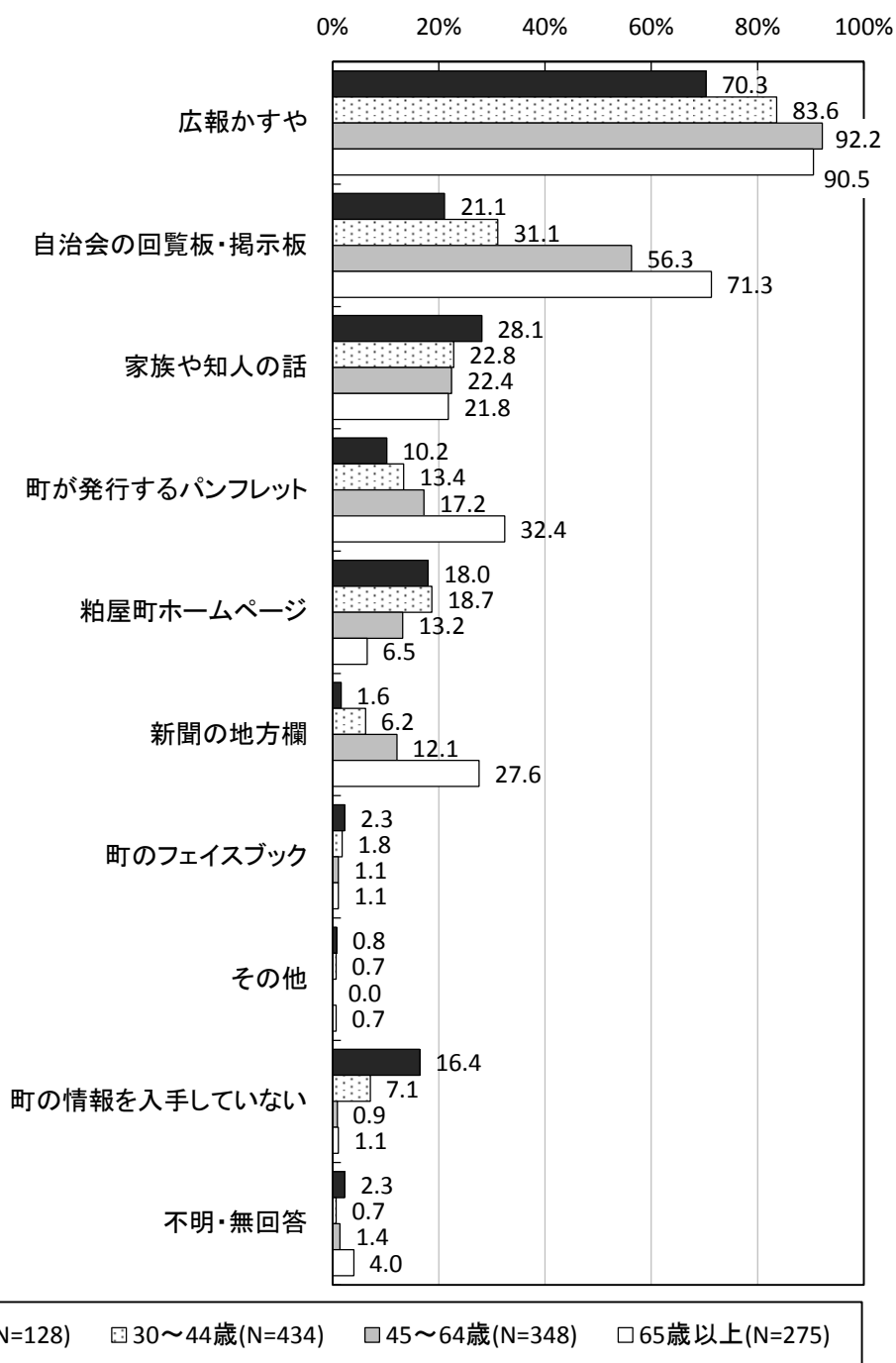
町が発信する情報の入手方法についてみると、「広報かすや」が85.9%と最も高く、次いで「自治会の回覧板・掲示板」が46.7%、「家族や知人の話」が22.9%となっています。



5. 健全で持続可能な行政経営をめざすまちの取り組みについて

【年齢別グラフ】

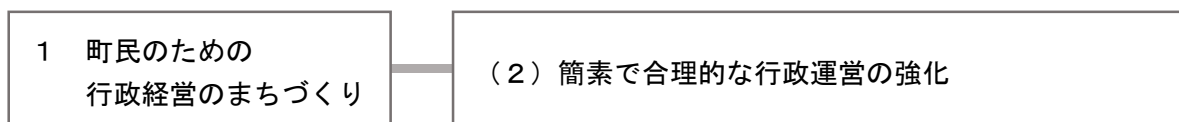
<複数回答>



年齢別で見ると、65歳以上では「自治会の回覧板・掲示板」「町が発行するパンフレット」「新聞の地方欄」が他の年齢と比較して高く、多様な方法で情報を入手していることがうかがえます。また、18～29歳では「家族や知人の話」が他の年齢と比較してやや高くなっている一方、「町の情報を入手していない」も16.4%と他の年齢と比較して高くなっています。

## 5. 健全で持続可能な行政経営をめざすまちの取り組みについて

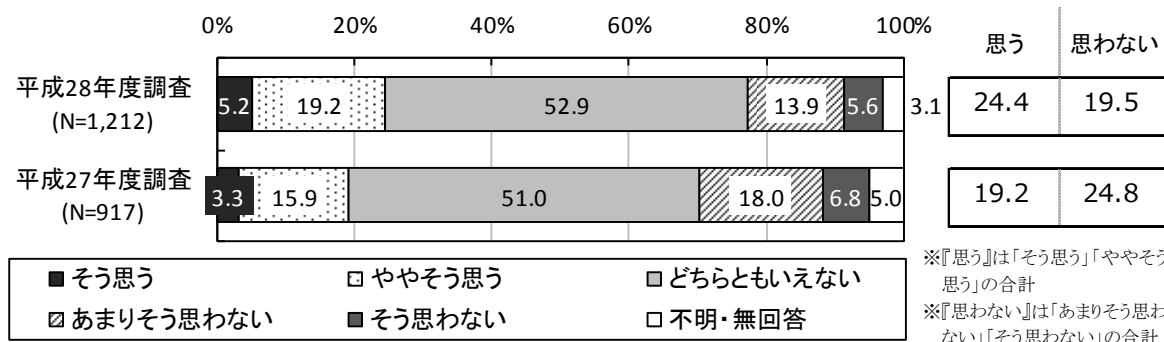
### ■政策と基本施策



[調査票/問 31-1]

### (2) - 1 粕屋町では、町民のニーズに応えた行政運営が行われていると思いますか。(1つだけに○)

<単数回答>

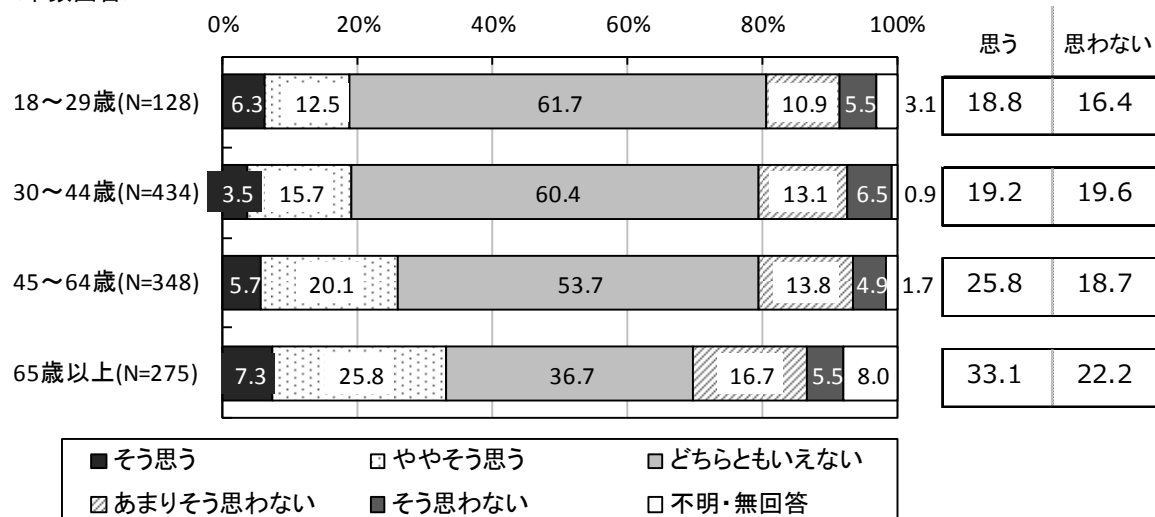


町民のニーズに応えた行政運営が行われていると思うかについてみると、「どちらともいえない」が52.9%と最も高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が『思う』が高く、『思わない』が低くなっています。

### 【年齢別グラフ】

<単数回答>

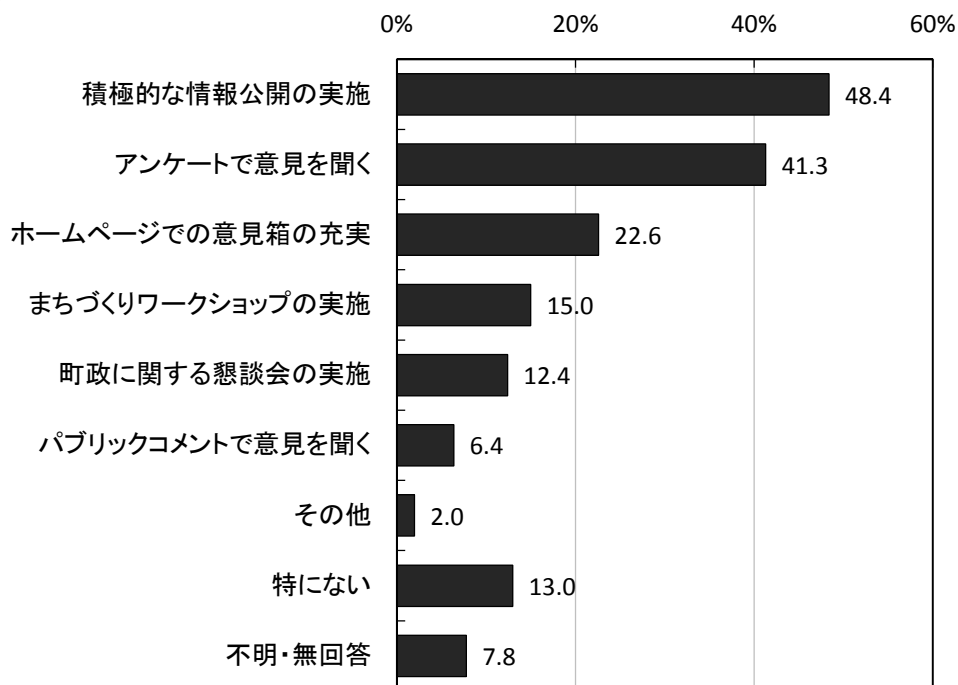


年齢別でみると、年齢が上がるほど町民のニーズに応えた行政運営が行われていると『思う』が高くなっています。また、65歳以上では『思わない』が、他の年齢と比較してやや高くなっています。

[調査票/問 31-2]

(2) - 2 粕屋町では、町民が町政に参加しやすくするために、どのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまる3つまでに○)

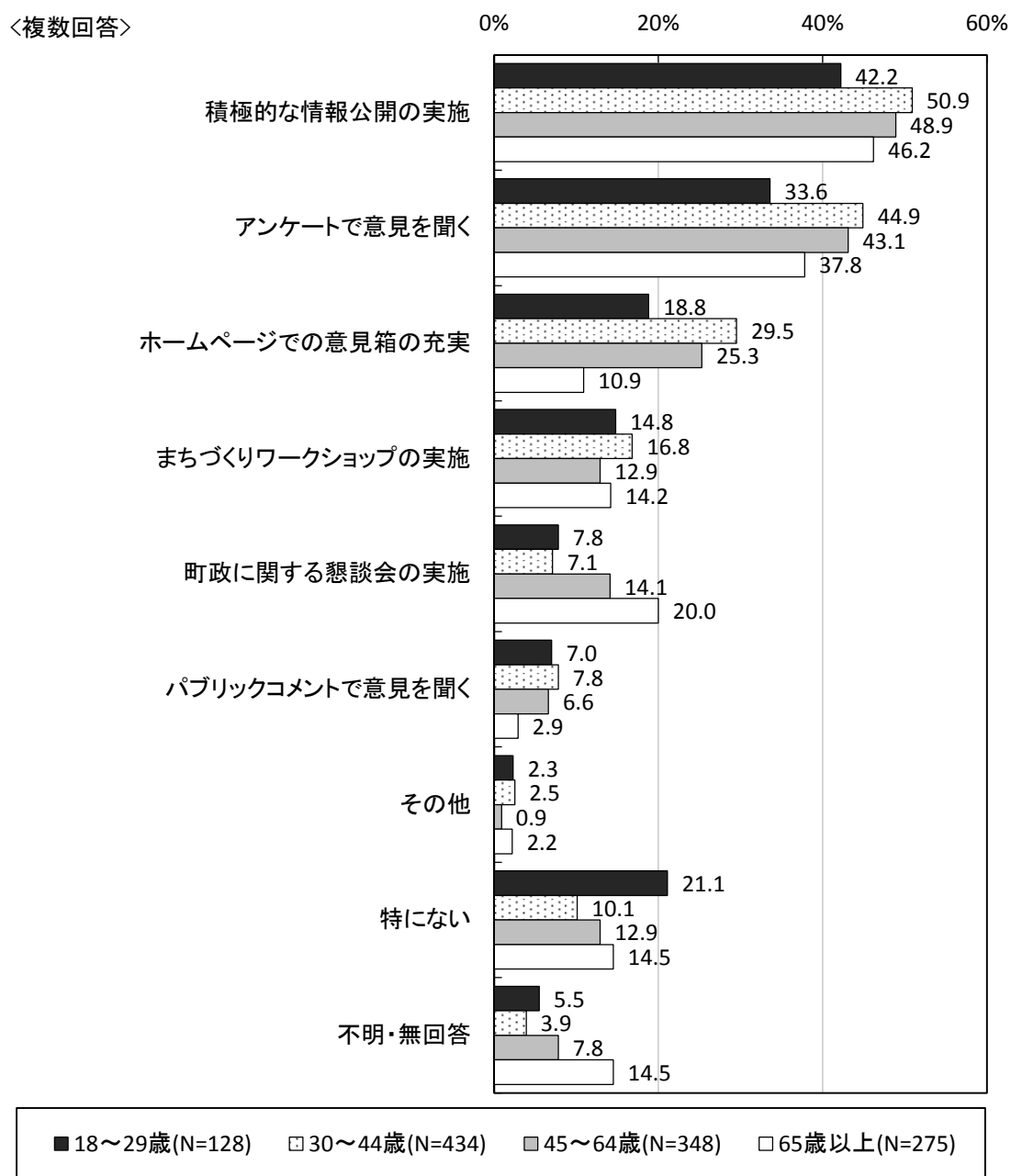
<複数回答>  
N=1,212



町民の町政への参加を容易にするために必要な取り組みについてみると、「積極的な情報公開の実施」が48.4%と最も高く、次いで「アンケートで意見を聞く」が41.3%、「ホームページでの意見箱の充実」が22.6%となっています。

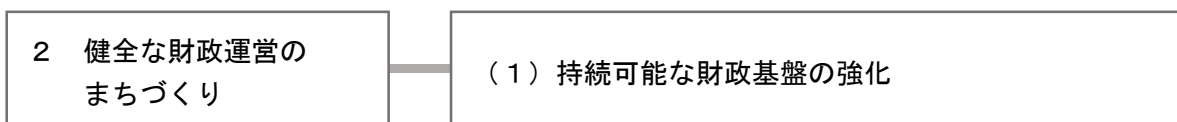
5. 健全で持続可能な行政経営をめざすまちの取り組みについて

【年齢別グラフ】



年齢別で見ると、30～44歳では「町政に関する懇談会の実施」以外のすべての取り組みの割合が他の年齢と比較して高く、「特にない」も低いことから、町政への関心が高いことがうかがえます。また、「町政に関する懇談会の実施」は65歳以上が他の年齢と比較して高くなっています。

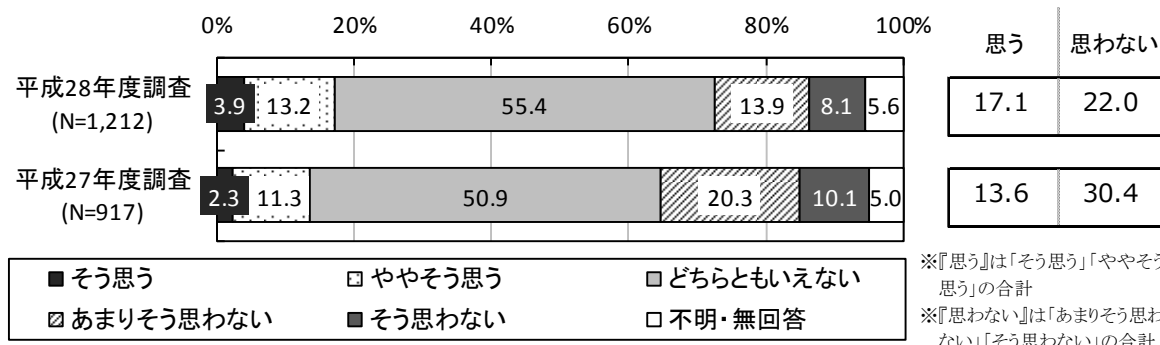
■政策と基本施策



[調査票/問 32-1]

(3) - 1 粕屋町では、税金が有効に使われていると思いますか。(1つだけに○)

<単数回答>

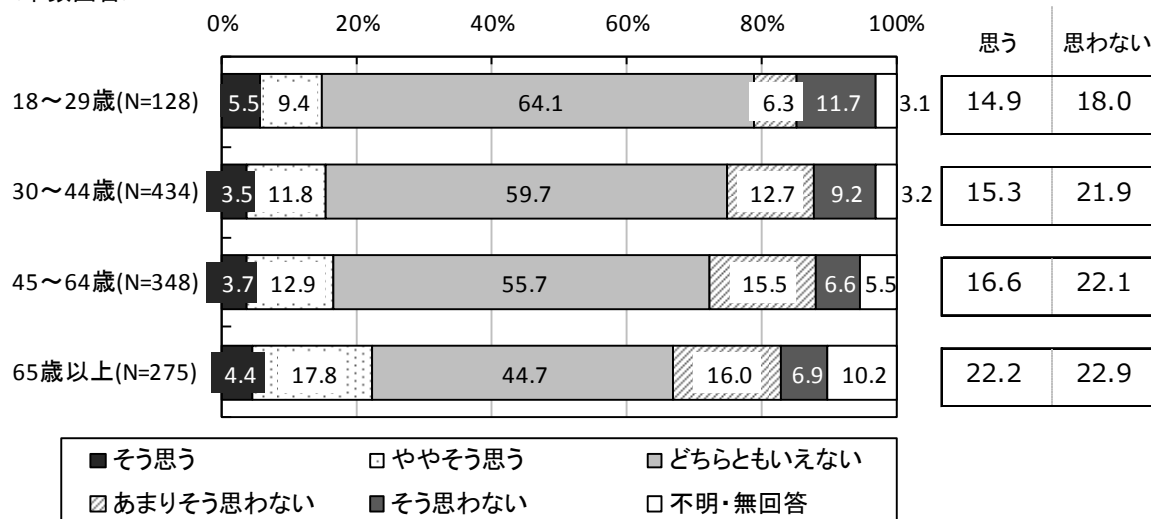


税金が有効に使われていると思うかについてみると、「どちらともいえない」が55.4%と最も高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が『思う』が高く、『思わない』が低くなっており、『思う』と『思わない』の差が少なくなっています。

【年齢別グラフ】

<単数回答>



年齢別でみると、年齢が上がるほど「どちらでもない」が低くなり、税金が有効に使われていると『思う』『思わない』がともに高くなっています。

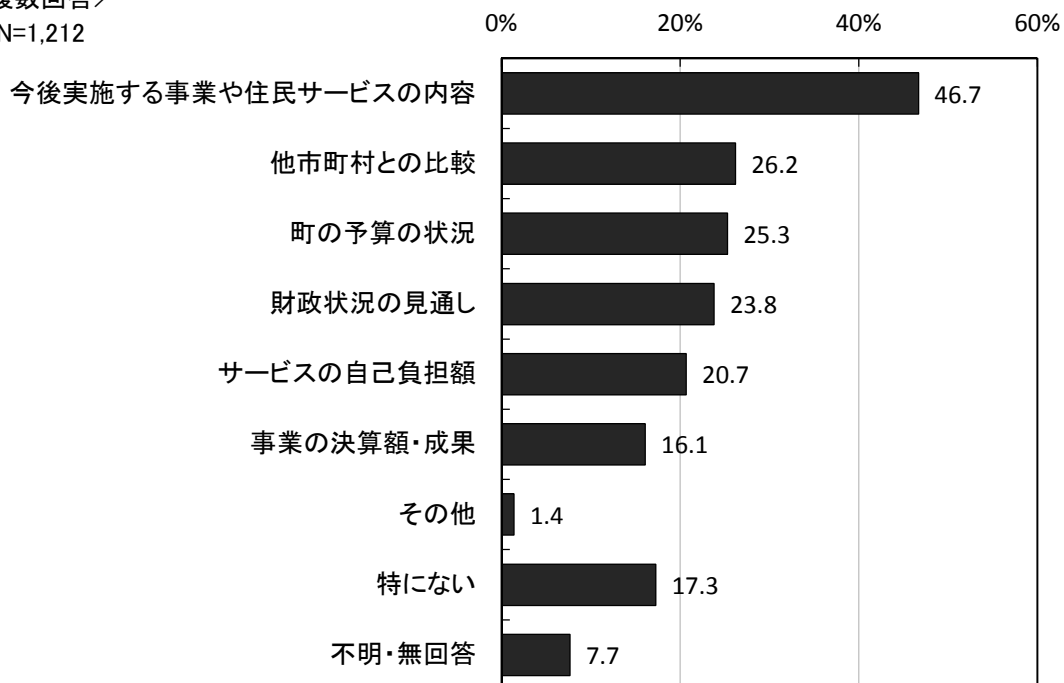
5. 健全で持続可能な行政経営をめざすまちの取り組みについて

[調査票/問 32-2]

(3) - 2 あなたは、町の財政について、どのようなことに関心がありますか。  
(あてはまる3つまでに○)

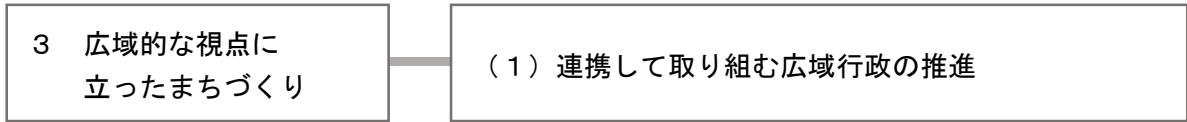
<複数回答>

N=1,212



町の財政への関心についてみると、「今後実施する事業や住民サービスの内容」が46.7%と最も高く、次いで「他市町村との比較」が26.2%、「町の予算の状況」が25.3%となっています。

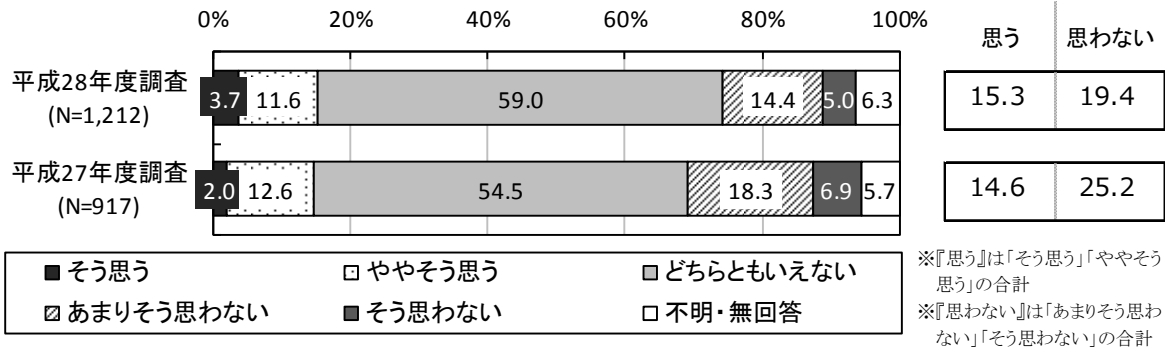
■政策と基本施策



[調査票/問 33-1]

(4) - 1 粕屋町では、他自治体と連携や協力が行われていると思いますか。  
(1つだけに○)

<単数回答>

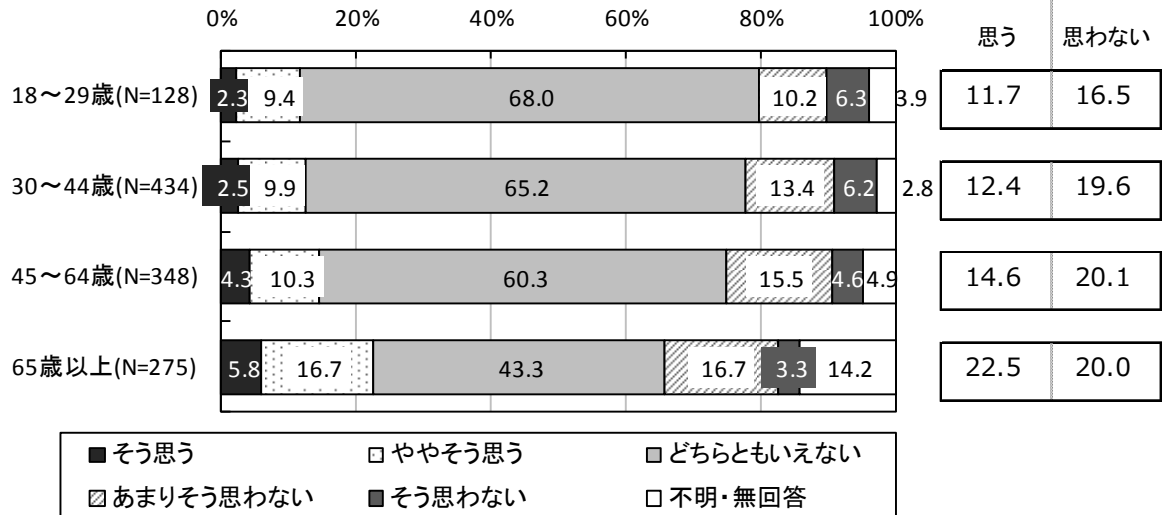


他自治体と連携や協力が行われていると思うかについてみると、「どちらともいえない」が59.0%と最も高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が『思う』が高く、『思わない』が低くなっており、『思う』と『思わない』の差が少なくなっています。

【年齢別グラフ】

<単数回答>

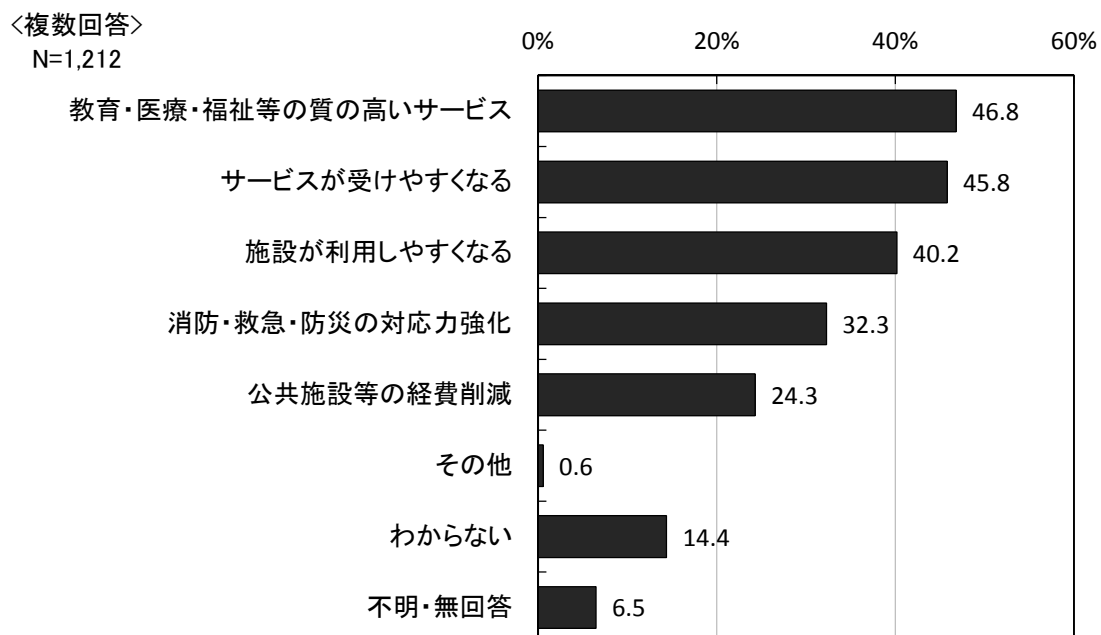


年齢別でみると、年齢が上がるほど「どちらでもない」が低くなり、他自治体と連携や協力が行われていると『思う』『思わない』がともに高い傾向となっています。

5. 健全で持続可能な行政経営をめざすまちの取り組みについて

[調査票/問 33-2]

(4) - 2 他自治体との連携や協力を進めることであなたが期待する効果はどのようなことですか。(あてはまる3つまでに○)



他自治体との連携や協力を期待する効果についてみると、「教育・医療・福祉等の質の高いサービス」が46.8%と最も高く、次いで「サービスが受けやすくなる」が45.8%、「施設が利用しやすくなる」が40.2%となっています。



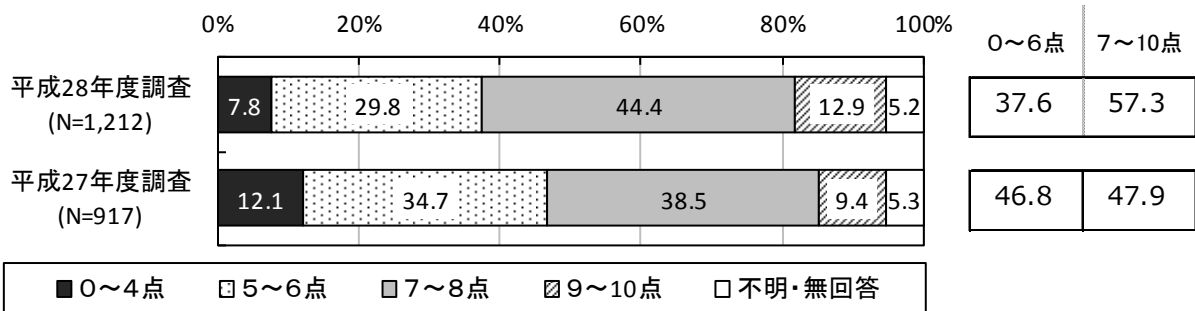
## 6. 粕屋町での暮らしについて

### <幸せ指標>

[調査票/問 34-1]

- (1) - 1 現在、あなたは粕屋町で暮らしてどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、何点くらいになると思いますか。(0～10点までの間で、1つに○)

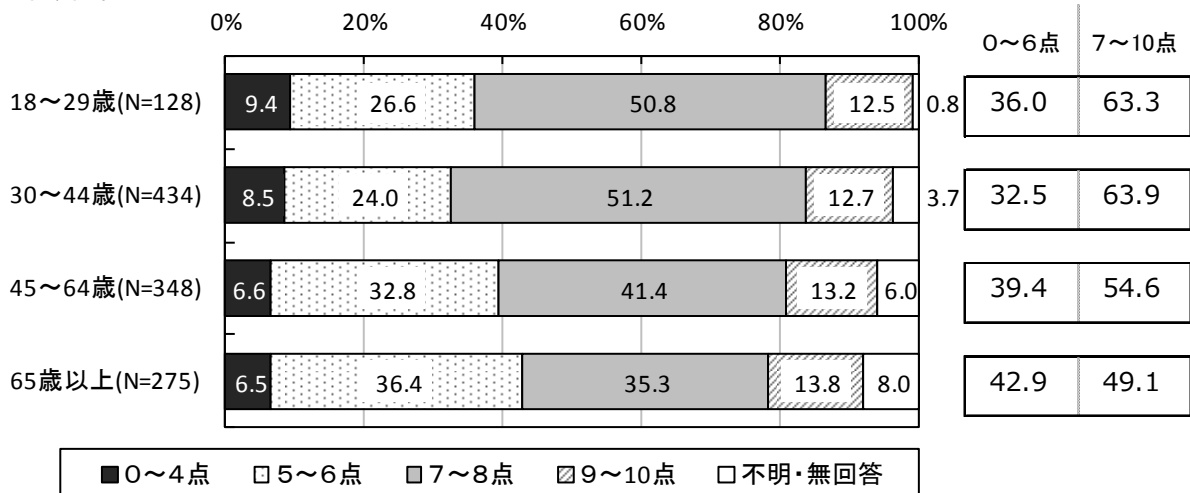
<単数回答>



幸福度についてみると、『0～6点』より『7～10点』の方が高くなっています。  
経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が『7～10点』が9.4ポイント高くなっています。

### 【年齢別グラフ】

<単数回答>



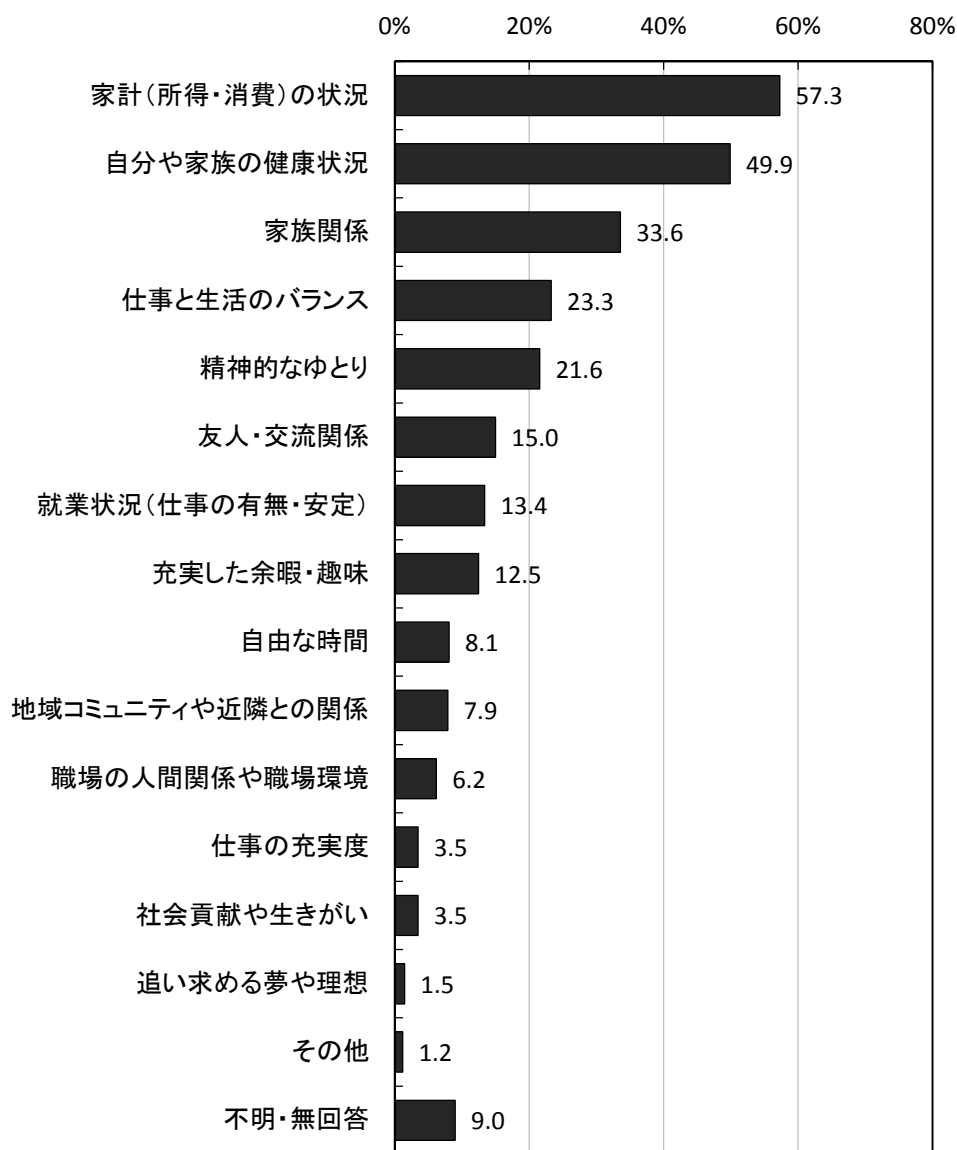
年齢別でみると、年齢が下がるほど『7～10点』が高い傾向となっています。

## 6. 粕屋町での暮らしについて

〔調査票／問 34－2〕

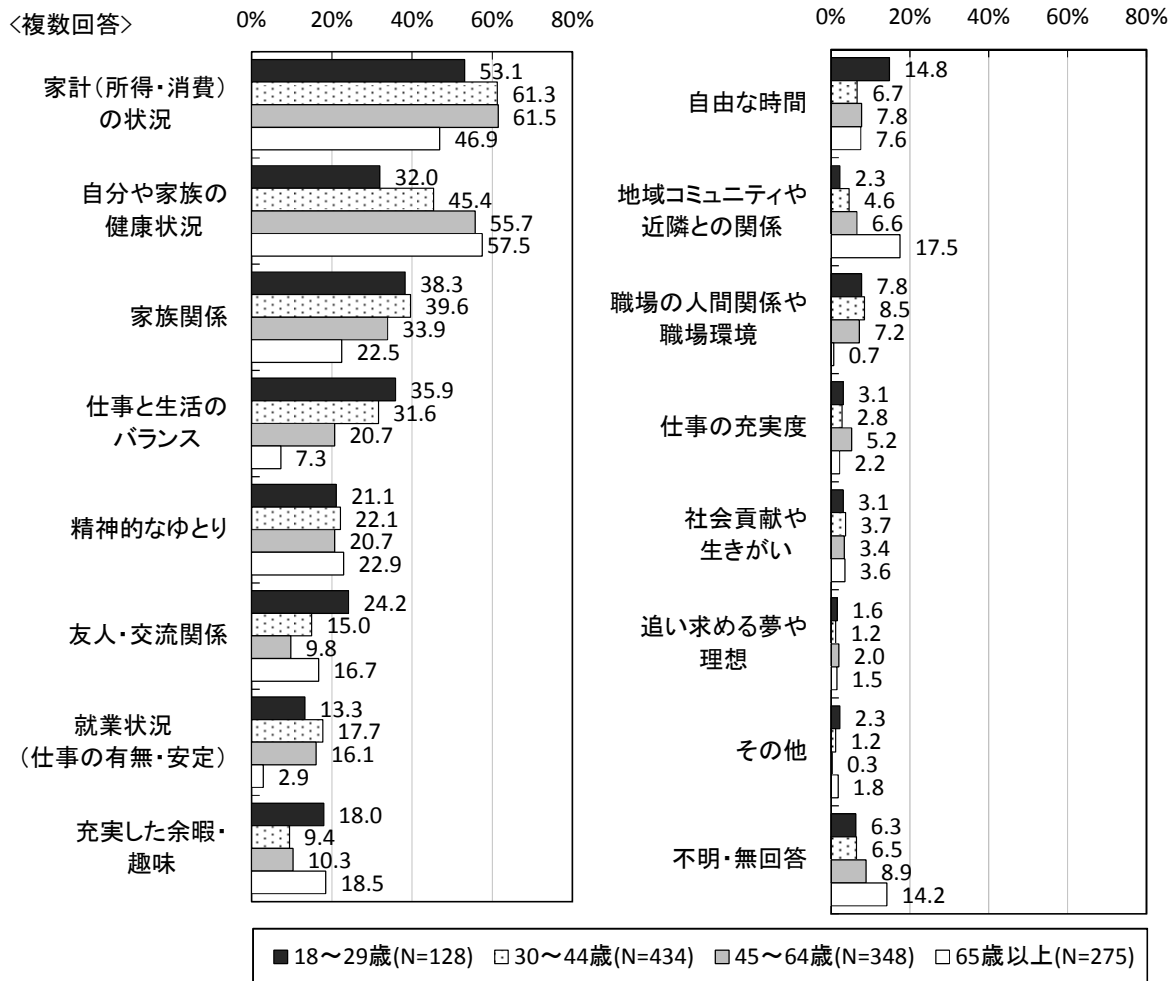
(1)－2 あなたが幸せであるために重要だと思うことは何ですか。  
(あてはまる3つまでに○)

〈複数回答〉  
N=1,212



自身が幸せであるための重要事項についてみると、「家計（所得・消費）の状況」が57.3%と最も高く、次いで「自分や家族の健康状況」が49.9%、「家族関係」が33.6%となっています。

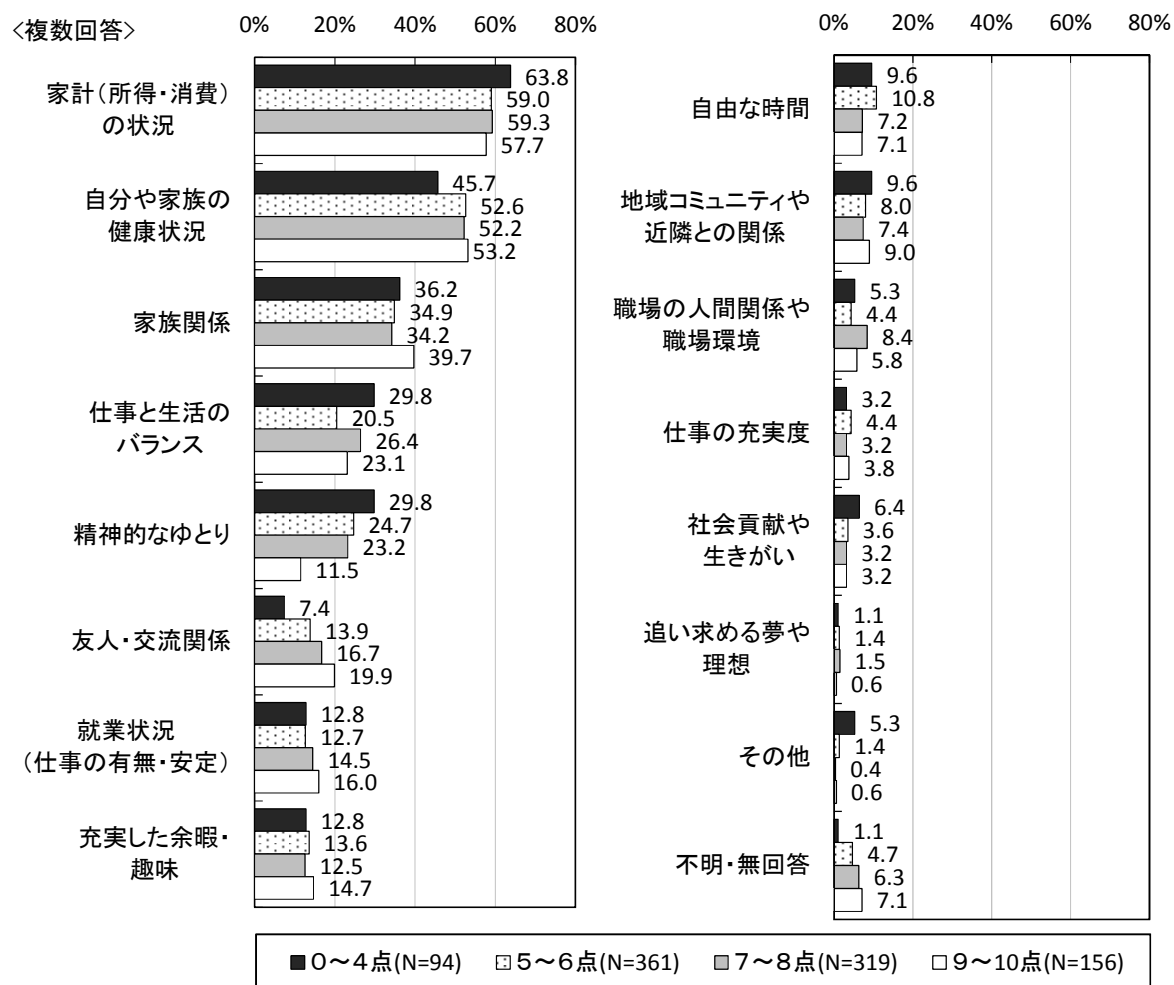
【年齢別グラフ】



年齢別でみると、年齢が下がるほど「仕事と生活のバランス」が高く、年齢が上がるほど「自分や家族の健康状況」が高くなっています。

## 6. 粕屋町での暮らしについて

### 【幸福度別グラフ】

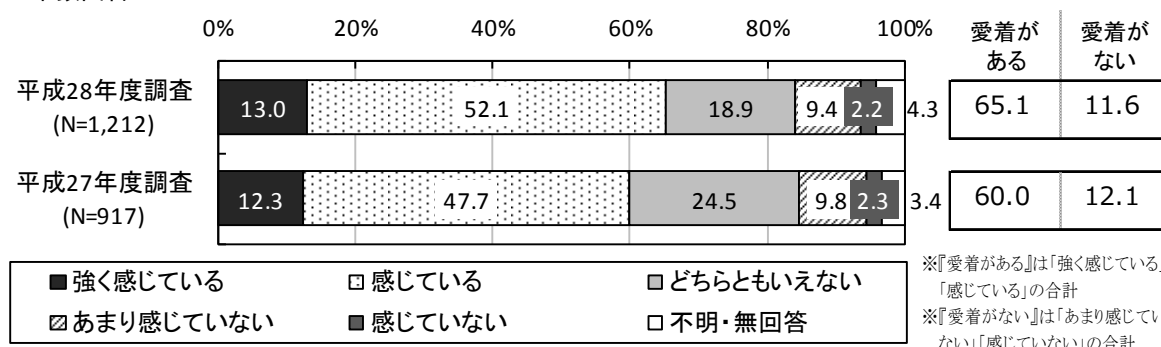


幸福度別でみると、幸福度が下がるほど「精神的なゆとり」が高く、幸福度が上がるほど「友人・交流関係」が高くなっています。

〔調査票／問 34－3〕

## (1)－3 粕屋町にどのくらい愛着を感じますか。(1つだけに○)

〈単数回答〉

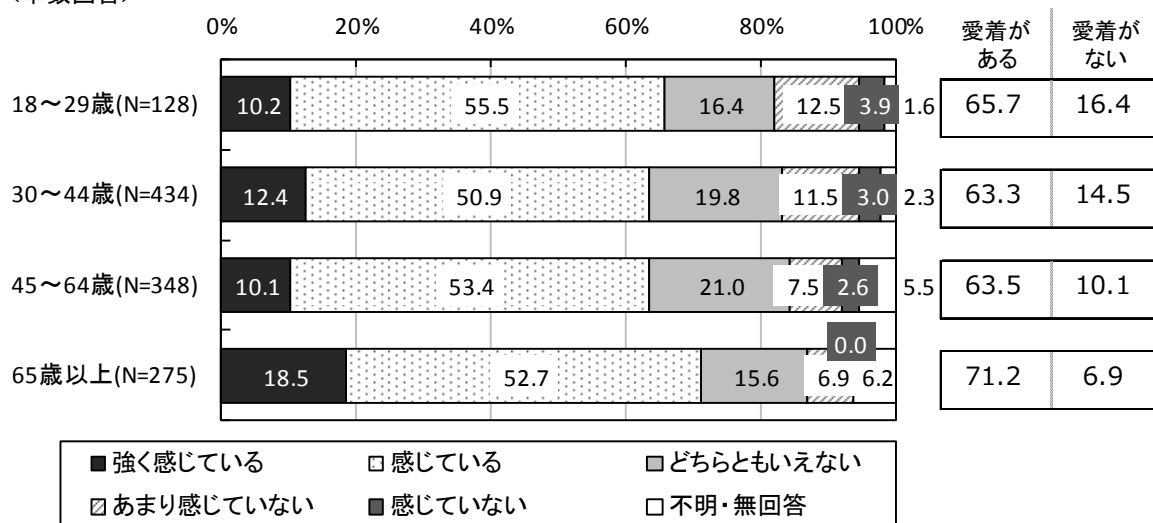


粕屋町への愛着についてみると、『愛着がない』より『愛着がある』の方が高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が『愛着がある』が高く、『愛着がない』が低くなっています。

## 【年齢別グラフ】

〈単数回答〉

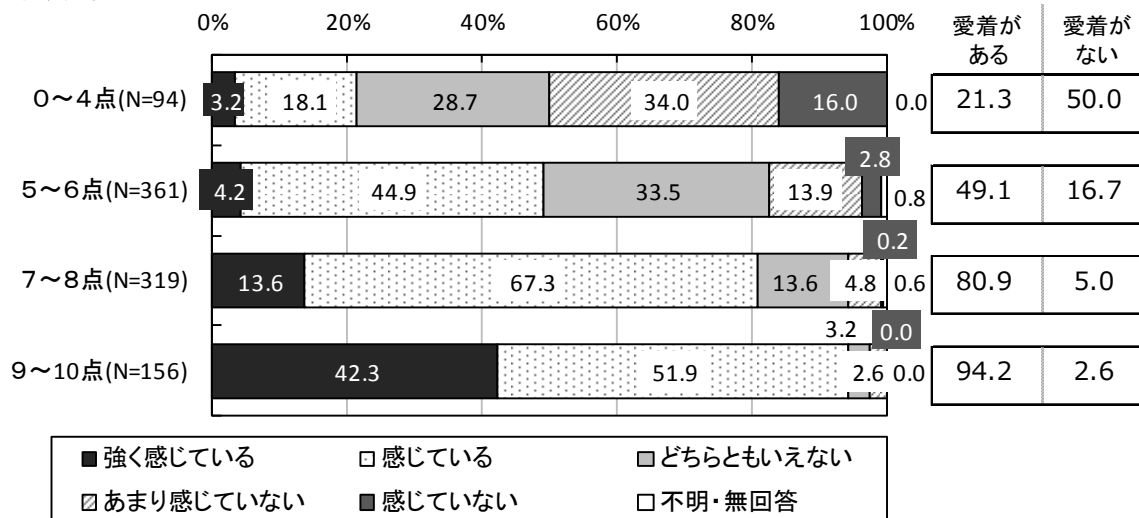


年齢別でみると、65歳以上では粕屋町に『愛着がある』が他の年齢と比較して高くなっています。

## 6. 粕屋町での暮らしについて

### 【幸福度別グラフ】

〈単数回答〉



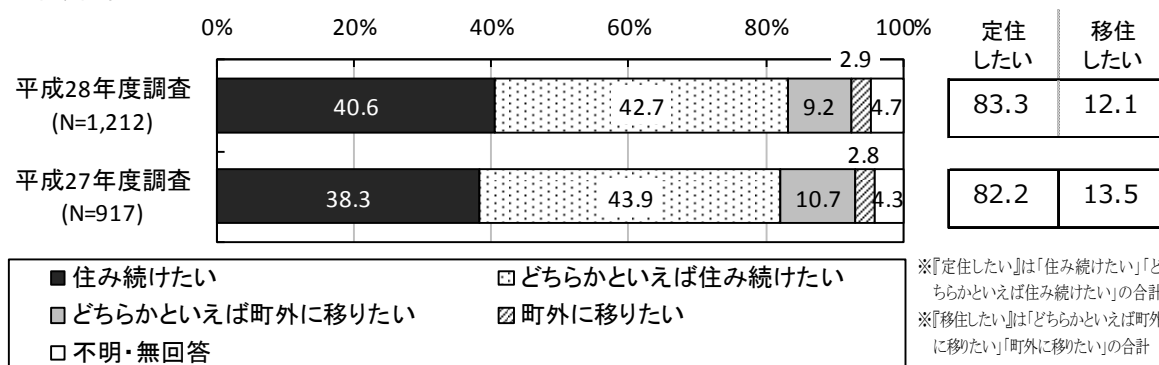
幸福度別でみると、幸福度が高くなるほど『愛着がある』が高くなっています。0～4点では『愛着がない』が50.0%と半数が愛着を感じていないと回答しています。

## <住みよさ指標>

[調査票/問 35-1]

### (2) - 1 今後も粕屋町に住みたいと思いますか。(1つだけに○)

<単数回答>

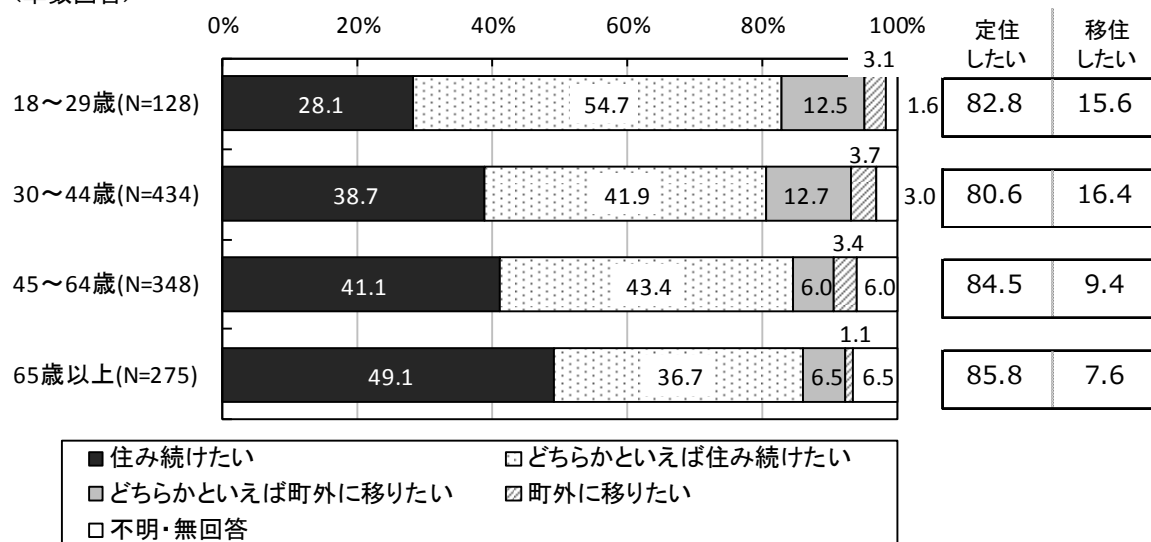


今後も粕屋町に住みたいと思うかについてみると、『移住したい』より『定住したい』の方が高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が『定住したい』が高く、『移住したい』が低くなっています。

### 【年齢別グラフ】

<単数回答>



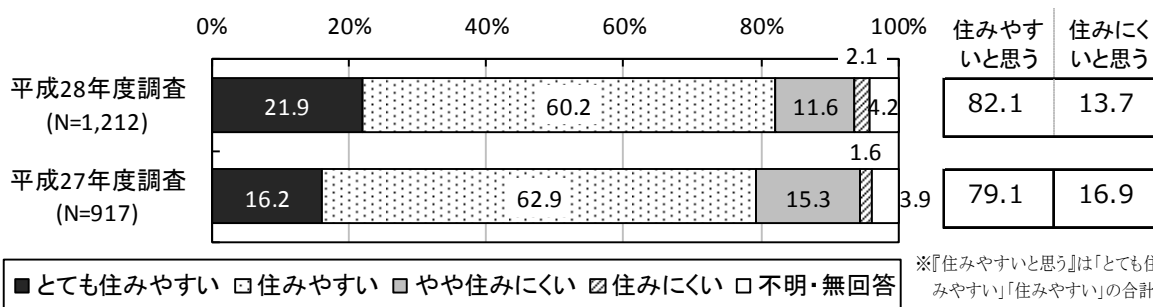
年齢別でみると、年齢が上がるほど粕屋町に「住み続けたい」が高くなっています。

## 6. 粕屋町での暮らしについて

[調査票/問 35-2]

### (2) - 2 粕屋町は、住みやすいと思いますか。(1つだけに○)

<単数回答>



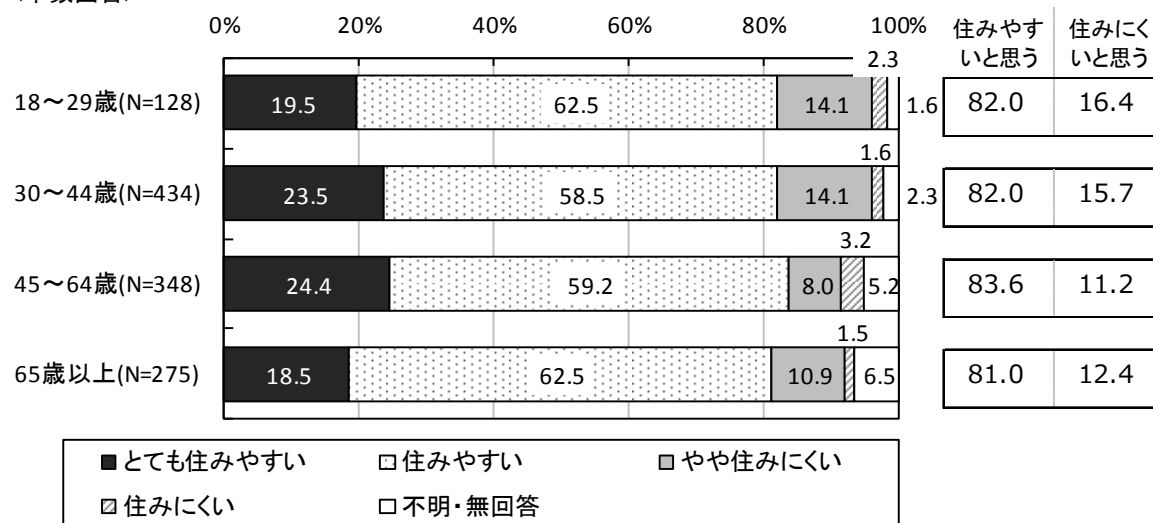
※『住みやすいと思う』は「とても住みやすい」「住みやすい」の合計  
 ※『住みにくいと思う』は「やや住みにくい」「住みにくい」の合計

粕屋町が住みやすいと思うかについてみると、『住みにくいと思う』より『住みやすいと思う』の方が高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が『住みやすいと思う』が高く、特に「とても住みやすい」が5.7ポイント高くなっています。

### 【年齢別グラフ】

<単数回答>



年齢別でみると、すべての年齢で同様の傾向になっています。



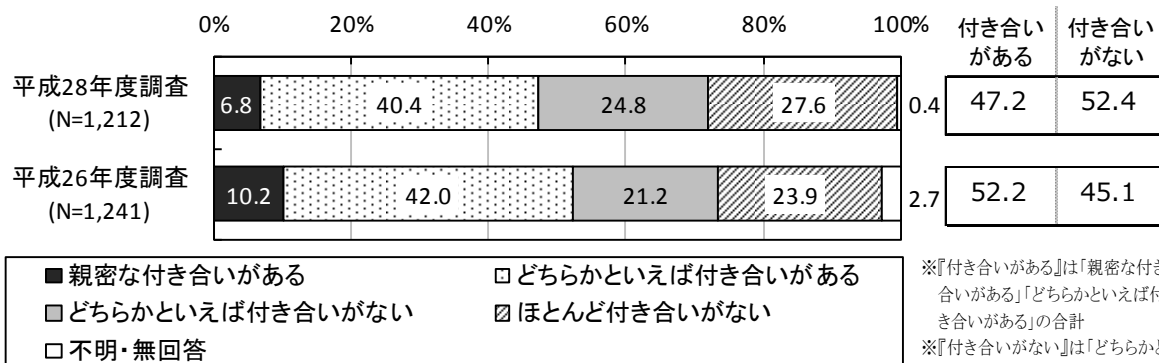


## 6. 粕屋町での暮らしについて

〔調査票／問 36－2〕

### (3)－2 あなたは、隣近所とはどの程度のお付き合いをされていますか。 (1つだけに○)

〈単数回答〉

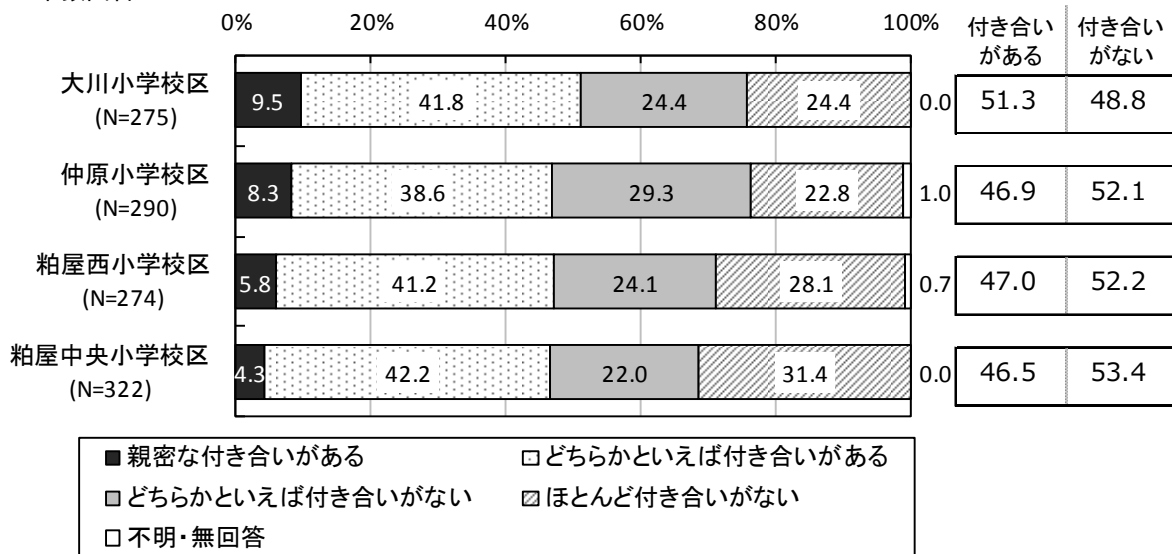


隣近所との付き合いの程度についてみると、『付き合いがある』より『付き合いがない』が高くなっています。

経年比較でみると、平成26年度調査では『付き合いがある』が5割以上と『付き合いがない』より高くなっていましたが、平成28年度調査では逆転しています。

#### 【小学校区別グラフ】

〈単数回答〉



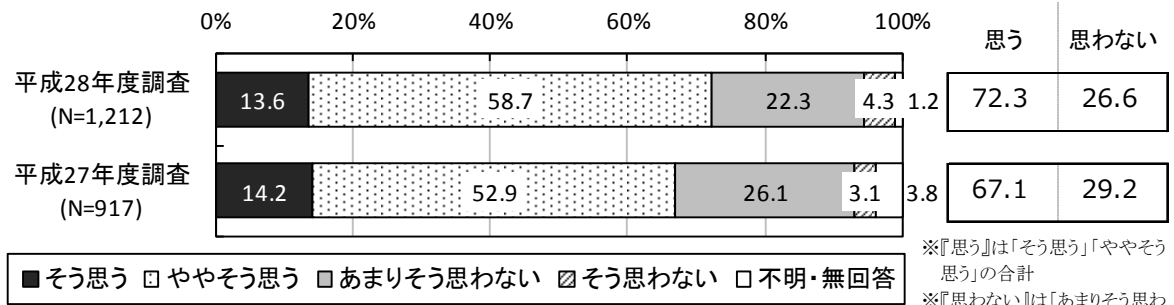
小学校区別でみると、大川小学校区では隣近所との『付き合いがある』が他の小学校区と比較してやや高く5割以上となっています。また、粕屋中央小学校区では他の小学校区と比較して「ほとんど付き合いがない」がやや高くなっています。

### <活力指標>

[調査票/問 37]

#### (4) 粕屋町は、活力ある元気なまちだと思いますか。(1つだけに○)

<単数回答>

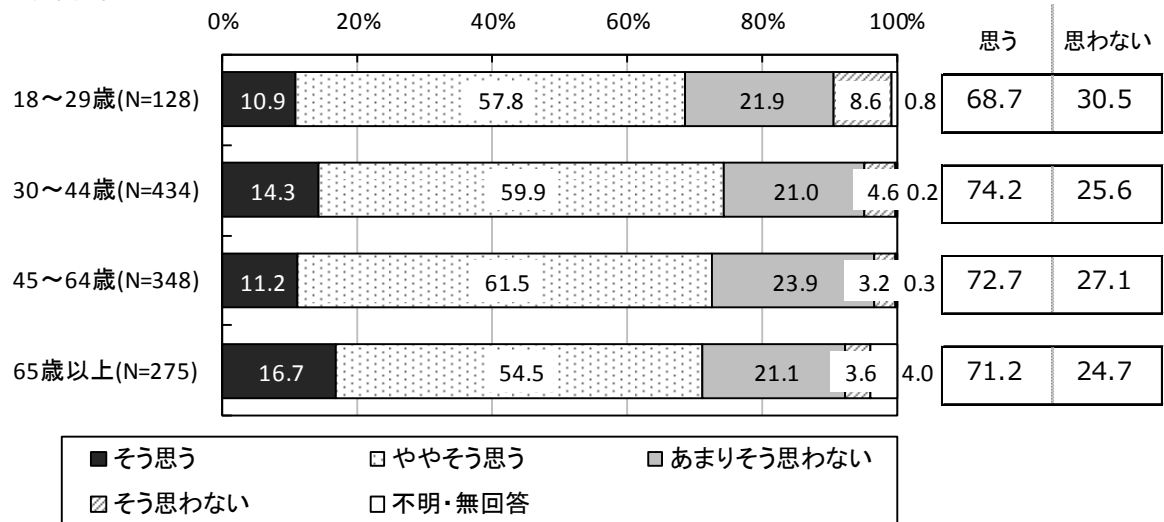


粕屋町は活力ある元気なまちだと思うかについてみると、『思わない』より『思う』の方が高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が『思う』が高く、『思わない』が低くなっています。

#### 【年齢別グラフ】

<単数回答>



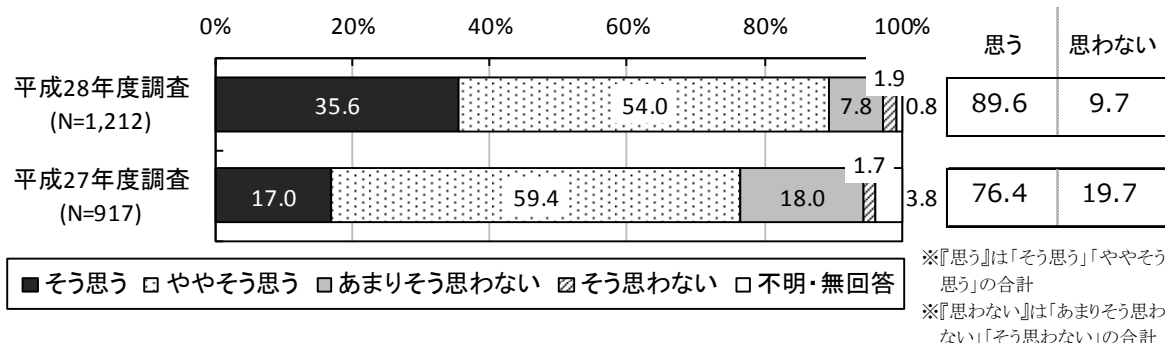
年齢別でみると、30～44歳で粕屋町は活力ある元気なまちだと『思う』が他の年齢と比較してやや高くなっています。

## <健やか指標>

[調査票/問 38]

(5) あなたは、粕屋町で健康に暮らせていると思いますか。(1つだけに○)

<単数回答>

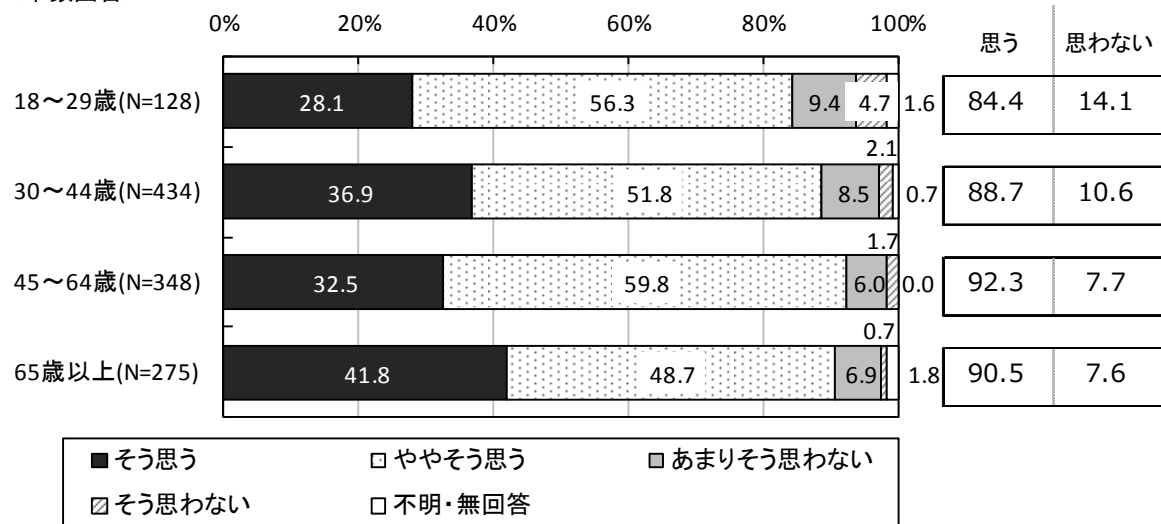


粕屋町で健康に暮らせていると思うかについてみると、『思わない』より『思う』の方が高くなっています。

経年比較でみると、平成27年度調査より、平成28年度調査の方が『思う』が高く、特に「そう思う」が18.6ポイント高くなっています。

### 【年齢別グラフ】

<単数回答>



年齢別でみると、45～64歳で健康に暮らせていると『思う』が他の年齢と比較して高くなっています。

## IV 指標一覽

# 指標一覧

## 【まちづくりのスマイル指標（実感指標）】

幸せ指標		平成27年度	平成28年度
	粕屋町に暮らしていて幸せだと思う町民の割合	47.9%	57.3%
	粕屋町に愛着を感じている町民の割合	60.0%	65.1%
住みよさ指標		平成27年度	平成28年度
	今後も粕屋町に住みたいと思う町民の割合	82.2%	83.3%
	粕屋町は住みやすいと思う町民の割合	79.1%	82.1%
つながり指標		平成27年度	平成28年度
	地域で人と人とのつながりがあると思う町民の割合	65.6%	69.6%
活力指標		平成27年度	平成28年度
	粕屋町は活力ある元気なまちだと思う町民の割合	67.1%	72.3%
健やか指標		平成27年度	平成28年度
	粕屋町は健康に暮らせるまちだと思う町民の割合	76.4%	89.6%

【基本施策の指標（実感指標）】

【基本目標1】つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまち		平成27年度	平成28年度
1-(1)	地域行事に参加している町民の割合	35.2%	34.8%
1-(2)	まちづくりに参加したいと思う町民の割合	28.9%	30.4%
2-(1)	災害用備品を準備している町民の割合	18.1%	21.7%
2-(2)	事故や犯罪が少なく安全な町だと思う町民の割合	40.2%	48.9%
3-(1)	教育環境が整っていると思う町民の割合	30.0%	38.6%
3-(2)	青少年の育成について学校・家庭・地域の連携が十分だ と思う町民の割合	23.2%	21.2%
4-(1)	身近に学びの機会があると思う町民の割合	29.3%	28.3%
4-(2)	郷土の歴史に興味を持っている町民の割合	35.2%	32.2%
【基本目標2】都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち		平成27年度	平成28年度
1-(1)	自然と調和したまちづくりが行われていると思う町民の割合	46.3%	47.7%
1-(2)	憩いや交流のために公園が活用されていると思う町民の割合	53.5%	51.8%
2-(1)	道路が円滑に通行できると思う町民の割合	28.6%	24.8%
2-(2)	公共交通を利用しやすいと思う町民の割合	53.3%	55.8%
2-(3)	いつでも安心して水を利用できると思う町民の割合	56.1%	57.8%
3-(1)	自然を大切にすることを心がけている町民の割合	79.5%	79.7%
3-(2)	リサイクルを心がけている町民の割合	69.9%	70.9%
4-(1)	できるだけ地元で採れた食材を利用している町民の割合	37.3%	46.7%
4-(2)	地域の商工業が活性化していると思う町民の割合	16.7%	18.7%

【基本目標3】誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまち		平成27年度	平成28年度
1-(1)	運動や食事など自分の健康に気をつけている町民の割合	64.8%	79.8%
2-(1)	子育て環境が整っていると思う町民の割合	34.5%	39.5%
2-(2)	妊娠・出産期における支援が充実していると思う町民の割合	19.5%	23.2%
3-(1)	元気な高齢者が活躍する場があると思う町民の割合	25.7%	27.7%
3-(2)	高齢者に対する支援が充実していると思う町民の割合	18.5%	23.6%
4-(1)	障がい者が地域や社会の中でともに暮らしていると思う町民の割合	14.9%	14.7%
4-(2)	障がい者に対する支援が充実していると思う町民の割合	11.1%	12.8%
5-(1)	一人ひとりの人権が尊重されていると思う町民の割合	20.8%	28.9%
5-(2)	困ったときの福祉相談窓口を知っている町民の割合	31.1%	24.2%
【基本目標4】健全で持続可能な行政経営をめざすまち		平成27年度	平成28年度
1-(1)	広報やホームページ等、町からの情報発信が充実していると思う町民の割合	54.1%	47.0%
1-(2)	町民のニーズに応えた行政運営が行われていると思う町民の割合	19.2%	24.4%
2-(1)	税金が有効に使われていると思う町民の割合	13.6%	17.1%
3-(1)	他自治体と連携や協力が行われていると思う町民の割合	14.6%	15.3%